

令和9（2027）年度

学生募集要項

総合型選抜Ⅱ

（次世代研究者発掘入試Ⅱを含む）

文学部・法学部・経済学部（経済・経営学科）・
理学部（数学科を除く）・医学部（保健学科）・歯学部・
工学部（機械工学科及び航空宇宙工学科を除く）・
芸術工学部・農学部



九州大学

KYUSHU UNIVERSITY

目 次

九州大学の総合型選抜とは	1
次世代博士人材育成コースについて	2
総合型選抜の募集人員	5
総合型選抜Ⅱ入試日程等	6
アドミッション・ポリシー，出願資格，募集人員，入学者選抜方法	
文 学 部	7
法 学 部	11
経 済 学 部（経済・経営学科）	16
理 学 部（物理学科，化学科，地球惑星科学科，生物学科）	20
医学部保健学科〔看護学専攻，放射線技術科学専攻，検査技術科学専攻〕	26
歯 学 部	31
工 学 部（電気情報工学科，材料工学科，応用化学科，化学工学科，融合基礎工学科， 量子物理工学科，船舶海洋工学科，地球資源システム工学科， 土木工学科，建築学科）	35
芸術工学部芸術工学科〔環境設計コース，インダストリアルデザインコース，未来構想デザイン コース，メディアデザインコース，音響設計コース〕	73
農 学 部	79
令和 9（2027）年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目一覧	84
各学部（学科）共通事項等	
1. 出 願 手 続	88
2. 提出が必要な出願書類等	90
3. 提出が必要な出願書類等の提出先と提出方法について	92
4. 受験票の印刷について	93
5. 入学検定料の返還について	93
6. 入学検定料の免除について	94
7. 障害等のある入学志願者の合理的配慮について	94
8. 大学入学共通テスト成績請求情報の提供手続	96
9. 合 格 者 発 表	96
10. 入 学 手 続	97
11. 不正行為等の取扱い	98
12. 試験成績の開示	99
13. 個人用 P C（ノート型）の必携について	100
14. 個人情報の取扱い	101
15. 修学場所について	102
入試実施場所の案内	103
入学案内・入学相談・九州大学 Web サイト	104
総合型選抜，学校推薦型選抜及び国際入試実施状況（令和 8（2026）年度）	105
添 付 書 類	
志望理由書等記述要領，志望理由書等	

九州大学の総合型選抜とは

九州大学は、平成 11 年に東北大学、筑波大学と共に国立大学で初めてのアドミッションセンターを設立し、アドミッション・オフィス入試（現在：総合型選抜）を始めました。これは、次世代への大学の責務の一環として、伝統的な筆記中心の試験で測れる学力とは異なった観点の能力を持つ人を総合評価方式によって選抜し、育ててゆくための入学者選抜制度です。

九州大学の総合型選抜は、従来の教科・科目の筆記だけによる学力試験とは異なり、「認知領域」と「情意領域」での能力を総合的に評価することに主眼を置きます。ここで、「認知領域」での能力は、知識や技能などの側面、具体的には問題発見能力、論理的思考力、論理的表現力、理解力、応用力などに、また「情意領域」での能力は、感性や意志などの側面、具体的には学習意欲や好奇心、探究力、責任感、誠実性、協調性などに現れるとされています。

具体的な選抜方法や評価方法は、それぞれの専門分野や特色に応じて求める学生像やアドミッション・ポリシーが異なりますから、実施する学部等によって異なりますが、いずれも詳細かつ丁寧な論文試験や面接などを行い、ただ表面的な学力のみを見るのではなく、意欲や関心なども見て総合的に評価する選抜方式です。しかし、入学後の修学の基はやはり基礎学力ですから、それが必要なのは言うまでもありません。

次世代博士人材育成コースについて

1. 次世代博士人材育成コースの概要

日本では、諸外国に比べ博士の学位を有する高度な専門人材が少ないことが、研究力やイノベーション力の低下、さらには国際競争力の低下の原因と言われています。この問題を解決するために、九州大学未来人材育成機構は、2027年4月に「次世代博士人材育成コース」を新たに設置します。「次世代博士人材育成コース」では、高校生段階から博士課程修了までの一貫した学びと手厚いサポートにより、我が国の科学技術イノベーションの創出を担う博士人材の育成を目指します。

※本コースは、学部入学後、修士課程を経て博士後期課程まで進学することを前提としたコースであり、その趣旨を理解した者のみが受験できます。

また、修士課程及び博士後期課程への入学・進学に際しては別途、大学院入試に合格する必要があります。

2. 次世代博士人材育成コースの特徴

(1) 高校生段階から博士課程修了までの一貫した学び

通常の学生は、学部3・4年次の研究室配属後に、本格的な研究活動を開始しますが、次世代博士人材育成コースのコース生は、入学後すぐに研究室配属・研究インターンシップが開始されますので、早期に研究活動に従事することができます(但しコース生の所属する学部・学科の研究室に限る)。これにより、研究へのモチベーションを維持したまま、博士課程修了まで研究活動に取り組むことができます。

(2) 成長の可能性を広げる柔軟なカリキュラム

「次世代博士人材育成コース」では、専攻教育科目の先取り履修、入学前教育や英語外部試験のスコアによる単位認定などの制度を設置予定です。これらの制度を活用して空いた時間を使って、研究活動にさらに邁進したり、副専攻プログラムの受講により広く教養を深めたりすることができます。

さらに、各学府が定める修了要件を満たした上で、優秀な成績を修得した場合は、早期修了が認められる場合があります。

(3) 若手研究者スクエアやセミナーで広がる研究の世界

「次世代博士人材育成コース」の在籍生や修了生を主要メンバーとするコミュニティである「若手研究者スクエア」では、所属や学年を超えた学生や大学院生同士の交流に加え、企業の方などとの交流が行われます。研究志向の高い仲間たちと意見交換することで、刺激を受け、新たな視点やアイデアを得ることに繋がります。

また、本学の中で、特に優れた研究業績を有し、研究をリードする主幹教授等によるセミナーを、コース生を対象に開催します。このセミナーを通して、社会の様々な分野で関わっている最先端の研究の歴史的背景から現在の研究状況、そして、研究の未来を知る機会を提供し、更なる研究意欲の向上を図ることができます。

(4) 手厚いサポート体制

博士課程学生を除くコース生に対して、年間 50 万円の奨学金を支給します（博士課程学生は別の支援制度あり）。

さらに、指導教員に加え、各学部・学科から選出されたメンターや未来人材育成機構教員が研究計画やキャリアパスについての指導・助言を行います。

3. 次世代博士人材育成コースのアドミッション・ポリシー

- (1) 当該分野の基盤となる基礎的な知識・理解を十分に有している。（知識・理解）
- (2) 自ら研究課題を設定し、国際的視野を持って論理的・持続的に科学研究活動を推進できる。（能力・意欲）
- (3) 自立した学問的探究心と高い知的好奇心を持ち、アクティブ・ラーナーとしてコースで学び続ける姿勢を持っている（態度・志向性）
- (4) 当該分野の発展に向けて、他分野の知識も学ぼうとする意欲を持っている。（態度・志向性）

4. 次世代研究者発掘入試Ⅱについて

次世代研究者発掘入試Ⅱは、従来実施している総合型選抜Ⅱを活用し、総合型選抜Ⅱで課している科目等に加え、活動歴報告書、プレゼンテーション及び口頭試問を実施することにより選抜を行います。

なお、次世代研究者発掘入試Ⅱへ出願した者は、総合型選抜Ⅱにも同時に出願している形となり、次世代研究者発掘入試Ⅱにおいて不合格の場合でも、総合型選抜Ⅱの合格者となりえます。

次世代研究者発掘入試Ⅱの出願により総合型選抜Ⅱで有利・不利になることはありません。

第1次選抜及び第2次選抜は、以下の①～③のパターンが認定されます。

①【第1次選抜】次世代研究者発掘入試Ⅱ（総合型選抜Ⅱ）に合格したもの。



【第2次選抜】次世代研究者発掘入試Ⅱ（総合型選抜Ⅱ）を受験可。



（可否）ア. 次世代研究者発掘入試Ⅱ（総合型選抜Ⅱ）合格。

イ. 次世代研究者発掘入試Ⅱに不合格。ただし、総合型選抜Ⅱで合格。

ウ. 次世代研究者発掘入試Ⅱ（総合型選抜Ⅱ）不合格。

②【第1次選抜】次世代研究者発掘入試Ⅱは不合格。ただし総合型選抜Ⅱのみ合格したもの。



【第2次選抜】総合型選抜Ⅱのみ受験可。



（可否）総合型選抜Ⅱに合格または不合格。

③【第1次選抜】次世代研究者発掘入試Ⅱ（総合型選抜Ⅱ）に不合格のもの。



【第2次選抜】次世代研究者発掘入試Ⅱおよび総合型選抜Ⅱいずれも受験不可。

※次世代研究者発掘入試Ⅱ（総合型選抜Ⅱ）では、「次世代研究者発掘入試Ⅱ」の合格者がいない場合があります。

総合型選抜の募集人員

系	学 部	学 科 等	募集人員				
			総合型選抜Ⅰ	次世代研究者発掘 入試Ⅰ	総合型選抜Ⅱ (一般枠) ※1	次世代研究者発掘 入試Ⅱ	総合型選抜Ⅱ (女子枠) ※2
			大学入学共通テストを課さない入試		大学入学共通テストを課す入試		
文理融合学部	共創学部		15人				
	文 学 部				10人		
	教育学部		7人				
	法 学 部				10人		
	経済学部	経 済 ・ 経 営 学 科			22人		
理科学学部	理 学 部	物 理 学 科			7人		
		化 学 科			8人		
		地 球 惑 星 科 学 科			7人		
		生 物 学 科			5人		
		小 計			27人		
	医 学 部	保 健 学 科			10人		
		放射線技術科学専攻			6人		
		検査技術科学専攻			6人		
		小 計			22人		
	歯 学 部				8人		
	工 学 部	電 気 情 報 工 学 科			10人	(若干名)	
		材 料 工 学 科		(若干名)	6人	(若干名)	5人
		応 用 化 学 科			4人	(若干名)	
		化 工 学 科		(若干名)	2人	(若干名)	
		融合基礎 工学科		(若干名)	8人	(若干名)	2人
		機械電気コース		(若干名)	8人	(若干名)	2人
		量 子 物 理 工 学 科			4人		
		船 舶 海 洋 工 学 科			8人		
		地球資源システム工学科		(若干名)	2人	(若干名)	
		土 木 工 学 科			8人		
		建 築 学 科			6人		
		小 計		(若干名)	66人	(若干名)	9人
	芸術工学部	環境設計コース			7人		
		インダストリアルデザインコース			16人		
		未来構想デザインコース			5人		
		メディアデザインコース			22人		
		音響設計コース			5人		
		小 計			55人		
	農 学 部			(若干名)	24人	(若干名)	
合計			22人	(若干名)	244人	(若干名)	9人

※1 「一般枠」は性別によらず出願可能な募集枠を示します。

※2 「女子枠」は戸籍上の性別が「女性」である者が出願可能な募集枠を示します。

総合型選抜Ⅱ 入試日程等

	文 学 部	法 学 部	経 済 学 部 ・ 経 営 学 部	理 学 部 物 理 学 科 化 学 科 地球惑星科学科 生 物 学 科	医 保 健 学 部 学 部	歯 学 部	工 学 部 電 気 情 報 工 学 科 材 料 工 学 科 応 用 化 学 科 化 学 工 学 科 融 合 基 礎 工 学 科 量 子 物 理 工 学 科 船 舶 海 洋 工 学 科 地 球 資 源 シ ス テ ム 工 学 科 土 木 工 学 科 建 築 学 科	芸 術 工 学 部	農 学 部
W e b 手 続 期 間	Web 入力及び入学検定料の支払は 10 月 13 日(火)10 時から 10 月 27 日(火)17 時までです。								
出 願 期 間	令和 8 (2026) 年 10 月 19 日 (月) ～10 月 30 日 (金) 17 時まで (必着)								
第 1 次 選 抜	11 月下旬～12 月中旬 ※歯学部：11 月 28 日 (土)								
第 1 次選抜結果の通知	12 月 21 日(月)頃								
受 験 票 印 刷 開 始 (インターネット出願画面より)	12 月 24 日 (木) 頃 ※歯学部：11 月 18 日 (水) 頃からダウンロード可能								
大 学 入 学 共 通 テ ス ト 成 績 請 求 情 報 の 提 供 手 続	令和 9 (2027) 年 1 月 4 日 (月) ～1 月 20 日 (水)								
第 2 次 選 抜	1 月 30 日 (土)								
合 格 者 発 表	2 月 10 日 (水) 11 時頃								
合 格 通 知 書 及 び 入 学 手 続 書 類 発 送	2 月 10 日 (水)								
入 学 手 続	2 月 11 日 (木) 13 時～2 月 17 日 (水) 17 時まで 所定の期間内に「入学料の納付」、「Web 入学手続」及び「入学手続書類の郵送」 を全て完了させてください。詳細は、97 ページ「10. 入学手続(1)入学手続方法」を参 照してください。								

文 学 部

1. アドミッション・ポリシー

◆求める学生像

九州大学文学部人文学科では、自ら問題を見出し、筋道を立てて思考し、正確に表現できる学生の育成を目指しています。そのためには、自ら調査、読書をし、他の人々と対話しつつ自らの考えを発展させていく姿勢が大切です。それゆえ、文学部で学ぼうとする学生には、何よりも次の三つの資質を備えていることが望まれます。

1. 言葉への強い興味、とりわけ、文学作品や古典に対する感受性
2. 人間への飽くなき好奇心と、「私とは何か？」という真摯な問いかけ
3. 文化・歴史・社会といった、世界の多様性への開かれた関心

さらに、国際コースの学生には、特に次のような資質を備えていることが望まれます。

1. 日本語と、複数の外国語への強い興味、ならびに文学や思想に対する感受性
2. 世界の多様な文化・歴史・社会への開かれた関心
3. 将来国際人として活躍することへの意欲

◆求める学生像と学力3要素との関連

1. 知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能
2. 思考力・判断力・表現力等の能力：自らが行う研究で問題を発見し、仮説を構築するとともに、多面的に考え、客観的に批判して自身の仮説を鍛え、それを自分の言葉で人に伝える資質
3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：人間や言葉への広い関心から主体的に学ぶ意欲、多様性を尊重する態度、異なる考えに共感する寛容性

◆入学者選抜方法との関係

本学文学部では、次の4種類の入試を実施しています。国際コース以外の学生のプログラムでは、これらのうち、「一般選抜（前期）」「一般選抜（後期）」及び「学校推薦型選抜」を課します。また、国際コースの学生のプログラムでは、「総合型選抜」を課します。

選抜方法に関する別表

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト 小論文	小論文	調査書 小論文
総合型選抜 （国際コース）	調査書 大学入学共通テスト	英語小論文	調査書、志望理由書 英語による個人面接

学校推薦型選抜	推薦書，調査書 大学入学共通テスト	推薦書，志望理由書 (研究計画書)，面接	推薦書，調査書，志望 理由書 (研究計画 書)，面接
---------	----------------------	-------------------------	----------------------------------

◆入学者選抜の基本方針（入学要件，選抜方式，選抜基準等）

文学部は高等学校の教育課程を尊重し，受験生の基本的知識，論理的思考力，表現能力を重視しています。

大学入学共通テストにおいては，幅広い基本的知識の習得を見るため，国語，地理歴史，公民，数学，理科，外国語及び情報を課しています。

その上で，本学文学部では，次の4種類の入試を実施しています。

一般選抜（前期日程）においては，より深い知識と論理的思考力を見るため，国語・数学・外国語・地理歴史を課し，主にマークシート方式である大学入学共通テストを補完する形で記述式の問題を中心に出題しています。また，主体性等を評価するために，調査書を利用しています。

一般選抜（後期日程）においては，論理的思考力と表現能力を見るため，小論文を課しています。

総合型選抜（国際コース）においては，日本語と，複数の外国語への強い興味，ならびに文学や思想に対する感受性，世界の多様な文化・歴史・社会への開かれた関心，将来国際人として活躍することへの意欲などの資質を見るために，志望理由書，英語小論文，英語による個人面接を課しています。

学校推薦型選抜においては，文学部での学びへの興味や適応力・理解力，更には大学院進学を見据えて文学部で学ぶ意思を見るために，学校長からの推薦書，調査書及び志望理由書（研究計画書）による書面審査と面接を課しています。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で本学文学部が指定する令和9（2027）年度大学入学共通テストの教科・科目（英語リスニングを含む）を受験し，本学文学部を第1志望とする者としします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和3（2021）年4月以降に卒業した者及び令和9（2027）年3月までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和3（2021）年4月以降に修了した者及び令和9（2027）年3月までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で，令和3（2021）年4月以降にこれに該当するもの及び令和9（2027）年3月までにこれに該当する見込みのもの

なお，出願資格について不明な点がある場合は，事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。

（注意）本選抜の趣旨から本学の実施する総合型選抜（次世代研究者発掘入試を含む），学校推薦型選抜，国際入試（教育学部）との併願はできません。

3. 募集人員

10人

(注) 入学手続きが募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。

4. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。

(1) 第1次選抜

ア. 提出された調査書又は調査書に代わる書類、志望理由書の総合評価により選抜を行います。

イ. 第1次選抜の合格者は、募集人員の3倍程度とします。

ウ. 第1次選抜の結果は、令和8(2026)年12月21日(月)頃に郵便で発送します。

(2) 第2次選抜

第1次選抜の合格者に対し、英語小論文、英語による個人面接(第1次選抜試験合格者数により集団面接を行う場合があります。)及び令和9(2027)年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。

ア. 大学入学共通テスト

① 令和9(2027)年度大学入学共通テストの詳細については、大学入学共通テスト受験案内を参照してください。

② 令和9(2027)年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目(6教科又は7教科8科目)

※84～87ページを必ず確認してください。

国語 (国語)

地歴及び公民 ((地理総合、地理探究)、(歴史総合、日本史探究)、(歴史総合、世界史探究)、(公共、倫理)、(公共、政治・経済) から2)

数学 (数学Ⅰ、数学A) と (数学Ⅱ、数学B、数学C)

理科 (物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎)

理科の科目において、2科目を受験した場合は、「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」の得点は、第一解答科目の得点を採用します。「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」については、第一解答科目で解答してください。

なお、上記科目を選択しない場合は、「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目選択してください。

外国語 (英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1)

情報 (情報Ⅰ)

イ. 英語小論文及び英語による個人面接

① 英語小論文の内容

文化・歴史・社会に関する英語の長文を踏まえて、英語で作成する小論文を課します。

英語能力とともに論理的思考力や表現力を評価します。

- ② 英語による個人面接の内容（第1次選抜試験合格者数により集団面接を行う場合があります。）
面接は、個人面接の方式で、1人につき10分程度、英語により実施します。
文学部生としての適性・能力・意欲を評価します。

③ 実施日時及び場所

受験者は、総合型選抜受験票（総合Ⅱ）及び令和9（2027）年度大学入学共通テスト受験票、筆記用具及び弁当等を持参の上、令和9（2027）年1月30日（土）9時00分までに指定の場所に集合してください。

④ 受験上の注意

遅刻による試験室への入室限度時刻は、予め定められた試験開始時刻から30分以内です。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻したものは、試験監督者に申し出てください。

⑤ 試験実施日時・場所

試験日：令和9（2027）年1月30日（土）

時 間		実施及び集合場所
英語小論文試験	10:00～12:00	九州大学伊都キャンパス イーストゾーン※
英語による個人面接	13:00～18:00	

※集合場所の詳細は、令和8（2026）年12月24日（木）頃、本学Webサイト上でお知らせします。

(3) 合否判定の基準

ア．第1次選抜（令和8（2026）年11月下旬から12月上旬に実施予定）

調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を5段階で評価し、各評価を合わせて3段階（ABC）で総合評価します。

イ．第2次選抜

小論文及び面接をそれぞれ50点満点で評価し、令和9（2027）年度大学入学共通テスト成績（100点満点）と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。

大学入学共通テストの配点

国語	200点
地理歴史及び公民	200点
数学	200点
理科	100点
外国語	200点
情報	50点
合計	950点

・英語はリスニングの成績も利用します。リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点を利用します。

ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。

・大学入学共通テストの成績は、合計点を100点満点に換算します。

法 学 部

1. アドミッション・ポリシー

◆求める学生像

世の中のあらゆる問題は法により紀律されている。そのような、法の支配する社会において、法学を学んだ者の存在価値は極めて高い。法学部では、将来どのような進路を目指すとも（法学部卒業生の多くが民間企業に就職したり国家公務員・地方公務員になっており、必ずしも法曹を目指す学生ばかりではない）、法学を学んだことによって社会のさまざまな課題を発見し、それを分析し、それを解決するための方途を見出す能力を有し、したがって社会に役立つ人材を育てることを目指していることから、法学部を志望する学生には、法学・政治学を専門的に学ぶための前提として、現代社会の諸問題への関心はもとより、歴史・科学・文化・外国語などの基礎教養に裏打ちされた広い視野をもって勉学に取り組む意欲、自己の問題関心に即して主体的に学ぶ姿勢が期待される。具体的には、

1. 歴史や社会問題に関心を持ち、解決すべき課題を自分で発見する力
2. 必要な情報を各方面から収集する技能
3. 情報の分析・加工を通じて自分なりの視点・意見を作り上げようとする意欲
4. それを他者の前でわかりやすく、論理的・説得的に説明する力
5. 他者との議論を通じて意見や価値観の多様性を学び、自己反省の機会を持って柔軟に修正案・改善案を見つける姿勢
6. 法的知識と語学力を身に付けてグローバルな舞台で活躍しようとする意欲

の6つである。法学部は、学生の持つこれらの潜在能力を伸ばし、将来への確かな地歩を築く場を提供することを目指している。

◆求める学生像と学力3要素との関係

- ① 知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。日頃から新聞などを読み、国内外の多様な問題について知識と関心を有していることが望ましい。
- ② 思考力・判断力・表現力等の能力：多面的に考え、客観的に批判し、自分の言葉で人に伝える資質。豊富な読書経験を有し、友人などとのディスカッション能力や比較的長い文章の作成能力に長けていることが望ましい。
- ③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：現代社会の諸問題への関心、多様性を尊重する態度、異なる考えに共感する寛容性。社会性や積極性に加え、自分と異なる他者への想像力を有し、異文化社会での実体験を有していることが望ましい。

◆入学者選抜方法との関係

法学部では、教育目標の実現に必要な基礎能力の確認を主眼とし、同時に多様な学生を受け入れることができるよう、複数の選抜方法を採用している。

1. 一般選抜（前期日程）では、主要科目全般の総合的な達成度を重視して、国語・数学・外国語の試験を課し、大学入学共通テストの成績及び調査書の内容を併せて評価し、入学者を選抜する。

2. 一般選抜（後期日程）では、主要科目全般の総合的な達成度の評価に加え、柔軟な理解力、的確な分析能力、論理的な表現能力等を測るために「教員の講義に関する理解度確認試験」を課す（2021年度以降）。この結果と、大学入学共通テストの成績、調査書の内容を併せて評価し、入学者を選抜する。
3. 総合型選抜では、主要科目全般の総合的な達成度に加えて英語能力を重視し、英語試験及び日本語と英語による面接試験を課し、大学入学共通テスト及び英語能力試験の成績、調査書、志望理由書の内容を併せて評価し、入学者を選抜する。
4. 以上のほかに、帰国生徒や私費外国人留学生を対象とする特別の選抜も実施している。前者については、基礎学力検査に加えて、面接を実施する。後者については、日本留学試験及び本学の日本語試験の成績に加えて、面接を実施する。

求める学生像と学力3要素と入学者選抜方法との関係については、「選抜方法に関する別表」のとおりである。

選抜方法に関する別表

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	理解度確認試験	調査書
総合型選抜	大学入学共通テスト 英語能力試験 英語試験	英語能力試験 英語試験 個人面接	調査書 志望理由書 個人面接

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で本学法学部が指定する令和 9（2027）年度大学入学共通テストの教科・科目（英語リスニングを含む。）を受験し、本学法学部を第1志望とする者としします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和 7（2025）年 4 月以降に卒業した者及び令和 9（2027）年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を令和 7（2025）年 4 月以降に修了した者及び令和 9（2027）年 3 月までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、令和 7（2025）年 4 月以降にこれに該当するもの及び令和 9（2027）年 3 月までにこれに該当する見込みのもの

なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。

(注意) 本選抜の趣旨から本学の実施する総合型選抜(次世代研究者発掘入試を含む)、学校推薦型選抜、国際入試（教育学部）との併願はできません。

3. 募集人員

10人

(注) 入学手続きが募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。

4. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。

(1) 第1次選抜

ア. 提出された調査書又は調査書に代わる書類、志望理由書及び英語能力試験の成績（注）の総合評価により選抜を行います。

（注）英語能力試験は、下記のいずれかの試験の成績の原本（願書受付期間の最終日より過去2年以内（令和6（2024）年11月以降）に受験したもの）を提出してください。提出された書類は返却しません。ただし、英語能力試験の成績の原本については、九州大学学務部入試課で確認後返却しますので、返送先の住所・氏名を記入し、簡易書留郵便の郵送にかかる金額分の切手を貼った返信用封筒を同封の上、提出してください。

- ・TOEFL iBT ※本学への直送手続（ETS アカウント（My TOEFL Home）から九州大学のDIコード「0411」を選択）を行ってください。
- ・「GTEC（4技能）」※GTECはオフィシャルスコアに限る。
- ・TOEIC Listening and Reading
- ・実用英語技能検定試験（英検） ※第1次・第2次試験両方の個人成績表を提出すること。
- ・IELTS

なお、入学後の教育プログラムの学修に必要な英語力としては、TOEFL（iBT）61（バンドスコア3.5）、GTEC（4技能）1110が目安となります。

イ. 第1次選抜の合格者は、募集人員の3倍程度とします。

ウ. 第1次選抜の結果は、令和8（2026）年12月21日（月）頃に郵便で発送します。

(2) 第2次選抜

第1次選抜の合格者に対し、英語試験、個人面接及び令和9（2027）年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。

ア. 大学入学共通テスト

- ① 令和9（2027）年度大学入学共通テストの詳細については、大学入学共通テスト受験案内を参照してください。
- ② 令和9（2027）年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（6教科又は7教科8科目）

※84～87ページを必ず確認してください。

国語（国語）

地歴及び公民（（地理総合、地理探究）、（歴史総合、日本史探究）、（歴史総合、世界史探究）、（公共、倫理）、（公共、政治・経済）から2）

数 学 (数学Ⅰ, 数学A) と (数学Ⅱ, 数学B, 数学C)
理 科 (物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎)

理科の科目において、2科目を受験した場合は、「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」の得点は、第一解答科目の得点を採用します。「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」については、第一解答科目で解答してください。

なお、上記科目を選択しない場合は、「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目選択してください。

外 国 語 (英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1)
情 報 (情報Ⅰ)

イ. 英語試験及び個人面接

① 英語試験の内容

英語長文について、英語又は日本語で解答する問題を課します。特別な法学・政治学の知識は必要ありませんが、英語能力とともに論理力を評価する内容です。

② 個人面接の内容

面接は、個人面接の方式で、1人につき30分程度、日本語と英語の二カ国語により実施します。第1次選抜で提出された書類及び時事問題を題材として質疑を行い、法律学を学ぶ適性・能力・意欲を評価します。

③ 実施日時及び場所

受験者は、総合型選抜受験票(総合Ⅱ)及び令和9(2027)年度大学入学共通テスト受験票、筆記用具及び弁当等を持参の上、令和9(2027)年1月30日(土)9時00分までに指定の場所に集合してください。

④ 受験上の注意

遅刻による試験室への入室限度時刻は、予め定められた試験開始時刻から30分以内です。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻したものは、試験監督者に申し出てください。

⑤ 試験実施日時・場所

試験日：令和9(2027)年1月30日(土)

時 間		実施及び集合場所
英語試験	10:00～12:00	九州大学伊都キャンパス イーストゾーン※
個人面接	13:00～18:00	

※集合場所の詳細は、令和8(2026)年12月24日(木)頃、本学Webサイト上でお知らせします。

(3) 可否判定の基準

ア. 第1次選抜

提出された調査書・志望理由書・英語能力試験の成績のそれぞれについて3段階(ABC)で評価し、各評価を合わせて3段階(ABC)で総合評価します。

イ．第2次選抜

大学入学共通テスト（450点）、英語試験（200点）及び個人面接（200点）の成績で評価し、各評価を合わせて3段階（ABC）で総合評価します。

「大学入学共通テスト（各教科・科目）」、「英語試験」及び「個人面接」の各得点において、本学部での修学に耐えないと判断される場合、不合格となることがあります。

- ・ 大学入学共通テストの配点

国 語	地歴及び 公民	数 学	理 科	外国語	情 報	計
100 点	100 点	100 点	50 点	50 点	50 点	450 点

- ・ 英語はリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点を50点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。

経済学部（経済・経営学科）

1. アドミッション・ポリシー

◆求める学生像

経済・経営学科では、その特色ある教育課程により、学生は自己の問題関心に応じた体系的な科目履修が可能である。その結果、現実感覚や問題解決能力、外国語能力に基礎付けられた国際性、さらには、幅広い教養を養うことができる。先端的科学技術の急速な発展や経済のグローバル化・市場経済化の進展などによって大きな変容を遂げつつある現代の経済社会に深い関心をもち、経済学・経営学の基礎理論や幅広い教養を身につけ、さらに、豊かな国際感覚を磨くことを通じて、人類が直面している種々の問題に積極的に取り組んでいこうという気概をもった皆さんが、経済・経営学科に興味をもち、入学されることを期待している。

そのために高校では、基礎的科目としての国語・数学・外国語の諸科目をしっかりと勉強するだけでなく、地歴・公民の諸科目をできるだけ満遍なく学習することが重要となる。また理科の諸科目も経済発展と密接不可分な科学・技術を理解するために学習することが求められる。

◆求める学生像と学力3要素との関係

- ① 知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。
- ② 思考力・判断力・表現力等の能力：多面的に考え、客観的に批判し、自分の言葉で人に伝える資質。
- ③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：現代の経済社会への深い関心。人類が直面している種々の問題に積極的に取り組んでいこうという気概。多様性を尊重する態度、異なる考えに共感する寛容性。常に自らを向上させようとする意欲。

◆入学者選抜方法との関係

求める学生像と学力3要素と入学者選抜方法との関係については、「選抜方法に関する別表」のとおりである。

選抜方法に関する別表

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	小論文	調査書
総合型選抜	大学入学共通テスト 調査書	小論文	面接 調査書、志望理由書等

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、本学経済学部経済・経営学科が指定する令和9（2027）年度大学入学共通テストの教科・科目（英語リスニングを含む。）を受験し、本学経済学部経済・経営学科に合格した場合は必ず入学することを確約する者としします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和7（2025）年4月以降に卒業した者及び令和9（2027）年3月までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7（2025）年4月以降に修了した者及び令和9（2027）年3月までに卒業見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、令和7（2025）年4月以降にこれに該当するもの及び令和9（2027）年3月までにこれに該当する見込みのもの

なお、出願資格について不明な点がある場合には、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係に問い合わせてください。

(注意) 本選抜の趣旨から本学の実施する総合型選抜(次世代研究者発掘入試を含む)、学校推薦型選抜、国際入試（教育学部）との併願はできません。

3. 募集人員

22人

(注) 入学手続き者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。

4. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。

(1) 第1次選抜

ア. 提出された調査書又は調査書に代わる書類、志望理由書の総合評価により選抜を行います。

※特進クラス等に所属する志願者については、調査書の備考欄にその名称と概要を記載すること

イ. 第1次選抜の合格者は、募集人員の2倍程度とします。

ウ. 第1次選抜の結果は、令和8（2026）年12月21日（月）頃に郵便で発送します。

(2) 第2次選抜

第1次選抜の合格者に対し、小論文、面接及び令和9（2027）年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。

ア. 大学入学共通テスト

①令和9（2027）年度大学入学共通テストの詳細については、大学入学共通テストの受験案内を参照してください。

②令和9（2027）年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（6教科又は7教科8科目）※84～87 ページを必ず確認してください。

国語（国語）

地歴及び公民（（地理総合，地理探究），（歴史総合，日本史探究），（歴史総合，世界史探究），（公共，倫理），（公共，政治・経済）から2）

数学（数学Ⅰ，数学A）と（数学Ⅱ，数学B，数学C）

理科（物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎）

理科の科目において，2科目を受験した場合は，「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」の得点は，第一解答科目の得点を採用します。「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」については，第一解答科目で解答してください。

なお，上記科目を選択しない場合は，「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目選択してください。

外国語（英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から1）

情報（情報Ⅰ）

イ. 小論文及び面接

① 小論文の内容

経済，社会及び文化に幅広い関心を持ち，経済学部経済・経営学科で学んでいくために必要な基礎的知識と素養を有していることを前提として，課題の発見及びそれらの解決に向けた論理的な思考力と表現力を日本語で問います。

② 面接の内容

面接は，個人面接の方式により1人につき15分程度で実施します。第1次選抜で提出された志望理由書をもとに質疑を行います。

③ 実施日時及び場所

受験者は，総合型選抜受験票（総合Ⅱ）及び令和9（2027）年度大学入学共通テスト受験票，筆記用具及び弁当等を持参の上，令和9（2027）年1月30日（土）9時30分までに指定の場所に集合してください。

④ 受験上の注意

遅刻による試験室への入室限度時刻は，予め定められた試験開始時刻から30分以内です。なお，交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻したものは，試験監督者に申し出てください。

⑤ 試験実施日時・場所

試験日：令和 9（2027）年 1 月 30 日（土）

時 間		実施及び集合場所
小論文	10：00～11：30	九州大学伊都キャンパス イーストゾーン※
面接	13：00～16：00	

※集合場所の詳細は、令和 8（2026）年 12 月 24 日（木）頃、本学 Web サイト上でお知らせします。

(3) 合否判定の基準

ア．第 1 次選抜

提出された調査書又は調査書に代わる書類、志望理由書のそれぞれについて 3 段階（ＡＢＣ）で評価し、各評価を合わせて 3 段階（ＡＢＣ）で総合評価します。

イ．第 2 次選抜

大学入学共通テストの成績（950 点）、小論文の成績（300 点）及び面接の各評価を合わせて 3 段階（ＡＢＣ）で総合評価します。

なお、大学入学共通テストについては、満点の 75%程度を合格の目安とします。

また、小論文及び面接の各得点のいずれかにおいて、本学科での修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。

・ 大学入学共通テストの配点

国 語	地歴及び 公民	数 学	理 科	外国語	情 報	計
200 点	200 点	200 点	100 点	200 点	50 点	950 点

- 英語はリスニングの成績も利用します。リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計点を利用します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。

理 学 部

	物 理 学 科	化 学 科	地球惑星科学科	生 物 学 科
1. アドミッション・ポリシー	◆求める学生像 物理学とは、「物質はどのようにして生まれたか、どのような性質を持つか、どのような法則にしたがっているか」を探究する学問である。極微細な素粒子の世界から、我々の身の回りの物質、そして広大な宇宙にいたる様々な階層の自然の中にひそんでいる、基本的な法則を明らかにしようとする営みともいえる。また、情報理学は、情報を扱うための原理と技術を探究する学問である。情報理学は物理学と密接な関係をもつ。例えば、情報の表現や伝送に関わる情報理論は、統計物理学や熱力学と関係が深い。また近年では、量子力学に基づく新しい計算モデルである「量子コンピュータ」の研究も盛んに行われている。 本物理学科では、大学での物理学・情報理学の学習に必要な基礎学力を備え、大学での講義を理解し、情報収集やレポート作成・発表ができる国語力、基本的な英語力、さらに、物事の背景にある普遍的な法則を積極的に調べようとする探究心を持つ人を求めている。 【国際理学コース】加えて、国際理学コースが目指す専門性・学際性・国際性を兼ね備えた人材に成長することを希望する人を求めている。	◆求める学生像 化学科では、将来、化学研究者、高度な化学の専門知識をもつ技術者に成長することを志す、意欲的な学生を求めている。また、高度な化学知識や思考を生かせる職業に携わり、日本の中核的、かつ指導的役割を担うことを目指す学生を求める。それゆえ、十分な基礎学力を持つとともに、化学の勉学に熱意をもち、創造性豊かな学生を求める。現代の化学は、物理学、生物学、地学、数学など他の多くの学問に支えられ、かつ互いに影響を与えている。化学を学び、深く理解するためには、これら関連する学問領域を広く理解することも重要となる。大学の授業の堅固な基礎となる高等学校での幅広い学習を望む。 【国際理学コース】加えて、国際理学コースが目指す専門性・学際性・国際性を兼ね備えた人材に成長することを希望する人を求めている。	◆求める学生像 高校数学および高校理科の基本事項を理解し、大学での講義の理解、文献の読解、レポートの作成、研究発表などのための国語力を十分備えている学生を求めている。また専門文献の読解や、将来、国際的な場で活躍するためにも必要な高校英語の十分な学力を備えた学生を求めている。研究者、技術者、教育者として日本ばかりではなく世界で活躍するために、十分な基礎学力だけでなく、地球惑星科学の勉学に対する熱意、自然現象への探求心をもった創造性豊かな学生を求めている。 【国際理学コース】加えて、国際理学コースが目指す専門性・学際性・国際性を兼ね備えた人材に成長することを希望する人を求めている。	◆求める学生像 生物学科では、分子、細胞、個体、集団等の各階層における生物の営みとその根底にあるメカニズムに強い興味を持ち、生物の勉学、研究に熱意をもつ創造性豊かな学生を求めている。生物学分野において科学の真理の追究をめざす意欲があることを重視する。本学科志望者には、高校において理系科目(数学、理科〔生物のほか、化学、物理、地学〕)を学び、論理的思考力を身に付けるようにすること、および自然科学の基礎知識を修得しておくことはもちろんのこと、文系科目(国語、英語、社会)も幅広く履修し、筋道の立った文章が書けることなどが望まれる。 【国際理学コース】加えて、国際理学コースが目指す専門性・学際性・国際性を兼ね備えた人材に成長することを希望する人を求めている。
	◆求める学生像と学力3要素との関係 ① 知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。特に、大学での物理学・情報理学の学習に必要な物理・数学などの理系科目の十分な素養と基本的な英語力。 ② 思考力・判断力・表現力等の能力：大学での講義を理解し、情報収集やレポート作成・発表ができる国語力。多面的に考え、客観的に批判し、自分の言葉で人に伝える	◆求める学生像と学力3要素との関係 ① 知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。特に大学での化学の学習に必要な化学・物理などの理系科目の十分な素養と基本的な英語力。 ② 思考力・判断力・表現力等の能力：大学での講義を理解し、情報収集やレポート作成・発表ができる国語力。多面的に考え、客観的に批判し、自分の言葉で人に伝	◆求める学生像と学力3要素との関係 ① 知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。特に大学での広い分野の学習に必要な理科・数学などの理系科目の十分な素養と基本的な英語力。 ② 思考力・判断力・表現力等の能力：大学での講義を理解し、情報収集やレポート作成・発表ができる国語力。多面的に考え、客観的に批判し、自分の言葉で人に伝	◆求める学生像と学力3要素との関係 ①高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。特に、大学での生物学の学習に必要な理系科目の基礎知識と論理的な思考力及び、基礎的な英語力を有する学生。 ② 思考力・判断力・表現力等の能力：知識や実験結果・観察を基に多面的に考え、客観的に批判し、自分の言葉で相手に伝わるように表現できる学生。

	物 理 学 科	化 学 科	地球惑星科学科	生 物 学 科
	資質。 ③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：さまざまな自然現象の背景にある普遍的な法則への関心。多様性を尊重する態度，異なる考えに共感する寛容性。教員・先輩・友人に質問し，議論する積極性。	える資質。 ③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：将来，化学研究者や高度な化学の専門知識をもつ技術者，あるいは高度な化学知識や思考を生かせる職業に携わり，日本の中核的，かつ指導的役割を担うことへの関心。多様性を尊重する態度，異なる考えに共感する寛容性。教員・先輩・友人に質問し，議論する積極性。	える資質。 ③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：地球惑星科学の諸現象への関心。多様性を尊重する態度，異なる考えに共感する寛容性。教員・先輩・友人に質問し，議論する積極性。	③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：生命現象に関する強い関心と意欲を有する学生。国籍，世代，考え方の違いに関わらず，教員，先輩，友人に積極的に議論し，問題解決にあたることのできる学生。
◆入学者選抜方法との関係 求める学生像と学力３要素と入学者選抜方法との関係については、「選抜方法に関する別表」のとおりである。				
選抜方法に関する別表（物理学科）				
	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
一般選抜（前期） （国際理学科コース）※	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書	
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	面接	調査書 面接	
総合型選抜	大学入学共通テスト 課題探求試験	課題探求試験 個人面接	調査書，志望理由書 個人面接	
選抜方法に関する別表（化学科）				
	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
一般選抜（前期） （国際理学科コース）※	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書	
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト 化学に特化した個別学力試験	化学に特化した個別学力試験	調査書	
総合型選抜	調査書 大学入学共通テスト	個人面接	調査書，志望理由書 個人面接	
選抜方法に関する別表（地球惑星科学科）				
	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
一般選抜（前期） （国際理学科コース）※	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書	
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	面接	調査書 面接	
総合型選抜	大学入学共通テスト 小論文	小論文 個人面接	調査書，志望理由書 個人面接	

	物 理 学 科	化 学 科	地球惑星科学科	生 物 学 科
	選抜方法に関する別表（生物学科）			
		①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
	一般選抜（前期） （国際理学コース）※	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
	一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	大学入学共通テスト 面接	調査書 面接
	総合型選抜	大学入学共通テスト	大学入学共通テスト 面接	調査書，志望理由書 面接
	※ 国際理学コースの入学者選抜は，一般選抜（前期日程）を利用し，一般選抜（前期日程）の各学科の合格者で国際理学コースへの入学を希望する者の中から，成績上位者（各学科最大２名）を選抜する。このため，国際理学コースに合格するために独自の受験準備をする必要はない。国際理学コースへの出願を希望する場合は，インターネットによる一般選抜（前期日程）出願の際に，「国際理学コースに出願する」を選択すること。			

	物 理 学 科	化 学 科	地球惑星科学科	生 物 学 科
２．出願資格	次の各項のいずれかに該当する者で、本学理学部当該志望学科が指定する令和 9（2027）年度大学入学共通テストの教科・科目（英語のリスニングを含む。）を受験し、理学部当該志望学科の勉学に意欲のある者で本学理学部当該志望学科を第 1 志望とする者としします。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和 3（2021）年 4 月以降に卒業した者及び令和 9（2027）年 3 月までに卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を令和 3（2021）年 4 月以降に修了した者及び令和 9（2027）年 3 月までに修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、令和 3（2021）年 4 月以降にこれに該当するもの及び令和 9（2027）年 3 月までにこれに該当する見込みのもの なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。 (注意) 本選抜の趣旨から本学の実施する総合型選抜（次世代研究者発掘入試を含む）、学校推薦型選抜、国際入試（教育学部）との併願はできません。			
３．募集人員	7 人	8 人	7 人	5 人
	(注) 合格者又は入学手続者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。			
４．入学者選抜方法 (1) 第 1 次選抜	入学者の選抜は、第 1 次選抜及び第 2 次選抜により行います。 ア. 提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。			
	イ. 第 1 次選抜の合格者は、募集人員の 3 倍程度とします。	イ. 第 1 次選抜の合格者は、募集人員の 3 倍程度とします。	イ. 第 1 次選抜の合格者は、募集人員の 4 倍程度とします。	イ. 第 1 次選抜の合格者は、募集人員の 3 倍程度とします。
	ウ. 第 1 次選抜の結果については、令和 8（2026）年 12 月 21 日（月）頃に郵便で発送します。			
(2) 第 2 次選抜	第 1 次選抜の合格者に対し、課題探求試験、面接（試問を含む。）及び令和 9（2027）年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。 ア. 大学入学共通テスト ①令和 9（2027）年度大学入学共通テストの詳細については、大学入学共通テスト受験案内を参照してください。 ②令和 9（2027）年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（6 教科 8 科目） ※84～87 ページを必ず確認してください。 国 語（国語） 地歴及び公民（「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」から 1） 地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第 1 解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。 数 学（数学Ⅰ、数学 A）と（数学Ⅱ、数学 B、数学 C） 理 科〔(物理)と（化学、生物、地学から 1）〕 外 国 語（英語） 情 報（情報Ⅰ）	第 1 次選抜の合格者に対し、面接（試問を含む。）及び令和 9（2027）年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。 ア. 大学入学共通テスト ①令和 9（2027）年度大学入学共通テストの詳細については、大学入学共通テスト受験案内を参照してください。 ②令和 9（2027）年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（6 教科 8 科目） ※84～87 ページを必ず確認してください。 国 語（国語） 地歴及び公民（「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」から 1） 地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第 1 解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。 数 学（数学Ⅰ、数学 A）と（数学Ⅱ、数学 B、数学 C） 理 科〔(化学)と（物理、生物から 1）〕 外 国 語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から 1） 情 報（情報Ⅰ）	第 1 次選抜の合格者に対し、小論文、面接（試問を含む。）及び令和 9（2027）年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。 ア. 大学入学共通テスト ①令和 9（2027）年度大学入学共通テストの詳細については、大学入学共通テスト受験案内を参照してください。 ②令和 9（2027）年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（6 教科 8 科目） ※84～87 ページを必ず確認してください。 国 語（国語） 地歴及び公民（「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」から 1） 地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第 1 解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。 数 学（数学Ⅰ、数学 A）と（数学Ⅱ、数学 B、数学 C） 理 科（物理、化学、生物、地学から 2） 外 国 語（英語） 情 報（情報Ⅰ）	第 1 次選抜の合格者に対し、調査書又は調査書に代わる書類、志望理由書、面接及び令和 9（2027）年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。 ア. 大学入学共通テスト ①令和 9（2027）年度大学入学共通テストの詳細については、大学入学共通テスト受験案内を参照してください。 ②令和 9（2027）年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（4 教科 6 科目） ※84～87 ページを必ず確認してください。 数 学（数学Ⅰ、数学 A）と（数学Ⅱ、数学 B、数学 C） 理 科（物理、化学、生物、地学から 2） 外 国 語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から 1） 情 報（情報Ⅰ）

	物 理 学 科	化 学 科	地球惑星科学科	生 物 学 科
	イ．課題探求試験及び面接（試問を含む。） ①課題探求試験の内容 物理学に関する問題を出題し、物理学についての理解度や柔軟な発想を評価します。 ②面接の内容 面接は、個人面接とし、1 人 15 分程度行います。 調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし、審査員 3 人で物理学に関する質問を行い、物理学を学ぶ熱意及び適性・能力を評価します。	イ．面接（試問を含む。） ①面接の内容 面接は、個人面接とし、1 人 25 分程度行います。 調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし、審査員 4 人程度で化学に関する質問を行い、自然科学への素養や適性並びに論理的思考能力、化学を学ぶとする熱意を評価します。	イ．小論文及び面接（試問を含む。） ①小論文の内容 「自然現象について興味を持ったこと」というテーマで、1000 字程度の論述を課します（制限時間 50 分）。 ②面接の内容 面接は個人面接とし、一人 20 分程度行います。小論文、調査書または調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし、審査員 3 人程度で科学に対する試問、及び質問を行い、地球惑星科学を学ぶ意欲、熱意、適性を評価します。	イ．面接 ①面接の内容 面接は、個人面接とし、1 人 15 分程度行います。 調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし、審査員 3 人程度で生物学を学ぶ適性能力、創造性の豊かさ及び熱意を評価します。
	実施日時及び場所 受験者は、総合型選抜受験票（総合Ⅱ）、令和 9（2027）年度大学入学共通テスト受験票、筆記用具及び弁当等を持参の上、令和 9（2027）年 1 月 30 日（土）8 時 30 分までに集合してください。※集合場所の詳細は、令和 8（2026）年 12 月 24 日（木）頃、本学 Web サイト上でお知らせします。 遅刻による試験室への入室限度時刻は、予め定められた試験開始時刻から 30 分以内です。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻した者は、試験監督者までその旨を申し出てください。			
	月日：1 月 3 0 日（土） 時間：課題探求試験及び面接 9：00～17：00（最長） 場所：理学部（伊都キャンパス）	月日：1 月 3 0 日（土） 時間：面接 9：00～18：00 場所：理学部（伊都キャンパス）	月日：1 月 3 0 日（土） 時間：小論文及び面接 9：00～17：00（最長） 場所：理学部（伊都キャンパス）	月日：1 月 3 0 日（土） 時間：面接 9：00～15：00 場所：理学部（伊都キャンパス）
(3) 可否判定の基準 ア．第 1 次選抜	調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を 5 段階で評価し、各評価を合わせて 3 段階（A B C）で総合評価します。	調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書をそれぞれ 50 点満点で評価し、各評価を合わせて 3 段階（A B C）で総合評価します。	適性、表現力、熱意、基礎学力などについて、調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書をそれぞれ 50 点満点で評価し、各評価を合わせて 3 段階（A B C）で総合評価します。	調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を合わせて 100 点満点で評価し、さらに 3 段階（A B C）で総合評価します。
イ．第 2 次選抜	課題探求試験及び面接をそれぞれ 100 点満点で評価し、令和 9（2027）年度大学入学共通テスト成績（100 点満点）と合わせて 3 段階（A B C）で総合評価します。 大学入学共通テストの配点 国 語 200 点 地歴及び公民 100 点 数 学 200 点 理 科 200 点 外 国 語 200 点 情 報 50 点 合 計 950 点	面接（調査書又は調査書に代わる書類、志望理由書も参考にします。）を 100 点満点で評価し、令和 9（2027）年度大学入学共通テスト成績（100 点満点）と合わせて 3 段階（A B C）で総合評価します。 大学入学共通テストの配点 国 語 200 点 地歴及び公民 100 点 数 学 200 点 理 科 200 点 外 国 語 200 点 情 報 50 点 合 計 950 点	小論文及び面接（調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書も参考にします。）の成績を 100 点満点で評価し、令和 9（2027）年度大学入学共通テスト成績（200 点満点）と合わせて 3 段階（A B C）で総合評価します。 大学入学共通テストの配点 国 語 200 点 地歴及び公民 100 点 数 学 200 点 理 科 200 点 外 国 語 200 点 情 報 50 点 合 計 950 点	調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を 100 点満点で、面接を 300 点満点で評価し、令和 9（2027）年度大学入学共通テスト成績（650 点満点）と合わせて 3 段階（A B C）で総合評価します。 大学入学共通テストの配点 数 学 200 点 理 科 200 点 外 国 語 200 点 情 報 50 点 合 計 650 点

	物 理 学 科	化 学 科	地球惑星科学科	生 物 学 科
	- 英語はリスニングの成績も利用します。リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計点を利用します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。 - 大学入学共通テストの成績は、合計点を100 点満点に換算します。	- 英語はリスニングの成績も利用します。リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計点を利用します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。 - 大学入学共通テストの成績は、合計点を100 点満点に換算します。	- 英語はリスニングの成績も利用します。リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計点を利用します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。 - 大学入学共通テストの成績は、合計点を200 点満点に換算します。	英語はリスニングの成績も利用します。リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計点を利用します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。

医学部保健学科

1. アドミッション・ポリシー

◆求める学生像

保健学科での学修をめざす学生には、病む人々や健康を願う人々の心を理解し、保健、医療、福祉の分野で活躍する意欲と強い意志があることが求められる。また、医療における諸問題を発見し、それらを解決するために課題を設定して解明するのに必要な思考力や自主性も求められる。さらに、広い分野の学習を進めながら関心の幅を広げたり、海外での医療活動を見据えた語学力が望まれる。

◆求める学生像と学力3要素との関係

① 知識・技能

- ・高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。
- ・保健・医療・福祉における幅広い知識や技能。

② 思考力等

- ・多面的に考え、客観的に批判し、自分の言葉で人に伝える資質。
- ・保健・医療・福祉における課題を自主的に発見し、解決するために必要となる理系的・論理的思考力。
- ・国際的に保健・医療・福祉活動を行うために必要な思考力および表現力。

③ 主体性等

- ・病む人々や健康を願う人々の心を理解し、保健、医療、福祉の分野で活躍することへの関心。
- ・多様性を尊重する態度、異なる考えに共感する寛容性。
- ・周囲や他分野の人々と積極的にコミュニケーションを図り、保健・医療・福祉活動を安全に遂行する意欲や能力。
- ・高い倫理観と豊かな人間性を身に付け、保健・医療・福祉の分野で社会に貢献する意欲。

◆入学選抜方法との関係

選抜方法に関する別表を参照。

なお、保健師コース選択希望者については、2年冬学期終了時に選考試験を行う。選考は、試験時までの専攻教育科目の成績に加え、複数名のコース担当教員による面接、小論文を課し、総合的に審査する。

選抜方法に関する別表

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）	調査書 大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書

総合型選抜	調査書 大学入学共通テスト	小論文	調査書 志望理由書 個人面接
-------	------------------	-----	----------------------

2. 出願資格

次の各項のいずれかに該当する者で、本学医学部保健学科が指定する令和9（2027）年度大学入学共通テストの教科・科目（英語のリスニングを含む。）を受験し、本学医学部保健学科を第1志望とする者としてします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和3（2021）年4月以降に卒業した者及び令和9（2027）年3月までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和3（2021）年4月以降に卒業した者及び令和9（2027）年3月までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、令和3（2021）年4月以降にこれに該当するもの及び令和9（2027）年3月までにこれに該当する見込みのもの

なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。

(注意) 本選抜の趣旨から本学の実施する総合型選抜(次世代研究者発掘入試を含む)、学校推薦型選抜、国際入試（教育学部）との併願はできません。

3. 募集人員

看護学専攻	10人
放射線技術科学専攻	6人
検査技術科学専攻	6人

(注) 合格者又は入学手続者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。

4. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。

(1) 第1次選抜

- ア. 提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。
- イ. 第1次選抜の合格者は、各専攻毎に募集人員の3倍程度とします。
- ウ. 第1次選抜の結果は、令和8（2026）年12月21日（月）頃に郵便で発送します。

(2) 第2次選抜

第1次選抜の合格者に対し、小論文、面接及び令和9(2027)年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。

ア. 大学入学共通テスト

- ① 令和9(2027)年度大学入学共通テストの詳細については、大学入学共通テスト受験案内を参照してください。
- ② 令和9(2027)年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目
※84～87ページを必ず確認してください。

看護学専攻 (6教科7科目)

国語 (国語)

地歴及び公民 ((地理総合, 地理探究), (歴史総合, 日本史探究), (歴史総合, 世界史探究), (公共, 倫理), (公共, 政治・経済) から1)

地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

数学 (数学Ⅰ, 数学A) と (数学Ⅱ, 数学B, 数学C)

理科 (物理, 化学, 生物, 地学から1)

理科の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を理科の得点として採用します。

外国語 (英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1)

情報 (情報Ⅰ)

放射線技術科学専攻 (6教科8科目)

検査技術科学専攻 (6教科8科目)

国語 (国語)

地歴及び公民 ((地理総合, 地理探究), (歴史総合, 日本史探究), (歴史総合, 世界史探究), (公共, 倫理), (公共, 政治・経済) から1)

地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

数学 (数学Ⅰ, 数学A) と (数学Ⅱ, 数学B, 数学C)

理科 (物理, 化学, 生物, 地学から2)

外国語 (英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1)

情報 (情報Ⅰ)

イ. 小論文及び面接

- ① 小論文の内容

資料を読み、設問に対する900字程度の論述を行うものとします。

- ② 面接の内容

面接は、個人面接又はグループ面接とします。

志望理由書を資料とし、複数の審査員で医療に関わる者として必要な人柄、協調性、社会性、意欲、適性を評価します。

③ 実施日時及び場所

受験者は、総合型選抜受験票（総合Ⅱ）、令和 9（2027）年度大学入学共通テスト受験票、筆記用具及び弁当等を持参の上、令和 9（2027）年 1 月 30 日（土）10 時までに医学部保健学科試験場に集合してください。医学部保健学科試験場の場所の詳細は、令和 8（2026）年 12 月 24 日（木）頃、本学 Web サイト上でお知らせします。

遅刻による試験室への入室限度時刻は、予め定められた試験開始時刻から 30 分以内です。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻したものは、試験監督者にその旨申し出てください。

月 日	時 間	場 所
1 月 30 日（土）	小論文	10：30～11：30 医学部保健学科 5 番講義室
	面接	13：00～17：00 当日、各人に通知します。

(3) 合否判定の基準

ア．第 1 次選抜

調査書又は調査書に代わる書類を 75 点満点で、志望理由書を 25 点満点で評価し、各評価を合わせて 3 段階（ABC）で総合評価します。

イ．第 2 次選抜

看護学専攻

小論文及び面接を、それぞれ 200 点満点で評価し、令和 9（2027）年度大学入学共通テスト成績（375 点満点）と合わせて 3 段階（ABC）で総合評価します。

- 大学入学共通テストの配点

国 語	地歴及び 公民	数 学	理 科	外 国 語	情 報	合 計
50 点	50 点	100 点	50 点	100 点	25 点	375 点

- 英語はリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計点を 100 点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。

放射線技術科学専攻

小論文及び面接を、それぞれ 200 点満点で評価し、令和 9（2027）年度大学入学共通テスト成績（450 点満点）と合わせて 3 段階（ABC）で総合評価します。

- 大学入学共通テストの配点

国 語	地歴及び 公民	数 学	理 科	外 国 語	情 報	合 計
50 点	50 点	100 点	100 点	100 点	50 点	450 点

- 英語はリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計点を 100 点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。

検査技術科学専攻

小論文及び面接を、それぞれ 200 点満点で評価し、令和 9（2027）年度大学入学共通テスト成績（425 点満点）と合わせて 3 段階（A B C）で総合評価します。

- 大学入学共通テストの配点

国語	地歴及び 公民	数 学	理 科	外 国 語	情 報	合 計
50 点	50 点	100 点	100 点	100 点	25 点	425 点

- 英語はリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計点を 100 点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。

歯 学 部

1. アドミッション・ポリシー

◆求める学生像

歯学部では、多方面にわたる学力に優れていることに加え、九州大学教育憲章に基づき、秀でた人間性、社会性、国際性を有し、医療福祉の観点から奉仕精神や利他主義に基づく高い倫理観を有し、チーム医療や課題探求型チーム学修のチームの一員として協調性の高い行動をとり、自律的な学究を指向する人材を求めている。

◆求める学生像と学力3要素との関連

- ① 知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。基幹教育科目、ならびに歯学部専攻科目を修学するために必要な理科系、文科系の多方面にわたる十分な基礎知識。
- ② 思考力・判断力・表現力等の能力：多面的に考え、客観的に批判し、自分の言葉で人に伝える資質。チーム医療や課題探求型チーム学修のチームの一員として行動するための協調性を裏打ちするコミュニケーション能力。
- ③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：「口腔から全身の健康に貢献する」ことへの関心。多様性を尊重する態度、異なる考えに共感する寛容性。医療福祉の観点から奉仕精神や利他主義に基づく高い倫理観。自らを向上させるため、常に自律的な学究を指向する意欲。医療人に必要な人間性、社会性、国際性を磨くために努力を惜しまない姿勢。

◆入学者選抜方法

求める学生像と学力3要素と入学者選抜方法との関係については、「選抜方法に関する別表」のとおりである。

選抜方法に関する別表

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査 個別面接	個人面接
総合型選抜	大学入学共通テスト	講義に対するレポート グループ面接	調査書 グループ面接
学校推薦型選抜	大学入学共通テスト	個人面接	調査書 志望理由書 個人面接

2. 出願資格

次の各項のすべてに該当する者としてします。

- ア. 高等学校若しくは中等教育学校を令和 7（2025）年 4 月以降に卒業した者及び令和 9（2027）年 3 月までに卒業見込みの者
- イ. 本学歯学部が指定する令和 9（2027）年度大学入学共通テストの教科・科目（英語のリスニングを含む。）を受験する者
- ウ. 歯科医療や歯科医学の発展に貢献したいという強い意志と適性を持ち、本学歯学部を第 1 志望とする者

（注意）

- (1) 本学部の総合型選抜に出願する場合でも、本学部の一般選抜に出願することができます。ただし、別途出願手続きを行ってください。
- (2) 本学部の総合型選抜に出願した場合、本学部の学校推薦型選抜との併願はできません。
- (3) 本学の他学部で実施される総合型選抜（次世代研究者発掘入試を含む）、学校推薦 型選抜及び国際入試（教育学部）との併願はできません。
- (4) 本学部の総合型選抜に不合格となった場合に備えて、別途、国公立大学・学部の一般選抜に出願することができます。

3. 募集人員

8 人

- （注） 合格者又は入学手続き者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。

4. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、第 1 次選抜及び第 2 次選抜により行います。

(1) 第 1 次選抜

- ア. 課題講義に対するレポート、グループ面接及び調査書の総合評価により選抜を行います。
課題講義レポートの終了後に、「面接（グループ面接）」を行います。

イ. 課題講義について

- ①大学で行われている講義を 2 科目受けます。
- ②実施日時及び場所

受験者は、総合型選抜受験票（総合Ⅱ）、筆記用具及び弁当等を持参の上、令和 8（2026）年 11 月 28 日（土）9 時までに歯学部 A 棟（本館）正面玄関前に集合してください。集合場所等の詳細は、令和 8（2026）年 11 月 18 日（水）頃、本学 Web サイト上でお知らせします。

（注意）遅刻による試験室への入室限度時刻は、予め定められた試験開始時刻から 30 分以内です。なお交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻したものは、試験監督者に申し出てください。

月 日	時 間		場 所
11 月 28 日 (土)	集合	9 : 00	歯学部 A 棟正面玄関前
	講義 (第 1 科目)	9 : 30～10 : 20	当日、掲示でお知らせします。
	講義 (第 1 科目) に関するレポート	10 : 30～11 : 45	
	昼休み	11 : 45～12 : 45	
	講義 (第 2 科目)	12 : 45～13 : 35	
	講義 (第 2 科目) に関するレポート	13 : 45～15 : 00	
	面接 (グループ面接)	15 : 30～	

ウ. 第 1 次選抜の合格者は、募集人員の 3 倍程度とします。

エ. 第 1 次選抜の結果については、令和 8 (2026) 年 12 月 21 日 (月) 頃に通知書を郵便で発送します。

(2) 第 2 次選抜

第 1 次選抜の合格者に対し、第 1 次選抜の評価点及び令和 9 (2027) 年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。

・大学入学共通テスト

- ① 令和 9 (2027) 年度大学入学共通テストの詳細については、大学入学共通テスト受験案内を参照してください。
- ② 令和 9 (2027) 年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目 (6 教科 8 科目)

※84～87 ページを必ず確認してください。

国 語 (国語)

地歴及び公民 ((地理総合, 地理探究), (歴史総合, 日本史探究), (歴史総合, 世界史探究), (公共, 倫理), (公共・政治・経済) から 1)

地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第 1 解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

数 学 (数学 I, 数学 A) と (数学 II, 数学 B, 数学 C)

理 科 (物理, 化学, 生物から 2)

外 国 語 (英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から 1)

情 報 (情報 I)

(3) 合否判定の基準

ア. 第 1 次選抜

課題講義に対するレポートを 250 点満点, グループ面接を 100 点満点, 調査書を 50 点満点で評価し、各評価を合わせて 3 段階 (A B C) で総合評価します。

イ．第２次選抜

第１次選抜の評価点の合計と，令和９（２０２７）年度大学入学共通テストの成績（５７５点満点）と合わせて３段階（ＡＢＣ）で総合評価します。

- ・ 大学入学共通テストの配点

国語	地歴及び 公民	数 学	理 科	外 国 語	情 報	合 計
１００ 点	５０ 点	１００ 点	１００ 点	２００ 点	２５ 点	５７５ 点

- ・ 英語はリスニングの成績も利用します。リーディング（１００点満点）とリスニング（１００点満点）の合計点を利用します。ただし，大学入学共通テストにおいて，リスニングを免除された重度難聴者については，リーディングの成績のみを利用します。

工 学 部

工学部のアドミッション・ポリシー

高等学校等までに学習した国語、英語、数学、理科、社会、情報の学力を有したうえで、物理学や化学など自然科学の原理と法則を理解し、幅広い教養と倫理観および国際的視野を併せ持って文明の持続的発展を支える「ものづくり」を先導する技術者、研究者として成長したいという強い意欲と適性を持った者を求めます。

これらに加え、各学科（コース）で総合型選抜において求める人材（アドミッション・ポリシー）を定めています。

○電気情報工学科

1. アドミッション・ポリシー	工学における課題発掘と解決および研究開発における指導的立場への強い意欲と適性を持ち、電気情報工学への突出した興味、理論・原理への好奇心、および協働において他者を巻き込む力を有する者を求めます。
2. 出願資格	次の各項のいずれかに該当する者で、本学工学部電気情報工学科が指定する令和9（2027）年度大学入学共通テスト教科・科目（英語のリスニングを含む）を受験し、工学部電気情報工学科の勉学に意欲のある者で本学工学部電気情報工学科を第1志望とする者としてします。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和3（2021）年4月以降に卒業した者及び令和9（2027）年3月までに卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和3（2021）年4月以降に修了した者及び令和9（2027）年3月までに修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、令和3（2021）年4月以降にこれに該当するもの及び令和9（2027）年3月までにこれに該当する見込みのもの （注意）本選抜の趣旨から本学の実施する総合型選抜（次世代研究者発掘入試を含む）、学校推薦型選抜、国際入試（教育学部）との併願はできません。ただし、本学科の総合型選抜Ⅱ一般枠出願者は、次世代研究者発掘入試Ⅱへの出願が可能です。 なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。
3. 出願要件 （次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者のみ）	次世代研究者発掘入試Ⅱに出願の方は、2.出願資格に加えて、以下に掲げる条件をいずれも満たす者としてします。 ア) 高等学校又は中等教育学校等の高等学校に相当する期間において、以下①～⑤に記載している項目に当てはまる活動実績を修めている者 ① 日本学生科学賞の中央予備審査への進出者 ② 高校生・高専生科学技術チャレンジ（JSEC）一次審査会進出者 ③ JST 実施事業「グローバルサイエンスキャンパス（GSC）」、「次世代科学技術チャレンジプログラム（STELLA プログラム）」（GSC の後継事業）の第1段階選抜修了者 ④ 「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト（QFC-SP）」プライマリーコースの修了者 ⑤ 上記以外の自由研究や課題研究で①～④と同等の優れた発表を公的に証明できる者 など ※ 出願期間最終日（令和8年10月30日）までに④以外の発表会等に出場しておらず、出願要件証明書を提出できない場合は、出願できません。 イ) 工学部電気情報工学科が掲げるアドミッション・ポリシーで求める学生像に一致し、工学部電気情報工学科における修学に加え「次世代博士人材育成コース」で学び、博士課程へ進学する強い志がある者
4. 募集人員	一般枠：10人 次世代研究者発掘入試Ⅱ：若干名 （注）入学手続者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。

5. 入学者選抜方法	入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。
(1) 第1次選抜	○一般枠：提出された調査書又は調査書に代わる書類、及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：提出された調査書又は調査書に代わる書類、活動歴報告書・研究計画書及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。 ア. 第1次選抜の合格者は、募集人員の3倍程度とします。 イ. 第1次選抜の結果は、令和8(2026)年12月21日(月)頃に郵便で発送します。
(2) 第2次選抜	○一般枠：第1次選抜の合格者に対し、面接・実技及び令和9(2027)年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：第1次選抜の合格者に対し、面接・実技、プレゼンテーション・口頭試問、令和9(2027)年度大学入学共通テストの成績及び活動歴報告書・研究計画書の総合評価により選抜を行います。 ア. 大学入学共通テスト ①令和9(2027)年度大学入学共通テストの詳細については、大学入学共通テスト受験案内を参照してください。 ②令和9(2027)年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目(6教科8科目) ※84～87ページを必ず確認してください。 国語(国語) 地歴及び公民(「地理総合、地理探究」,「歴史総合、日本史探究」,「歴史総合、世界史探究」,「公共、倫理」,「公共、政治・経済」から1) 地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。 数学(数学Ⅰ, 数学A)と(数学Ⅱ, 数学B, 数学C) 理科(物理, 化学) 外国語(英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1) 情報(情報Ⅰ) イ. 面接・実技(試問を含む) ①内容 面接・実技は、個人ごとに審査員3名程度で実施し、1人30分程度行います。 (a) 調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし、作品作製の経験あるいは構想を説明してもらいます。また、志望理由などに関する面接を行います。 (b) 試験場に準備された試験用の作品(エレクトロニクスおよびプログラミングに関する作品を用意します)を利用、または志望理由書で説明した自己作品(自己作品を動作させるためのノートパソコンや携帯電話等の電子機器類を含みます)を持参して、プログラミングあるいはエレクトロニクスに関する実技を伴う質疑応答で試験を行います。自己作品、試験用の作品のどちらを実技で利用するかは、試験当日に受験者が選択できます。 ②実施日時及び場所 受験者は、総合型選抜受験票(総合Ⅱ)、令和9(2027)年度大学入学共通テスト受験票、志望理由書で説明した自己作品(実技での使用を希望の場合)を持参の上、令和9(2027)年1月30日(土)12時50分までに集合してください。 ※集合場所等の詳細は、令和8(2026)年12月24日(木)頃、本学Webサイト上でお知らせします。 月日：令和9(2027)年1月30日(土) 時間：面接・実技 13:00～17:20 場所：工学部(伊都キャンパス) ウ. プレゼンテーション・口頭試問(*) ①内容 プレゼンテーション・口頭試問は、個人ごとに審査員3人程度で実施し、1人15分程度行います。(プレゼンテーション5分程度、口頭試問10分程度) 高大連携事業等の各種研究プログラムにおける研究実績を基にしたプレゼンテーションを

	行います。出願時に提出した活動歴報告書・研究計画書を用いて行うため、第2次選抜にあたり、プレゼンテーション資料を新たに作成する必要はありません（提出された活動歴報告書・研究計画書のコピー1部を試験会場でお渡しします）。プレゼンテーション終了後、引き続き口頭試問を行います。 ②実施日時及び場所 面接・実技終了後、プレゼンテーション及び口頭試問（*）を実施（17:20までに終了） *は次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者のみが対象です。														
(3) 可否判定の基準 ア. 第1次選抜	○一般枠：調査書又は調査書に代わる書類を40点満点、志望理由書を60点満点で評価し、各評価を合わせて3段階（ABC）で総合評価します。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：一般枠の合格候補者のうち、活動歴報告書・研究計画書を50点満点で評価し、3段階（ABC）で評価します。														
イ. 第2次選抜	○一般枠：面接・実技を100点満点で評価し、令和9（2027）年度大学入学共通テスト成績（100点満点）と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。 なお、「面接・実技」及び「大学入学共通テスト（教科・科目）」の各得点のいずれかにおいて本学科での修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：一般枠の合格候補者のうち、プレゼンテーション・口頭試問を合計100点満点で評価し、さらに、活動歴報告書・研究計画書を合計50点満点で評価します。両者を合わせて3段階（ABC）で総合評価します。 なお、「面接・実技」、「プレゼンテーション・口頭試問」及び「大学入学共通テスト（教科・科目）」の各得点のいずれかにおいて本学科での修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。 大学入学共通テストの配点 <table border="0"> <tr><td>国語</td><td>50点</td></tr> <tr><td>地歴及び公民</td><td>50点</td></tr> <tr><td>数学</td><td>250点</td></tr> <tr><td>理科</td><td>250点（物理175点、化学75点）</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>100点</td></tr> <tr><td>情報</td><td>250点</td></tr> <tr><td>合計</td><td>950点</td></tr> </table> ・外国語は英語のリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点を100点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。 ・大学入学共通テストの成績は、合計点を100点満点に換算します。	国語	50点	地歴及び公民	50点	数学	250点	理科	250点（物理175点、化学75点）	外国語	100点	情報	250点	合計	950点
国語	50点														
地歴及び公民	50点														
数学	250点														
理科	250点（物理175点、化学75点）														
外国語	100点														
情報	250点														
合計	950点														
(4) 次世代研究者 発掘入試Ⅱ出願者	ア. 出願の際は、希望する分野（計算機工学コース、電子通信工学コース、電気電子工学コース）を選択してください。 ※指導可能な教員および研究内容について、次世代博士人材育成コース（https://nextphd.mirai.kyushu-u.ac.jp/）に掲載されています。出願に際して予め参照してください。 イ. 第1次選抜において、次世代研究者発掘入試Ⅱ（次世代博士人材育成コース希望者）に不合格の場合でも、総合型選抜Ⅱの第1次選抜に合格している者については、総合型選抜Ⅱの第2次選抜を受験できます。														

（試験場で受験する場合の注意事項）

1. 遠方からの受験者は、風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程に十分ゆとりをもって行動してください。
2. 遅刻による試験室への入室限度時刻は、予め定められた試験開始時刻から30分以内です。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻したものは、試験監督者等にその旨申し出てください。

○材料工学科（一般枠）

1. アドミッション・ポリシー	自然科学と材料工学に関する学問を深く学ぶために必要な基礎的能力を身に付ける努力をいとわず、金属材料、機能材料、材料生産プロセスなどの分野に関心を持ち、それらに関連する仕事に携わりたいという希望や意欲を持ち、一定の教養と倫理観を身につけている者を求めます。
2. 出願資格	次の各項のいずれかに該当する者で、本学工学部材料工学科が指定する令和9（2027）年度大学入学共通テスト教科・科目（英語のリスニングを含む）を受験し、材料工学（特に、金属材料・エレクトロニクス材料・熱電材料および材料製造プロセス）の発展に貢献したいという強い意志と適性を持ち、本学工学部材料工学科を第1志望とする者としてします。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和3（2021）年4月以降に卒業した者及び令和9（2027）年3月までに卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和3（2021）年4月以降に修了した者及び令和9（2027）年3月までに修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、令和3（2021）年4月以降にこれに該当するもの及び令和9（2027）年3月までにこれに該当する見込みのもの （注意）本選抜の趣旨から本学の実施する総合型選抜（次世代研究者発掘入試を含む）、学校推薦型選抜、国際入試（教育学部）との併願はできません。ただし、本学科の総合型選抜Ⅱ一般枠出願者は、次世代研究者発掘入試Ⅱへの出願が可能です。 なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。
3. 出願要件 （次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者のみ）	次世代研究者発掘入試Ⅱに出願の方は、2.出願資格に加えて、以下に掲げる条件をいずれも満たす者としてします。 ア) 高等学校又は中等教育学校等の高等学校に相当する機関において、以下①～⑤に記載している項目に当てはまる活動実績を修めている者 ①日本学生科学賞の中央予備審査への進出者 ②高校生・高専生科学技術チャレンジ（JSEC）一次審査会進出者 ③JST 実施事業「グローバルサイエンスキャンパス（GSC）」、「次世代科学技術チャレンジプログラム（STELLA プログラム）」（GSCの後継事業）の第1段階選抜修了者 ④「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト（QFC-SP）」プライマリーコースの修了者 ⑤上記以外の自由研究や課題研究で①～④と同等の優れた発表を公的に証明できる者 など ※出願期間最終日（令和8年10月30日）までに④以外の発表会等に出場しておらず、出願要件証明書を提出できない場合は、出願できません。 イ) 工学部材料工学科が掲げるアドミッション・ポリシーで求める学生像に一致し、工学部材料工学科における修学に加え「次世代博士人材育成コース」で学び、博士課程へ進学する強い志がある者
4. 募集人員	一般枠：6人 次世代研究者発掘入試Ⅱ：若干名 （注1）総合型選抜Ⅱ（一般枠）と総合型選抜Ⅱ（女子枠）の併願はできません。 （注2）入学手続きが募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。
5. 入学者選抜方法 (1) 第1次選抜	入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。 ○一般枠：提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：提出された調査書又は調査書に代わる書類、活動歴報告書・研究計画書及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。 ア. 第1次選抜の合格者は、募集人員の2倍程度とします。 イ. 第1次選抜の結果は、令和8（2026）年12月21日（月）頃に郵便で発送します。

(2) 第 2 次選抜	○一般枠：第 1 次選抜の合格者に対し、面接（試問を含む）及び令和 9（2027）年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：第 1 次選抜の合格者に対し、面接（試問を含む）、プレゼンテーション・口頭試問、令和 9（2027）年度大学入学共通テストの成績及び活動歴報告書・研究計画書の総合評価により選抜を行います。 ア．大学入学共通テスト ①令和 9（2027）年度大学入学共通テストの詳細については、大学入学共通テスト受験案内を参照してください。 ②令和 9（2027）年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（6 教科 8 科目） ※84～87 ページを必ず確認してください。 国 語（国語） 地理及び公民（「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」から 1） 地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第 1 解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。 数 学（数学Ⅰ、数学 A）と（数学Ⅱ、数学 B、数学 C） 理 科（物理、化学） 外 国 語（英語） 情 報（情報Ⅰ） イ．面接（試問を含む） ①面接の内容 面接は、個人面接とし、1 人 15 分程度行います。 調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし、審査員 3 人程度で材料工学に関する質問を行い、自然科学への素養や適性並びに論理的思考能力、熱意を評価します。 ②実施日時及び場所 受験者は、総合型選抜受験票（総合Ⅱ）、令和 9（2027）年度大学入学共通テスト受験票を持参の上、令和 9（2027）年 1 月 30 日（土）9 時 10 分まで（午後に面接がある場合は 12 時 30 分まで）に集合してください。 ※集合場所等の詳細は、令和 8（2026）年 12 月 24 日（木）頃、本学 Web サイト上でお知らせします。 月日：令和 9（2027）年 1 月 30 日（土） 時間：面接 9：40～17：00 場所：工学部（伊都キャンパス） ウ．プレゼンテーション及び口頭試問（*） ①内容 プレゼンテーション・口頭試問は、個人ごとに審査員 3 人程度で実施し、1 人 15 分程度行います。（プレゼンテーション 5 分程度、口頭試問 10 分程度） 高大連携事業等の各種研究プログラムにおける研究実績を基にしたプレゼンテーションを行います。出願時に提出した活動歴報告書・研究計画書を用いて行うため、第 2 次選抜にあたり、プレゼンテーション資料を新たに作成する必要はありません（提出された活動歴報告書・研究計画書のコピー 1 部を試験会場でお渡しします）。プレゼンテーション終了後、引き続き口頭試問を行います。 ②実施日時及び場所 面接終了後、プレゼンテーション及び口頭試問（*）を実施（17:00 までに終了） *は次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者のみが対象です。
(3) 合否判定の基準 ア．第 1 次選抜	○一般枠：調査書又は調査書に代わる書類を 50 点満点、志望理由書を 50 点満点で評価し、各評価を合わせて 3 段階（A B C）で総合評価します。

	○次世代研究者発掘入試Ⅱ：一般枠の合格候補者のうち、活動歴報告書・研究計画書を 50 点満点で評価し、3 段階（ＡＢＣ）で評価します。														
イ．第 2 次選抜	○一般枠：面接を 100 点満点で評価し、令和 9（2027）年度大学入学共通テスト成績（100 点満点）と合わせて 3 段階（ＡＢＣ）で総合評価します。 なお、「面接」及び「大学入学共通テスト（各科目・教科）」の各得点のいずれかにおいて、本学科での修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：一般枠の合格候補者のうち、プレゼンテーション・口頭試問を 100 点満点で評価し、活動歴報告書・研究計画書（50 点満点）の評価と合わせて 3 段階（ＡＢＣ）で総合評価します。 なお、「面接」、「プレゼンテーション・口頭試問」及び「大学入学共通テスト（教科・科目）」の各得点のいずれかにおいて本学科での修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。 大学入学共通テストの配点 <table> <tr><td>国語</td><td>50 点</td></tr> <tr><td>地歴及び公民</td><td>25 点</td></tr> <tr><td>数学</td><td>100 点</td></tr> <tr><td>理科</td><td>100 点</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>100 点（英語）</td></tr> <tr><td>情報</td><td>50 点</td></tr> <tr><td>合計</td><td>425 点</td></tr> </table> ・外国語は英語のリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計点を 100 点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。 ・大学入学共通テストの成績は、合計点を 100 点満点に換算します。	国語	50 点	地歴及び公民	25 点	数学	100 点	理科	100 点	外国語	100 点（英語）	情報	50 点	合計	425 点
国語	50 点														
地歴及び公民	25 点														
数学	100 点														
理科	100 点														
外国語	100 点（英語）														
情報	50 点														
合計	425 点														
(4) 次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者	ア．出願の際は、希望する分野（冶金物理化学分野，構造用金属科学分野，機能材料科学分野）を選択してください。 ※指導可能な教員および研究内容について、次世代博士人材育成コース（https://nextphd.mirai.kyushu-u.ac.jp/）に掲載されています。出願に際して予め参照してください。 イ．第 1 次選抜において、次世代研究者発掘入試Ⅱ（次世代博士人材育成コース希望者）に不合格の場合でも、総合型選抜Ⅱの第 1 次選抜に合格している者については、総合型選抜Ⅱの第 2 次選抜を受験できます。														

（試験場で受験する場合の注意事項）

1. 遠方からの受験者は、風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程に十分ゆとりをもって行動してください。
2. 遅刻による試験室への入室限度時刻は、予め定められた試験開始時刻から 30 分以内です。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻したものは、試験監督者等にその旨申し出てください。

○材料工学科（女子枠）

1. アドミッション・ポリシー	自然科学と材料工学に関する学問を深く学ぶために必要な基礎的能力を身に付ける努力をいとわず、金属材料、機能材料、材料生産プロセスなどの分野に関心を持ち、それらに関連する仕事に携わりたいという希望や意欲を持ち、一定の教養と倫理観を身につけている者を求めます。
2. 出願資格	次の各項のいずれかに該当する者で、本学工学部材料工学科が指定する令和9（2027）年度大学入学共通テスト教科・科目（英語のリスニングを含む）を受験し、材料工学（特に、金属材料・エレクトロニクス材料・熱電材料および材料製造プロセス）の発展に貢献したいという強い意志と適性を持ち、本学工学部材料工学科を第1志望とする女子とします。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和3（2021）年4月以降に卒業した者及び令和9（2027）年3月までに卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和3（2021）年4月以降に修了した者及び令和9（2027）年3月までに修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、令和3（2021）年4月以降にこれに該当する者及び令和9（2027）年3月までにこれに該当する見込みの者 （注意）本選抜の趣旨から本学の実施する総合型選抜（次世代研究者発掘入試を含む）、学校推薦型選抜、国際入試（教育学部）との併願はできません。ただし、本学科の総合型選抜Ⅱ女子枠出願者は、次世代研究者発掘入試Ⅱへの出願が可能です。 なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。
3. 出願要件 （次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者のみ）	次世代研究者発掘入試Ⅱに出願の方は、2.出願資格に加えて、以下に掲げる条件をいずれも満たす者としてします。 ア) 高等学校又は中等教育学校等の高等学校に相当する機関において、以下①～⑤に記載している項目に当てはまる活動実績を修めている者 ①日本学生科学賞の中央予備審査への進出者 ②高校生・高専生科学技術チャレンジ（JSEC）一次審査会進出者 ③JST 実施事業「グローバルサイエンスキャンパス（GSC）」、「次世代科学技術チャレンジプログラム（STELLA プログラム）」（GSCの後継事業）の第1段階選抜修了者 ④「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト（QFC-SP）」プライマリーコースの修了者 ⑤上記以外の自由研究や課題研究で①～④と同等の優れた発表を公的に証明できる者 など ※出願期間最終日（令和8年10月30日）までに④以外の発表会等に出場しておらず、出願要件証明書を提出できない場合は、出願できません。 イ) 工学部材料工学科が掲げるアドミッション・ポリシーで求める学生像に一致し、工学部材料工学科における修学に加え「次世代博士人材育成コース」で学び、博士課程へ進学する強い志がある者
4. 募集人員	女子枠：5人 次世代研究者発掘入試Ⅱ：若干名 （注1）総合型選抜Ⅱ（一般枠）と総合型選抜Ⅱ（女子枠）の併願はできません。 （注2）入学手続者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。
5. 入学者選抜方法 （1）第1次選抜	入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。 ○女子枠：提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：提出された調査書又は調査書に代わる書類、活動歴報告書・研究計画書及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。 ア. 第1次選抜の合格者は、募集人員の2倍程度とします。 イ. 第1次選抜の結果は、令和8（2026）年12月21日（月）頃に郵便で発送します。

(2) 第 2 次選抜	○女子枠：第 1 次選抜の合格者に対し、面接（試問を含む）及び令和 9（2027）年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：第 1 次選抜の合格者に対し、面接（試問を含む）、プレゼンテーション・口頭試問、令和 9（2027）年度大学入学共通テストの成績及び活動歴報告書・研究計画書の総合評価により選抜を行います。 ア．大学入学共通テスト ①令和 9（2027）年度大学入学共通テストの詳細については、大学入学共通テスト受験案内を参照してください。 ②令和 9（2027）年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（6 教科 8 科目） ※84～87 ページを必ず確認してください。 国 語（国語） 地歴及び公民（「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」から 1） 数 学（数学Ⅰ、数学Ⅱ）と（数学Ⅲ、数学Ⅳ、数学Ⅴ） 理 科（物理、化学、生物、地学から 2 科目。ただし、物理、化学から 1 科目必ず選択） 外 国 語（英語） 情 報（情報Ⅰ） イ．面接（試問を含む） ①面接の内容 面接は、個人面接とし、1 人 15 分程度行います。 調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし、審査員 3 人程度で材料工学に関する質問を行い、自然科学への素養や適性並びに論理的思考能力、学習への熱意を評価します。また、多様な学習経験を踏まえた本分野への関心についても考慮して評価します。 ②実施日時及び場所 受験者は、総合型選抜受験票（総合Ⅱ）、令和 9（2027）年度大学入学共通テスト受験票を持参の上、令和 9（2027）年 1 月 30 日（土）9 時 10 分まで（午後には面接がある場合は 12 時 30 分まで）に集合してください。 ※集合場所等の詳細は、令和 8（2026）年 12 月 24 日（木）頃、本学 Web サイト上でお知らせします。 月 日：令和 9（2027）年 1 月 30 日（土） 時 間：面接 9：40～17：00 場 所：工学部（伊都キャンパス） ウ．プレゼンテーション及び口頭試問（*） ①内容 プレゼンテーション・口頭試問は、個人ごとに審査員 3 人程度で実施し、1 人 15 分程度行います。（プレゼンテーション 5 分程度、口頭試問 10 分程度） 高大連携事業等の各種研究プログラムにおける研究実績を基にしたプレゼンテーションを行います。出願時に提出した活動歴報告書・研究計画書を用いて行うため、第 2 次選抜にあたり、プレゼンテーション資料を新たに作成する必要はありません（提出された活動歴報告書・研究計画書のコピー 1 部を試験会場でお渡しします）。プレゼンテーション終了後、引き続き口頭試問を行います。 ②実施日時及び場所 面接終了後、プレゼンテーション及び口頭試問（*）を実施（17:00 までに終了） *は次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者のみが対象です。
(3) 合否判定の基準 ア．第 1 次選抜	○女子枠：調査書又は調査書に代わる書類を 50 点満点、志望理由書を 50 点満点で評価し、各評価を合わせて 3 段階（A B C）で総合評価します。

	○次世代研究者発掘入試Ⅱ：女子枠の合格候補者のうち、活動歴報告書・研究計画書を50点満点で評価し、3段階（ABC）で評価します。														
イ. 第2次選抜	○女子枠：面接を100点満点で評価し、令和9（2027）年度大学入学共通テスト成績（100点満点）と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。 なお、「面接」及び「大学入学共通テスト（各科目・教科）」の各得点のいずれかにおいて、本学科での修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：女子枠の合格候補者のうち、プレゼンテーション・口頭試問を100点満点で評価し、活動歴報告書・研究計画書（50点満点）の評価と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。 なお、「面接」、「プレゼンテーション・口頭試問」及び「大学入学共通テスト（教科・科目）」の各得点のいずれかにおいて本学科での修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。 大学入学共通テストの配点 <table border="0"> <tr><td>国語</td><td>50点</td></tr> <tr><td>地歴及び公民</td><td>25点</td></tr> <tr><td>数学</td><td>100点</td></tr> <tr><td>理科</td><td>100点</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>100点（英語）</td></tr> <tr><td>情報</td><td>50点</td></tr> <tr><td>合計</td><td>425点</td></tr> </table> ・外国語は英語のリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点を100点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。 ・大学入学共通テストの成績は、合計点を100点満点に換算します。	国語	50点	地歴及び公民	25点	数学	100点	理科	100点	外国語	100点（英語）	情報	50点	合計	425点
国語	50点														
地歴及び公民	25点														
数学	100点														
理科	100点														
外国語	100点（英語）														
情報	50点														
合計	425点														
(4)次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者	ア.出願の際は、希望する分野（冶金物理化学分野、構造用金属科学分野、機能材料科学分野）を選択してください。 ※指導可能な教員および研究内容について、次世代博士人材育成コース（https://nextphd.mirai.kyushu-u.ac.jp/）に掲載されています。出願に際して予め参照してください。 イ.第1次選抜において、次世代研究者発掘入試Ⅱ（次世代博士人材育成コース希望者）に不合格の場合でも、総合型選抜Ⅱの第1次選抜に合格している者については、総合型選抜Ⅱの第2次選抜を受験できます。														

（試験場で受験する場合の注意事項）

1. 遠方からの受験者は、風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程に十分ゆとりをもって行動してください。
2. 遅刻による試験室への入室限度時刻は、予め定められた試験開始時刻から30分以内です。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻したものは、試験監督者等にその旨申し出てください。

○応用化学学科

1. アドミッション・ポリシー	生活の基盤をなす材料の物性を原子・分子のレベルで理解し、社会生活の持続的発展を可能とする優れた物質・材料の創出とプロセスの革新のための正しい教養と倫理観を持って活用する意欲のある者を求めます。
2. 出願資格	次の各項のいずれかに該当する者で、本学工学部応用化学学科が指定する令和9（2027）年度大学入学共通テスト教科・科目（英語のリスニングを含む）を受験し、工学部応用化学学科の勉学に意欲のある者で本学工学部応用化学学科を第1志望とする者としてします。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和8（2026）年4月以降に卒業した者及び令和9（2027）年3月までに卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和8（2026）年4月以降に修了した者及び令和9（2027）年3月までに修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、令和8（2026）年4月以降にこれに該当するもの及び令和9（2027）年3月までにこれに該当する見込みのもの （注意）本選抜の趣旨から本学の実施する総合型選抜（次世代研究者発掘入試を含む）、学校推薦型選抜、国際入試（教育学部）との併願はできません。ただし、本学科の総合型選抜Ⅱ一般枠出願者は、次世代研究者発掘入試Ⅱへの出願が可能です。 なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。
3. 出願要件 （次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者のみ）	次世代研究者発掘入試Ⅱに出願の方は、2.出願資格に加えて、以下に掲げる条件をいずれも満たす者としてします。 ア) 高等学校又は中等教育学校等の高等学校に相当する機関において、以下①～⑤に記載している項目に当てはまる活動実績を修めている者 ①日本学生科学賞の中央予備審査への進出者 ②高校生・高専生科学技術チャレンジ（JSEC）一次審査会進出者 ③JST 実施事業「グローバルサイエンスキャンパス（GSC）」、「次世代科学技術チャレンジプログラム（STELLA プログラム）」（GSC の後継事業）の第1段階選抜修了者 ④「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト（QFC-SP）」プライマリーコースの修了者 ⑤上記以外の自由研究や課題研究で①～④と同等の優れた発表を公的に証明できる者 など ※出願期間最終日（令和8年10月30日）までに④以外の発表会等に出場しておらず、出願要件証明書を提出できない場合は、出願できません。 イ) 工学部応用化学学科が掲げるアドミッション・ポリシーで求める学生像に一致し、工学部応用化学学科における修学に加え「次世代博士人材育成コース」で学び、博士課程へ進学する強い志がある者
4. 募集人員	一般枠：4人 次世代研究者発掘入試Ⅱ：若干名 （注）入学手続き者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。
5. 入学者選抜方法	入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。 (1) 第1次選抜 ○一般枠：提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：提出された調査書又は調査書に代わる書類、活動歴報告書・研究計画書及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。 ア. 第1次選抜の合格者は、募集人員の3倍程度とします。 イ. 第1次選抜の結果は、令和8（2026）年12月21日（月）頃に郵便で発送します。

(2) 第 2 次選抜	○一般枠：第 1 次選抜の合格者に対し、面接（試問を含む）及び令和 9（2027）年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：第 1 次選抜の合格者に対し、面接（試問を含む）、プレゼンテーション・口頭試問、令和 9（2027）年度大学入学共通テストの成績及び活動歴報告書・研究計画書の総合評価により選抜を行います。 ア．大学入学共通テスト ①令和 9（2027）年度大学入学共通テストの詳細については、大学入学共通テスト受験案内を参照してください。 ②令和 9（2027）年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（6 教科 8 科目） ※84～87 ページを必ず確認してください。 国 語（国語） 地理及び公民（「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」から 1） 地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第 1 解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。 数 学（数学Ⅰ、数学 A）と（数学Ⅱ、数学 B、数学 C） 理 科（物理、化学） 外 国 語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から 1） 情 報（情報Ⅰ） イ．面接（試問を含む） ①面接の内容 面接は、個人面接とし、1 人 20 分程度行います。 調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし、審査員 4 人程度で化学に関する質問を行い、自然科学の素養や適性、化学を学ぶ熱意及び論理的思考能力を評価します。 ②実施日時及び場所 受験者は、総合型選抜受験票（総合Ⅱ）、令和 9（2027）年度大学入学共通テスト受験票、筆記用具及び弁当等を持参の上、令和 9（2027）年 1 月 30 日（土）9 時 30 分までに集合してください。 ※集合場所等の詳細は、令和 8(2026)年 12 月 24 日（木）頃、本学 Web サイト上でお知らせします。 月日：令和 9（2027）年 1 月 30 日（土） 時間：面接 10：00～15：00 場所：工学部（伊都キャンパス） ウ．プレゼンテーション及び口頭試問（*） ①内容 プレゼンテーション・口頭試問は、個人ごとに審査員 4 人程度で実施し、1 人 20 分程度行います。（プレゼンテーション 5 分程度、口頭試問 15 分程度） 高大連携事業等の各種研究プログラムにおける研究実績を基にしたプレゼンテーションを行います。出願時に提出した活動歴報告書・研究計画書を用いて行うため、第 2 次選抜にあたり、プレゼンテーション資料を新たに作成する必要はありません（提出された活動歴報告書・研究計画書のコピー 1 部を試験会場でお渡しします）。プレゼンテーション終了後、引き続き口頭試問を行います。 ②実施日時及び場所 面接終了後、プレゼンテーション及び口頭試問（*）を実施（17:00 までに終了） *は次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者のみが対象です。
(3) 合否判定の基準 ア．第 1 次選抜	○一般枠：調査書又は調査書に代わる書類を 50 点満点、志望理由書を 50 点満点で評価し、各評価を合わせて 3 段階（ABC）で総合評価します。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：一般枠の合格候補者のうち、活動歴報告書・研究計画書を 50 点満点で評価し、3 段階（ABC）で評価します。

イ. 第2次選抜	○一般枠：面接を100点満点で評価し、令和9（2027）年度大学入学共通テスト成績（100点満点）と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。 なお、「面接」及び「大学入学共通テスト（各科目・教科）」の各得点のいずれかにおいて、本学科での修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：一般枠の合格候補者のうち、プレゼンテーション・口頭試問を100点満点で評価し、活動歴報告書・研究計画書（50点満点）の評価と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。 なお、「面接」、「プレゼンテーション・口頭試問」及び「大学入学共通テスト（教科・科目）」の各得点のいずれかにおいて本学科での修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。 大学入学共通テストの配点 <table border="0"> <tr><td>国語</td><td>50点</td></tr> <tr><td>地歴及び公民</td><td>50点</td></tr> <tr><td>数学</td><td>100点</td></tr> <tr><td>理科</td><td>100点</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>100点</td></tr> <tr><td>情報</td><td>50点</td></tr> <tr><td>合計</td><td>450点</td></tr> </table> ・外国語は英語のリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点を100点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。 ・大学入学共通テストの成績は、合計点を100点満点に換算します。	国語	50点	地歴及び公民	50点	数学	100点	理科	100点	外国語	100点	情報	50点	合計	450点
国語	50点														
地歴及び公民	50点														
数学	100点														
理科	100点														
外国語	100点														
情報	50点														
合計	450点														
(4) 次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者	ア. 出願の際は、希望する分野（機能物質化学分野、分子生命工学分野）を選択してください。 ※指導可能な教員および研究内容について、次世代博士人材育成コース（https://nextphd.mirai.kyushu-u.ac.jp/）に掲載されています。出願に際して予め参照してください。 イ. 第1次選抜において、次世代研究者発掘入試Ⅱ（次世代博士人材育成コース希望者）に不合格の場合でも、総合型選抜Ⅱの第1次選抜に合格している者については、総合型選抜Ⅱの第2次選抜を受験できます。														

（試験場で受験する場合の注意事項）

1. 遠方からの受験者は、風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程に十分ゆとりをもって行動してください。
2. 遅刻による試験室への入室限度時刻は、予め定められた試験開始時刻から30分以内です。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻したものは、試験監督者等にその旨申し出てください。

○化学工学科

1. アドミッション・ポリシー	環境・エネルギー、材料、バイオテクノロジー・先進医療などに関連する工学に興味をもち、学習する強い意欲と正しい倫理観をもって、将来的に地球環境との調和や人類の福祉に貢献したいと考える者を求めます。
2. 出願資格	次の各項のいずれかに該当する者で、本学工学部化学工学科が指定する令和9（2027）年度大学入学共通テスト教科・科目（英語のリスニングを含む）を受験し、工学部化学工学科の勉学に意欲のある者で本学工学部化学工学科を第1志望とする者としてします。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和8（2026）年4月以降に卒業した者及び令和9（2027）年3月までに卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和8（2026）年4月以降に修了した者及び令和9（2027）年3月までに修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、令和8（2026）年4月以降にこれに該当するもの及び令和9（2027）年3月までにこれに該当する見込みのもの （注意）本選抜の趣旨から本学の実施する総合型選抜（次世代研究者発掘入試を含む）、学校推薦型選抜、国際入試（教育学部）との併願はできません。ただし、本学科の総合型選抜Ⅱ一般枠出願者は、次世代研究者発掘入試Ⅱへの出願が可能です。 なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。
3. 出願要件 （次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者のみ）	次世代研究者発掘入試Ⅱに出願の方は、2.出願資格に加えて、以下に掲げる条件をいずれも満たす者としてします。 ア) 高等学校又は中等教育学校等の高等学校に相当する機関において、以下①～⑤に記載している項目に当てはまる活動実績を修めている者 ①日本学生科学賞の中央予備審査への進出者 ②高校生・高専生科学技術チャレンジ（JSEC）一次審査会進出者 ③JST 実施事業「グローバルサイエンスキャンパス（GSC）」、「次世代科学技術チャレンジプログラム（STELLA プログラム）」（GSCの後継事業）の第1段階選抜修了者 ④「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト（QFC-SP）」プライマリーコースの修了者 ⑤上記以外の自由研究や課題研究で①～④と同等の優れた発表を公的に証明できる者 など ※出願期間最終日（令和8年10月30日）までに④以外の発表会等に出場しておらず、出願要件証明書を提出できない場合は、出願できません。 イ) 工学部化学工学科が掲げるアドミッション・ポリシーで求める学生像に一致し、工学部化学工学科における修学に加え「次世代博士人材育成コース」で学び、博士課程へ進学する強い志がある者
4. 募集人員	一般枠：2人 次世代研究者発掘入試Ⅱ：若干名 （注）入学手続者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。
5. 入学者選抜方法 (1) 第1次選抜	入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。 ○一般枠：提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：提出された調査書又は調査書に代わる書類、活動歴報告書・研究計画書及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。 ア. 第1次選抜の合格者は、募集人員の3倍程度とします。 イ. 第1次選抜の結果は、令和8（2026）年12月21日（月）頃に郵便で発送します。
(2) 第2次選抜	○一般枠：第1次選抜の合格者に対し、面接（試問を含む）及び令和9（2027）年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：第1次選抜の合格者に対し、面接（試問を含む）、プレゼンテーション・口頭試問、令和9（2027）年度大学入学共通テストの成績及び活動歴報告書・研究計画書の総合評価により選抜を行います。

	ア. 大学入学共通テスト ①令和 9 (2027) 年度大学入学共通テストの詳細については、大学入学共通テスト受験案内を参照してください。 ②令和 9 (2027) 年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目 (6 教科 8 科目) ※84～87 ページを必ず確認してください。 国 語 (国語) 地歴及び公民 (「地理総合、地理探究」, 「歴史総合、日本史探究」, 「歴史総合、世界史探究」, 「公共、倫理」, 「公共、政治・経済」から 1) 地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第 1 解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。 数 学 (数学 I, 数学 A) と (数学 II, 数学 B, 数学 C) 理 科 (物理, 化学) 外 国 語 (英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から 1) 情 報 (情報 I) イ. 面接 (試問を含む) ①面接の内容 面接は、個人面接とし、1 人 30 分程度行います。 調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし、審査員 3 人程度で自然科学への素養や適性、化学工学科で学ぶ熱意及び適性・能力を評価します。 ②実施日時及び場所 受験者は、総合型選抜受験票 (総合 II), 令和 9 (2027) 年度大学入学共通テスト受験票及び筆記用具を持参の上、令和 9 (2027) 年 1 月 30 日 (土) 12 時 30 分までに集合してください。 ※集合場所等の詳細は、令和 8 (2026) 年 12 月 24 日 (木) 頃、本学 Web サイト上でお知らせします。 月 日 : 令和 9 (2027) 年 1 月 30 日 (土) 時 間 : 面接 10 : 00 ~ 17 : 00 場 所 : 工学部 (伊都キャンパス) ウ. プレゼンテーション及び口頭試問 (*) ①内容 プレゼンテーション・口頭試問は、個人ごとに審査員 4 人程度で実施し、1 人 15 分程度行います。(プレゼンテーション 10 分程度、口頭試問 5 分程度) 高大連携事業等の各種研究プログラムにおける研究実績を基にしたプレゼンテーションを行います。出願時に提出した活動歴報告書・研究計画書を用いて行うため、第 2 次選抜にあたり、プレゼンテーション資料を新たに作成する必要はありません (提出された活動歴報告書・研究計画書のコピー 1 部を試験会場でお渡しします)。プレゼンテーション終了後、引き続き口頭試問を行います。 ②実施日時及び場所 面接終了後、プレゼンテーション及び口頭試問 (*) を実施 (17:00 までに終了) *は次世代研究者発掘入試 II 出願者のみが対象です。
(3) 合否判定の基準 ア. 第 1 次選抜	○一般枠 : 調査書又は調査書に代わる書類を 50 点満点、志望理由書を 50 点満点で評価し、各評価を合わせて 3 段階 (A B C) で総合評価します。 ○次世代研究者発掘入試 II : 一般枠の合格候補者のうち、活動歴報告書・研究計画書を 50 点満点で評価し、3 段階 (A B C) で評価します。
イ. 第 2 次選抜	○一般枠 : 面接を 100 点満点で評価し、令和 9 (2027) 年度大学入学共通テスト成績 (100 点満点) と合わせて 3 段階 (A B C) で総合評価します。 なお、「面接」及び「大学入学共通テスト (各科目・教科)」の各得点のいずれかにおいて、本学科での修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。 ○次世代研究者発掘入試 II : 一般枠の合格候補者のうち、プレゼンテーション・口頭試問を 100

	点満点で評価し、活動歴報告書・研究計画書（50 点満点）の評価と合わせて 3 段階（ABC）で総合評価します。 なお、「面接」、「プレゼンテーション・口頭試問」及び「大学入学共通テスト（教科・科目）」の各得点のいずれかにおいて本学科での修学に支障があると判断される場合、不合格となる場合があります。 大学入学共通テストの配点 <table> <tr><td>国語</td><td>100 点</td></tr> <tr><td>地歴及び公民</td><td>50 点</td></tr> <tr><td>数学</td><td>100 点</td></tr> <tr><td>理科</td><td>100 点</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>100 点</td></tr> <tr><td>情報</td><td>70 点</td></tr> <tr><td>合計</td><td>520 点</td></tr> </table> ・外国語は英語のリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計点を 100 点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。 ・大学入学共通テストの成績は、合計点を 100 点満点に換算します。	国語	100 点	地歴及び公民	50 点	数学	100 点	理科	100 点	外国語	100 点	情報	70 点	合計	520 点
国語	100 点														
地歴及び公民	50 点														
数学	100 点														
理科	100 点														
外国語	100 点														
情報	70 点														
合計	520 点														
（4）次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者	ア. 出願の際は、希望する分野（バイオテクノロジー分野、環境・エネルギー分野、マテリアルデザイン分野）を選択してください。 ※指導可能な教員および研究内容について、次世代博士人材育成コース（https://nextphd.mirai.kyushu-u.ac.jp/）に掲載されています。出願に際して予め参照してください。 イ. 第 1 次選抜において、次世代研究者発掘入試Ⅱ（次世代博士人材育成コース希望者）に不合格の場合でも、総合型選抜Ⅱの第 1 次選抜に合格している者については、総合型選抜Ⅱの第 2 次選抜を受験できます。														

（試験場で受験する場合の注意事項）

1. 遠方からの受験者は、風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程に十分ゆとりをもって行動してください。
2. 遅刻による試験室への入室限度時刻は、予め定められた試験開始時刻から 30 分以内です。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻したものは、試験監督者等にその旨申し出てください。

○融合基礎工学科（物質材料コース）（一般枠）

1. アドミッション・ポリシー	基礎学力及び自分の考えを論理的に説明できる能力を備え、本学科・本コースに関連する学問を積極的に学ぶ意欲と自主性を有する者を求めます。特に、持続可能な社会の実現に資する物質・材料開発に興味をもち、高い倫理観とグローバルな視点を併せ持つ者を求めます。
2. 出願資格	次の各項のいずれかに該当する者で、本工学部融合基礎工学科（物質材料コース）が指定する令和9（2027）年度大学入学共通テスト教科・科目（英語のリスニングを含む）を受験し、環境・エネルギー問題などの多様で複雑なグローバルな課題解決に強い意志と興味を持ち、本工学部融合基礎工学科（物質材料コース）を第1志望とする者としてします。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和3（2021）年4月以降に卒業した者及び令和9（2027）年3月までに卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和3（2021）年4月以降に修了した者及び令和9（2027）年3月までに修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、令和3（2021）年4月以降にこれに該当するもの及び令和9（2027）年3月までにこれに該当する見込みのもの （注意）本選抜の趣旨から本学の実施する総合型選抜（次世代研究者発掘入試を含む）、学校推薦型選抜、国際入試（教育学部）との併願はできません。ただし、本学科の総合型選抜Ⅱ一般枠出願者は、次世代研究者発掘入試Ⅱへの出願が可能です。 なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。
3. 出願要件 （次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者のみ）	次世代研究者発掘入試Ⅱに出願の方は、2.出願資格に加えて、以下に掲げる条件をいずれも満たす者としてします。 ア) 高等学校又は中等教育学校等の高等学校に相当する機関において、以下①～⑤に記載している項目に当てはまる活動実績を修めている者 ①日本学生科学賞の中央予備審査への進出者 ②高校生・高専生科学技術チャレンジ（JSEC）一次審査会進出者 ③JST 実施事業「グローバルサイエンスキャンパス（GSC）」、「次世代科学技術チャレンジプログラム（STELLA プログラム）」（GSC の後継事業）の第1段階選抜修了者 ④「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト（QFC-SP）」プライマリーコースの修了者 ⑤上記以外の自由研究や課題研究で①～④と同等の優れた発表を公的に証明できる者 など ※出願期間最終日（令和8年10月30日）までに④以外の発表会等に出場しておらず、出願要件証明書を提出できない場合は、出願できません。 イ) 工学部融合基礎工学科物質材料コースが掲げるアドミッション・ポリシーで求める学生像に一致し、工学部融合基礎工学科物質材料コースにおける修学に加え「次世代博士人材育成コース」で学び、博士課程へ進学する強い志がある者
4. 募集人員	一般枠：8人 次世代研究者発掘入試Ⅱ：若干名 （注1）総合型選抜Ⅱ（一般枠）と総合型選抜Ⅱ（女子枠）の併願はできません。 （注2）入学手続きが募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。
5. 入学者選抜方法 （1）第1次選抜	入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。 ○一般枠：提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：提出された調査書又は調査書に代わる書類、活動歴報告書・研究計画書及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。 ア. 第1次選抜の合格者は、募集人員の3倍程度とします。 イ. 第1次選抜の結果は、令和8（2026）年12月21日（月）頃に郵便で発送します。

(2) 第 2 次選抜	○一般枠：第 1 次選抜の合格者に対し、課題探求試験、面接（試問を含む）及び令和 9（2027）年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：第 1 次選抜の合格者に対し、課題探求試験、面接（試問を含む）、プレゼンテーション・口頭試問、令和 9（2027）年度大学入学共通テストの成績及び活動歴報告書・研究計画書の総合評価により選抜を行います。 ア．大学入学共通テスト ①令和 9（2027）年度大学入学共通テストの詳細については、大学入学共通テスト受験案内を参照してください。 ②令和 9（2027）年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（6 教科 8 科目） ※84～87 ページを必ず確認してください。 国 語（国語） 地歴及び公民（「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」から 1） 地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第 1 解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。 数 学（数学Ⅰ、数学 A）と（数学Ⅱ、数学 B、数学 C） 理 科（物理、化学） 外 国 語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から 1） 情 報（情報Ⅰ） イ．課題探求試験、面接（試問を含む） ①課題探求試験の内容 数学、物理、化学等に関する課題を提示し、論理的思考能力、整理分析能力、総合的判断能力などを確認します。 ②面接の内容 面接は、個人面接とし、1 人 15 分程度行います。 調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし、審査員 3 人程度で志望動機、入学後の抱負、将来の目標に関する質問を行い、融合基礎工学科で学ぶ熱意及び適性・能力を評価します。また、試問により工学全般を学ぶための基礎学力の有無を確認します。 ③実施日時及び場所 本試験はオンライン方式により、以下の日時に実施します。 詳細は、令和 8(2026)年 12 月 24 日（木）頃、本学 Web サイト上でお知らせするとともに同日頃までに受験者に通知します。 月 日：令和 9（2027）年 1 月 30 日（土） 時間：課題探求試験及び面接 9：00～18:00 ウ．プレゼンテーション及び口頭試問（*） ①内容 プレゼンテーション・口頭試問は、個人ごとに審査員 3 人程度で実施し、1 人 15 分程度行います。（プレゼンテーション 5 分程度、口頭試問 10 分程度） 高大連携事業等の各種研究プログラムにおける研究実績を基にしたプレゼンテーションを行います。出願時に提出した活動歴報告書・研究計画書を用いて行うため、第 2 次選抜にあたり、プレゼンテーション資料を新たに作成する必要はありません（提出された活動歴報告書・研究計画書のコピー 1 部を試験会場でお渡しします）。プレゼンテーション終了後、引き続き口頭試問を行います。 ②実施日時及び場所 課題探求試験及び面接終了後、プレゼンテーション及び口頭試問（*）を実施（18:00 までに終了） *は次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者のみが対象です。
(3) 合否判定の基準 ア．第 1 次選抜	○一般枠：調査書又は調査書に代わる書類を 50 点満点、志望理由書を 50 点満点で評価し、各評価を合わせて 3 段階（A B C）で総合評価します。

	○次世代研究者発掘入試Ⅱ：一般枠の合格候補者のうち、活動歴報告書・研究計画書を50点満点で評価し、3段階（ABC）で評価します。														
イ. 第2次選抜	○一般枠：課題探求試験を70点満点、面接を30点満点で評価し、令和9（2027）年度大学入学共通テスト成績（100点満点）と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。 なお、「課題探求試験」、「面接」及び「大学入学共通テスト（各科目・教科）」の各得点のいずれかにおいて、本コースでの修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：一般枠合格候補者のうち、プレゼンテーション・口頭試問を100点満点で評価し、活動歴報告書・研究計画書（50点満点）の評価と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。 なお、「課題探求試験」、「面接」、「プレゼンテーション・口頭試問」及び「大学入学共通テスト（教科・科目）」の各得点のいずれかにおいて本学科での修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。 大学入学共通テストの配点 <table border="0"> <tr><td>国語</td><td>100点</td></tr> <tr><td>地歴及び公民</td><td>50点</td></tr> <tr><td>数学</td><td>200点</td></tr> <tr><td>理科</td><td>200点</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>100点</td></tr> <tr><td>情報</td><td>70点</td></tr> <tr><td>合計</td><td>720点</td></tr> </table> ・外国語は英語のリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点を100点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。 ・大学入学共通テストの成績は、合計点を100点満点に換算します。	国語	100点	地歴及び公民	50点	数学	200点	理科	200点	外国語	100点	情報	70点	合計	720点
国語	100点														
地歴及び公民	50点														
数学	200点														
理科	200点														
外国語	100点														
情報	70点														
合計	720点														
(4) 次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者	ア. 出願の際は、希望するコース（物質材料コース）を選択してください。 ※指導可能な教員および研究内容について、次世代博士人材育成コース（https://nextphd.mirai.kyushu-u.ac.jp/）に掲載されています。出願に際して予め参照してください。 イ. 第1次選抜において、次世代研究者発掘入試Ⅱ（次世代博士人材育成コース希望者）に不合格の場合でも、総合型選抜Ⅱの第1次選抜に合格している者については、総合型選抜Ⅱの第2次選抜を受験できます。														

○融合基礎工学科（物質材料コース）（女子枠）

1. アドミッション・ポリシー	基礎学力及び自分の考えを論理的に説明できる能力を備え、本学科・本コースに関連する学問を積極的に学ぶ意欲と自主性を有する者を求めます。特に、持続可能な社会の実現に資する物質・材料開発に興味をもち、高い倫理観とグローバルな視点を併せ持つ者を求めます。
2. 出願資格	次の各項のいずれかに該当する者で、本工学部融合基礎工学科（物質材料コース）が指定する令和9（2027）年度大学入学共通テスト教科・科目（英語のリスニングを含む）を受験し、環境・エネルギー問題などの多様で複雑なグローバルな課題解決に強い意志と興味を持ち、本工学部融合基礎工学科（物質材料コース）を第1志望とする女子とします。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和3（2021）年4月以降に卒業した者及び令和9（2027）年3月までに卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和3（2021）年4月以降に修了した者及び令和9（2027）年3月までに修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、令和3（2021）年4月以降にこれに該当するもの及び令和9（2027）年3月までにこれに該当する見込みのもの （注意）本選抜の趣旨から本学の実施する総合型選抜（次世代研究者発掘入試を含む）、学校推薦型選抜、国際入試（教育学部）との併願はできません。ただし、本学科の総合型選抜Ⅱ女子枠出願者は、次世代研究者発掘入試Ⅱへの出願が可能です。 なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。
3. 出願要件 （次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者のみ）	次世代研究者発掘入試Ⅱに出願の方は、2.出願資格に加えて、以下に掲げる条件をいずれも満たす者とします。 ア) 高等学校又は中等教育学校等の高等学校に相当する機関において、以下①～⑤に記載している項目に当てはまる活動実績を修めている者 ①日本学生科学賞の中央予備審査への進出者 ②高校生・高専生科学技術チャレンジ（JSEC）一次審査会進出者 ③JST 実施事業「グローバルサイエンスキャンパス（GSC）」、「次世代科学技術チャレンジプログラム（STELLA プログラム）」（GSC の後継事業）の第1段階選抜修了者 ④「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト（QFC-SP）」プライマリーコースの修了者 ⑤上記以外の自由研究や課題研究で①～④と同等の優れた発表を公的に証明できる者 など ※出願期間最終日（令和8年10月30日）までに④以外の発表会等に出場しておらず、出願要件証明書を提出できない場合は、出願できません。 イ) 工学部融合基礎工学科物質材料コースが掲げるアドミッション・ポリシーで求める学生像に一致し、工学部融合基礎工学科物質材料コースにおける修学に加え「次世代博士人材育成コース」で学び、博士課程へ進学する強い志がある者
4. 募集人員	女子枠：2人 次世代研究者発掘入試枠：若干名 （注1）総合型選抜Ⅱ（一般枠）と総合型選抜Ⅱ（女子枠）の併願はできません。 （注2）入学手続きが募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。
5. 入学者選抜方法 （1）第1次選抜	入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。 ○女子枠：提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：提出された調査書又は調査書に代わる書類、活動歴報告書・研究計画書及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。 ア. 第1次選抜の合格者は、募集人員の3倍程度とします。 イ. 第1次選抜の結果は、令和8（2026）年12月21日（月）頃に郵便で発送します。

(2) 第 2 次選抜	○女子枠：第 1 次選抜の合格者に対し、課題探求試験、面接（試問を含む）及び令和 9（2027）年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：第 1 次選抜の合格者に対し、課題探求試験、面接（試問を含む）、プレゼンテーション・口頭試問、令和 9（2027）年度大学入学共通テストの成績及び活動歴報告書・研究計画書の総合評価により選抜を行います。 ア．大学入学共通テスト ①令和 9（2027）年度大学入学共通テストの詳細については、大学入学共通テスト受験案内を参照してください。 ②令和 9（2027）年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（6 教科 8 科目） ※84～87 ページを必ず確認してください。 国 語（国語） 地理及び公民（「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」から 1） 地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第 1 解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。 数 学（数学Ⅰ、数学 A）と（数学Ⅱ、数学 B、数学 C） 理 科（物理、化学） 外 国 語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から 1） 情 報（情報Ⅰ） イ．課題探求試験、面接（試問を含む） ①課題探求試験の内容 数学、物理、化学等に関する課題を提示し、論理的思考能力、整理分析能力、総合的判断能力などを確認します。 ②面接の内容 面接は、個人面接とし、1 人 15 分程度行います。 調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし、審査員 3 人程度で志望動機、入学後の抱負、将来の目標に関する質問を行い、融合基礎工学科で学ぶ熱意及び適性・能力を評価します。また、試問により工学全般を学ぶための基礎学力の有無を確認します。 ③実施日時及び場所 本試験はオンライン方式により、以下の日時に実施します。 詳細は、令和 8(2026)年 12 月 24 日（木）頃、本学 Web サイト上でお知らせするとともに同日頃までに受験者に通知します。 月 日：令和 9（2027）年 1 月 30 日（土） 時間：課題探求試験及び面接 9：00～18:00 ウ．プレゼンテーション及び口頭試問（*） ①内容 プレゼンテーション・口頭試問は、個人ごとに審査員 3 人程度で実施し、1 人 15 分程度行います。（プレゼンテーション 5 分程度、口頭試問 10 分程度） 高大連携事業等の各種研究プログラムにおける研究実績を基にしたプレゼンテーションを行います。出願時に提出した活動歴報告書・研究計画書を用いて行うため、第 2 次選抜にあたり、プレゼンテーション資料を新たに作成する必要はありません（提出された活動歴報告書・研究計画書のコピー 1 部を試験会場でお渡しします）。プレゼンテーション終了後、引き続き口頭試問を行います。 ②実施日時及び場所 課題探求試験及び面接終了後、プレゼンテーション及び口頭試問（*）を実施（18:00 までに終了） *は次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者のみが対象です。
(3) 合否判定の基準 ア．第 1 次選抜	○女子枠：調査書又は調査書に代わる書類を 50 点満点、志望理由書を 50 点満点で評価し、各評価を合わせて 3 段階（ABC）で総合評価します。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：女子枠の合格候補者のうち、活動歴報告書・研究計画書を 50 点満点で評価し、3 段階（ABC）で評価します。

イ. 第2次選抜	○女子枠：課題探求試験を70点満点、面接を30点満点で評価し、令和9（2027）年度大学入学共通テスト成績（200点満点）と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。 なお、「課題探求試験」、「面接」及び「大学入学共通テスト（各科目・教科）」の各得点のいずれかにおいて、本コースでの修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：女子枠の合格候補者のうち、プレゼンテーション・口頭試問を100点満点で評価し、活動歴報告書・研究計画書（50点満点）の評価と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。 なお、「課題探求試験」、「面接」、「プレゼンテーション・口頭試問」及び「大学入学共通テスト（教科・科目）」の各得点のいずれかにおいて本学科での修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。 大学入学共通テストの配点 <table border="0"> <tr><td>国語</td><td>100点</td></tr> <tr><td>地歴及び公民</td><td>50点</td></tr> <tr><td>数学</td><td>200点</td></tr> <tr><td>理科</td><td>200点</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>100点</td></tr> <tr><td>情報</td><td>70点</td></tr> <tr><td>合計</td><td>720点</td></tr> </table> ・外国語は英語のリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点を100点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。 ・大学入学共通テストの成績は、合計点を200点満点に換算します。	国語	100点	地歴及び公民	50点	数学	200点	理科	200点	外国語	100点	情報	70点	合計	720点
国語	100点														
地歴及び公民	50点														
数学	200点														
理科	200点														
外国語	100点														
情報	70点														
合計	720点														
(4) 次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者	ア. 出願の際は、希望するコース（物質材料コース）を選択してください。 ※指導可能な教員および研究内容について、次世代博士人材育成コース（https://nextphd.mirai.kyushu-u.ac.jp/）に掲載されています。出願に際して予め参照してください。 イ. 第1次選抜において、次世代研究者発掘入試Ⅱ（次世代博士人材育成コース希望者）に不合格の場合でも、総合型選抜Ⅱの第1次選抜に合格している者については、総合型選抜Ⅱの第2次選抜を受験できます。														

○融合基礎工学科（機械電気コース）（一般枠）

1. アドミッション・ポリシー	基礎学力及び自分の考えを論理的に説明できる能力を備え、本学科・本コースに関連する学問を積極的に学ぶ意欲と自主性を有する者を求めます。特に、数学、物理などの自然科学や機械工学・電気電子工学分野に対する強い知的探究心を持ち自ら学ぶ意欲のある者、専門知識の融合による多角的視点から、エネルギーや環境等の社会問題の解決に意欲のある者を求めます。
2. 出願資格	次の各項のいずれかに該当する者で、本工学部融合基礎工学科（機械電気コース）が指定する令和9（2027）年度大学入学共通テスト教科・科目（英語のリスニングを含む）を受験し、環境・エネルギー問題などの多様で複雑なグローバルな課題解決に強い意志と興味を持ち、本工学部融合基礎工学科（機械電気コース）を第1志望とする者としてします。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和3（2021）年4月以降に卒業した者及び令和9（2027）年3月までに卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和3（2021）年4月以降に修了した者及び令和9（2027）年3月までに修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、令和3（2021）年4月以降にこれに該当するもの及び令和9（2027）年3月までにこれに該当する見込みのもの （注意）本選抜の趣旨から本学の実施する総合型選抜（次世代研究者発掘入試を含む）、学校推薦型選抜、国際入試（教育学部）との併願はできません。ただし、本学科の総合型選抜Ⅱ一般枠出願者は、次世代研究者発掘入試Ⅱへの出願が可能です。 なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。
3. 出願要件 （次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者のみ）	次世代研究者発掘入試Ⅱに出願の方は、2.出願資格に加えて、以下に掲げる条件をいずれも満たす者としてします。 ア) 高等学校又は中等教育学校等の高等学校に相当する機関において、以下①～⑤に記載している項目に当てはまる活動実績を修めている者 ①日本学生科学賞の中央予備審査への進出者 ②高校生・高専生科学技術チャレンジ（JSEC）一次審査会進出者 ③JST 実施事業「グローバルサイエンスキャンパス（GSC）」、「次世代科学技術チャレンジプログラム（STELLA プログラム）」（GSCの後継事業）の第1段階選抜修了者 ④「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト（QFC-SP）」プライマリーコースの修了者 ⑤上記以外の自由研究や課題研究で①～④と同等の優れた発表を公的に証明できる者 など ※出願期間最終日（令和8年10月30日）までに④以外の発表会等に出場しておらず、出願要件証明書を提出できない場合は、出願できません。 イ) 工学部融合基礎工学科機械電気コースが掲げるアドミッション・ポリシーで求める学生像に一致し、工学部融合基礎工学科機械電気コースにおける修学に加え「次世代博士人材育成コース」で学び、博士課程へ進学する強い志がある者
4. 募集人員	一般枠：8人 次世代研究者発掘入試Ⅱ：若干名 （注1）総合型選抜Ⅱ（一般枠）と総合型選抜Ⅱ（女子枠）の併願はできません。 （注2）入学手続者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。
5. 入学者選抜方法 （1）第1次選抜	入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。 ○一般枠：提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：提出された調査書又は調査書に代わる書類、活動歴報告書・研究計画書及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。 ア. 第1次選抜の合格者は、募集人員の3倍程度とします。 イ. 第1次選抜の結果は、令和8（2026）年12月21日（月）頃に郵便で発送します。

(2) 第 2 次選抜	○一般枠：第 1 次選抜の合格者に対し、面接（試問を含む）及び令和 9（2027）年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：第 1 次選抜の合格者に対し、面接（試問を含む）、プレゼンテーション・口頭試問、令和 9（2027）年度大学入学共通テストの成績及び活動歴報告書・研究計画書の総合評価により選抜を行います。 ア．大学入学共通テスト ①令和 9（2027）年度大学入学共通テストの詳細については、大学入学共通テスト受験案内を参照してください。 ②令和 9（2027）年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（6 教科 8 科目） ※84～87 ページを必ず確認してください。 国 語（国語） 地歴及び公民（「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」「公共、政治・経済」から 1） 地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第 1 解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。 数 学（数学Ⅰ、数学 A）と（数学Ⅱ、数学 B、数学 C） 理 科（物理、化学） 外 国 語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から 1） 情 報（情報Ⅰ） イ．面接（試問を含む） ①面接の内容 面接は、個人面接とし、1 人につき 15 分程度行います。 調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし、5 人程度の審査員により志望動機、入学後の抱負、将来の目標に関する質問を行い、融合基礎工学科（機械電気コース）で学ぶ熱意及び適性・能力を評価します。 また、試問により工学全般を学ぶための基礎学力を確認します。 ②実施日時及び場所 本試験はオンライン方式により、以下の日時に実施します。 詳細は、令和 8（2026）年 12 月 24 日（木）頃、本学 Web サイト上でお知らせするとともに同日頃までに受験者に通知します。 月 日：令和 9（2027）年 1 月 30 日（土） 時 間：9：00～18：00 ウ．プレゼンテーション及び口頭試問（*） ①内容 プレゼンテーション・口頭試問は、個人ごとに審査員 5 人程度で実施し、1 人 15 分程度行います。（プレゼンテーション 5 分程度、口頭試問 10 分程度） 高大連携事業等の各種研究プログラムにおける研究実績を基にしたプレゼンテーションを行います。出願時に提出した活動歴報告書・研究計画書を用いて行うため、第 2 次選抜にあたり、プレゼンテーション資料を新たに作成する必要はありません（提出された活動歴報告書・研究計画書のコピー 1 部を試験会場でお渡しします）。プレゼンテーション終了後、引き続き口頭試問を行います。 ②実施日時及び場所 面接終了後、プレゼンテーション及び口頭試問（*）を実施（18：00 までに終了） *は次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者のみが対象です。
(3) 合否判定の基準 ア．第 1 次選抜	○一般枠：調査書又は調査書に代わる書類を 50 点満点、志望理由書を 50 点満点で評価し、各評価を合わせて 3 段階（A B C）で総合的に評価します。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：一般枠の合格候補者のうち、活動歴報告書・研究計画書を 50 点満点で評価し、3 段階（A B C）で評価します。

イ. 第2次選抜	○一般枠：面接を100点満点で評価し、令和9（2027）年度大学入学共通テスト成績（100点満点）と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。 なお、「面接」及び「大学入学共通テスト（各科目・教科）」の各得点のいずれかにおいて、本学科での修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：一般枠の合格候補者のうち、プレゼンテーション・口頭試問を100点満点で評価し、活動歴報告書・研究計画書（50点満点）の評価と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。 なお、「面接」、「プレゼンテーション・口頭試問」及び「大学入学共通テスト（教科・科目）」の各得点のいずれかにおいて本学科での修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。 大学入学共通テストの配点 <table border="0"> <tr><td>国語</td><td>100点</td></tr> <tr><td>地歴及び公民</td><td>50点</td></tr> <tr><td>数学</td><td>200点</td></tr> <tr><td>理科</td><td>200点</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>100点</td></tr> <tr><td>情報</td><td>70点</td></tr> <tr><td>合計</td><td>720点</td></tr> </table> ・外国語は英語のリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点を100点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。 ・大学入学共通テストの成績は、合計点を100点満点に換算します。	国語	100点	地歴及び公民	50点	数学	200点	理科	200点	外国語	100点	情報	70点	合計	720点
国語	100点														
地歴及び公民	50点														
数学	200点														
理科	200点														
外国語	100点														
情報	70点														
合計	720点														
(4) 次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者	ア. 出願の際は、希望するコース（機械電気コース）を選択してください。 ※指導可能な教員および研究内容について、次世代博士人材育成コース（https://nextphd.mirai.kyushu-u.ac.jp/）に掲載されています。出願に際して予め参照してください。 イ. 第1次選抜において、次世代研究者発掘入試Ⅱ（次世代博士人材育成コース希望者）に不合格の場合でも、総合型選抜Ⅱの第1次選抜に合格している者については、総合型選抜Ⅱの第2次選抜を受験できます。														

○融合基礎工学科（機械電気コース）（女子枠）

1. アドミッション・ポリシー	基礎学力及び自分の考えを論理的に説明できる能力を備え、本学科・本コースに関連する学問を積極的に学ぶ意欲と自主性を有する者を求めます。特に、数学、物理などの自然科学や機械工学・電気電子工学分野に対する強い知的探究心を持ち自ら学ぶ意欲のある者、専門知識の融合による多角的視点から、エネルギーや環境等の社会問題の解決に意欲のある者を求めます。
2. 出願資格	次の各項のいずれかに該当する者で、本学工学部融合基礎工学科（機械電気コース）が指定する令和9（2027）年度大学入学共通テスト教科・科目（英語のリスニングを含む）を受験し、環境・エネルギー問題などの多様で複雑なグローバルな課題解決に強い意志と興味を持ち、本学工学部融合基礎工学科（機械電気コース）を第1志望とする女子とします。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和3（2021）年4月以降に卒業した者及び令和9（2027）年3月までに卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和3（2021）年4月以降に修了した者及び令和9（2027）年3月までに修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、令和3（2021）年4月以降にこれに該当するもの及び令和9（2027）年3月までにこれに該当する見込みのもの （注意）本選抜の趣旨から本学の実施する総合型選抜（次世代研究者発掘入試を含む）、学校推薦型選抜、国際入試（教育学部）との併願はできません。ただし、本学科の総合型選抜Ⅱ女子枠出願者は、次世代研究者発掘入試Ⅱへの出願が可能です。 なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。
3. 出願要件 （次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者のみ）	次世代研究者発掘入試Ⅱに出願の方は、2.出願資格に加えて、以下に掲げる条件をいずれも満たす者としてします。 ア) 高等学校又は中等教育学校等の高等学校に相当する機関において、以下①～⑤に記載している項目に当てはまる活動実績を修めている者 ① 日本学生科学賞の中央予備審査への進出者 ② 高校生・高専生科学技術チャレンジ（JSEC）一次審査会進出者 ③ JST 実施事業「グローバルサイエンスキャンパス（GSC）」、「次世代科学技術チャレンジプログラム（STELLA プログラム）」（GSC の後継事業）の第1段階選抜修了者 ④ 「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト（QFC-SP）」プライマリーコースの修了者 ⑤ 上記以外の自由研究や課題研究で①～④と同等の優れた発表を公的に証明できる者 など ※出願期間最終日（令和8年10月30日）までに④以外の発表会等に出場しておらず、出願要件証明書を提出できない場合は、出願できません。 イ) 工学部融合基礎工学科機械電気コースが掲げるアドミッション・ポリシーで求める学生像に一致し、工学部融合基礎工学科機械電気コースにおける修学に加え「次世代博士人材育成コース」で学び、博士課程へ進学する強い志がある者
4. 募集人員	女子枠：2人 次世代研究者発掘入試Ⅱ：若干名 （注1）総合型選抜Ⅱ（一般枠）と総合型選抜Ⅱ（女子枠）の併願はできません。 （注2）入学手続者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。

5. 入学者選抜方法 (1) 第1次選抜	入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。 ○女子枠: 提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ: 提出された調査書又は調査書に代わる書類、活動歴報告書・研究計画書及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。 ア. 第1次選抜の合格者は、募集人員の3倍程度とします。 イ. 第1次選抜の結果は、令和8(2026)年12月21日(月)頃に郵便で発送します。
(2) 第2次選抜	○女子枠: 第1次選抜の合格者に対し、面接(試問を含む)及び令和9(2027)年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ: 第1次選抜の合格者に対し、面接(試問を含む)、プレゼンテーション・口頭試問、令和9(2027)年度大学入学共通テストの成績及び活動歴報告書・研究計画書の総合評価により選抜を行います。 ア. 大学入学共通テスト ① 令和9(2027)年度大学入学共通テストの詳細については、大学入学共通テスト受験案内を参照してください。 ② 令和9(2027)年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目(6教科8科目) ※84～87ページを必ず確認してください。 国語(国語) 地歴及び公民(「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」「公共、政治・経済」から1) 地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。 数学(数学Ⅰ、数学A)と(数学Ⅱ、数学B、数学C) 理科(物理、化学) 外国語(英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1) 情報(情報Ⅰ) イ. 面接(試問を含む) ① 面接の内容 面接は、個人面接とし、1人につき15分程度行います。 調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし、5名程度の審査員により志望動機、入学後の抱負、将来の目標に関する質問を行い、融合基礎工学科(機械電気コース)で学ぶ熱意及び適性・能力を評価します。 また、試問により工学全般を学ぶための基礎学力を確認します。 ② 実施日時及び場所 本試験はオンライン方式により、以下の日時に実施します。 詳細は、令和8(2026)年12月24日(木)頃、本学Webサイト上でお知らせするとともに同日頃までに受験者に通知します。 月日: 令和9(2027)年1月30日(土) 時間: 9:00～18:00 ウ. プレゼンテーション及び口頭試問(*) ① 内容 プレゼンテーション・口頭試問は、個人ごとに審査員5人程度で実施し、1人15分程度行います。(プレゼンテーション5分程度、口頭試問10分程度) 高大連携事業等の各種研究プログラムにおける研究実績を基にしたプレゼンテーションを行います。出願時に提出した活動歴報告書・研究計画書を用いて行うため、第2次選抜にあたり、プレゼンテーション資料を新たに作成する必要はありません(提出された活動歴報告書・研究計画書のコピー1部を試験会場でお渡しします)。プレゼンテーション終了後、引き続き口頭試問を行います。

	②実施日時及び場所 面接終了後、プレゼンテーション及び口頭試問（＊）を実施（18:00 までに終了） ＊は次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者のみが対象です。														
(3) 合否判定の基準 ア. 第 1 次選抜	○女子枠：調査書又は調査書に代わる書類を 50 点満点、志望理由書を 50 点満点で評価し、各評価を合わせて 3 段階（ＡＢＣ）で総合的に評価します。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：女子枠の合格候補者のうち、活動歴報告書・研究計画書を 50 点満点で評価し、3 段階（ＡＢＣ）で評価します。														
イ. 第 2 次選抜	○女子枠：面接を 100 点満点で評価し、令和 9（2027）年度大学入学共通テスト成績（200 点満点）と合わせて 3 段階（ＡＢＣ）で総合評価します。 なお、「面接」及び「大学入学共通テスト（各科目・教科）」の各得点のいずれかにおいて、本学科での修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：女子枠の合格候補者のうち、プレゼンテーション・口頭試問を 100 点満点で評価し、活動歴報告書・研究計画書（50 点満点）の評価と合わせて 3 段階（ＡＢＣ）で総合評価します。 なお、「面接」、「プレゼンテーション・口頭試問」及び「大学入学共通テスト（教科・科目）」の各得点のいずれかにおいて本学科での修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。 大学入学共通テストの配点 <table border="0"> <tr><td>国語</td><td>100 点</td></tr> <tr><td>地歴及び公民</td><td>50 点</td></tr> <tr><td>数学</td><td>200 点</td></tr> <tr><td>理科</td><td>200 点</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>100 点</td></tr> <tr><td>情報</td><td>70 点</td></tr> <tr><td>合計</td><td>720 点</td></tr> </table> ・外国語は英語のリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計点を 100 点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。 ・大学入学共通テストの成績は、合計点を 200 点満点に換算します。	国語	100 点	地歴及び公民	50 点	数学	200 点	理科	200 点	外国語	100 点	情報	70 点	合計	720 点
国語	100 点														
地歴及び公民	50 点														
数学	200 点														
理科	200 点														
外国語	100 点														
情報	70 点														
合計	720 点														
(4) 次世代研究者 発掘入試Ⅱ出願者	ア. 出願の際は、希望するコース（機械電気コース）を選択してください。 ※指導可能な教員および研究内容について、次世代博士人材育成コース（https://nextphd.mirai.kyushu-u.ac.jp/）に掲載されています。出願に際して予め参照してください。 イ. 第 1 次選抜において、次世代研究者発掘入試Ⅱ（次世代博士人材育成コース希望者）に不合格の場合でも、総合型選抜Ⅱの第 1 次選抜に合格している者については、総合型選抜Ⅱの第 2 次選抜を受験できます。														

○量子物理工学科

1. アドミッション・ポリシー	最先端の物理学の工学への応用を目指すため、高等学校の基本科目（数学，物理，化学）を熱心に学んできたと自負し，国語，外国語，社会科学など文化諸科目の修得にも等しく情熱を有する者を求めます。
2. 出願資格	次の各項のいずれかに該当する者で，本学工学部量子物理工学科が指定する令和9（2027）年度大学入学共通テストの教科・科目（英語のリスニングを含む）を受験し，工学部量子物理工学科の勉学に意欲がある者で，本学工学部量子物理工学科を第1志望とする者としてします。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和3（2021）年4月以降に卒業した者及び令和9（2027）年3月までに卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和3（2021）年4月以降に修了した者及び令和9（2027）年3月までに修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で，令和3（2021）年4月以降にこれに該当するものと及び令和9（2027）年3月までにこれに該当する見込みのもの （注意）本選抜の趣旨から本学の実施する総合型選抜（次世代研究者発掘入試を含む），学校推薦型選抜，国際入試（教育学部）との併願はできません。 なお，出願資格について不明な点がある場合は，事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。
3. 募集人員	4人 （注）入学手続者が募集人員に満たない場合は，その不足した人員を一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。
4. 入学者選抜方法 (1) 第1次選抜	入学者の選抜は，第1次選抜及び第2次選抜により行います。 ア．提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書等の総合評価により選抜を行います。 イ．第1次選抜の合格者は，募集人員の3倍程度とします。 ウ．第1次選抜の結果は，令和8(2026)年12月21日（月）頃に郵便で発送します。
(2) 第2次選抜	第1次選抜の合格者に対し，面接（試問を含む）及び令和9（2027）年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。 ア．大学入学共通テスト ①令和9（2027）年度大学入学共通テストの詳細については，大学入学共通テスト受験案内を参照してください。 ②令和9（2027）年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（6教科8科目） ※84～87ページを必ず確認してください。 国語（国語） 地歴及び公民（「地理総合，地理探究」，「歴史総合，日本史探究」，「歴史総合，世界史探究」，「公共，倫理」，「公共，政治・経済」から1） 地理歴史及び公民の科目において，複数科目受験した場合の取扱いについては，受験した科目のうち第1解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。 数 学（数学Ⅰ，数学A）と（数学Ⅱ，数学B，数学C） 理 科（物理，化学） 外 国 語（英語） 情 報（情報Ⅰ） イ．面接（試問を含む） ①面接の内容 個人面接とし，1人25分程度とします。 調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書等を資料とし，審査員3人程度で自然科学への素養や適性並びに論理的思考能力，量子物理工学科で学ぼうとする意欲を評価します。

	②実施日時及び場所 受験者は、総合型選抜受験票（総合Ⅱ）、令和 9（2027）年度大学入学共通テスト受験票及び、筆記用具を持参の上、令和 9（2027）年 1 月 30 日（土）12 時 30 分までに集合してください。 ※集合場所等の詳細は、令和 8(2026)年 12 月 24 日（木）頃、本学 Web サイト上でお知らせします。 月日：令和 9（2027）年 1 月 30 日（土） 時間：面接 13：00～17：00 場所：工学部（伊都キャンパス）														
(3) 合否判定の基準 ア．第 1 次選抜	調査書又は調査書に代わる書類を 50 点満点、志望理由書等を 50 点満点で評価し、各評価を合わせて 3 段階（ＡＢＣ）で総合評価します。														
イ．第 2 次選抜	面接を 100 点満点で評価し、令和 9（2027）年度大学入学共通テスト成績（100 点満点）と合わせて 3 段階（ＡＢＣ）で総合評価します。 なお、「面接」及び「大学入学共通テスト（各科目・教科）」の各得点のいずれかにおいて、本学科での修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。 大学入学共通テストの配点 <table border="0"> <tr><td>国語</td><td>100 点</td></tr> <tr><td>地歴及び公民</td><td>50 点</td></tr> <tr><td>数学</td><td>200 点</td></tr> <tr><td>理科</td><td>200 点</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>100 点（英語）</td></tr> <tr><td>情報</td><td>70 点</td></tr> <tr><td>合計</td><td>720 点</td></tr> </table> ・外国語は英語のリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計点を 100 点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。 ・大学入学共通テストの成績は、合計点を 100 点満点に換算します。	国語	100 点	地歴及び公民	50 点	数学	200 点	理科	200 点	外国語	100 点（英語）	情報	70 点	合計	720 点
国語	100 点														
地歴及び公民	50 点														
数学	200 点														
理科	200 点														
外国語	100 点（英語）														
情報	70 点														
合計	720 点														

（試験場で受験する場合の注意事項）

1. 遠方からの受験者は、風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程に十分ゆとりをもって行動してください。
2. 遅刻による試験室への入室限度時刻は、予め定められた試験開始時刻から 30 分以内です。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻したものは、試験監督者等にその旨申し出てください。

○船舶海洋工学科

1. アドミッション・ポリシー	自然科学の基礎的な理論や概念を理解し、船舶海洋工学分野の知識と技能を身につけたうえで、グローバルな価値観で造船技術の継承・発展を図る意欲を持って、持続的な海洋開発を担える広い視野を有する技術者・研究者として成長することに積極的な者を求めます。
2. 出願資格	次の各項のいずれかに該当する者で、本学工学部船舶海洋工学科が指定する令和9（2027）年度大学入学共通テストの教科・科目（英語のリスニングを含む）を受験し、工学部船舶海洋工学科の勉学に意欲がある者で、本学工学部船舶海洋工学科を第1志望とする者としてします。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和7（2025）年4月以降に卒業した者及び令和9（2027）年3月までに卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7（2025）年4月以降に修了した者及び令和9（2027）年3月までに修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、令和7（2025）年4月以降にこれに該当するもの及び令和9（2027）年3月までにこれに該当する見込みのもの （注意）本選抜の趣旨から本学の実施する総合型選抜（次世代研究者発掘入試を含む）、学校推薦型選抜、国際入試（教育学部）との併願はできません。 なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。
3. 募集人員	8人 （注）入学手続者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。
4. 入学者選抜方法 (1) 第1次選抜	入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。 ア. 提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。 イ. 第1次選抜の合格者は、募集人員の2倍程度とします。 ウ. 第1次選抜の結果は、令和8(2026)年12月21日（月）頃に郵便で発送します。
(2) 第2次選抜	第1次選抜の合格者に対し、課題探求試験、面接（試問を含む）及び令和9（2027）年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。 ア. 大学入学共通テスト ①令和9（2027）年度大学入学共通テストの詳細については、大学入学共通テスト受験案内を参照してください。 ②令和9（2027）年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（6教科8科目） ※84～87ページを必ず確認してください。 国 語（国語） 地歴及び公民（「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」から1） 地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。 数 学（数学Ⅰ、数学A）と（数学Ⅱ、数学B、数学C） 理 科（物理、化学） 外 国 語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1） 情 報（情報Ⅰ） イ. 課題探求試験及び面接（試問を含む） ①課題探求試験の内容 船舶海洋工学分野に関する質問を行い、柔軟かつ創造的発想、整理分析力、論理的思考力、表現力を確認します。質問事項は第1次選抜の合格者に対して事前に通知します。 ②面接の内容 個人面接とし、1人20分程度とします。課題探求試験の質問事項に対する回答を5分程度で説明してもらった後、調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし、審査員3人程度で自然科学への素養や適性、船舶海洋工学科で学ぶ熱意及び適性・能力を評価します。

	③実施日時及び場所 本試験はオンライン方式により，以下の日時に実施します。 詳細は，令和8(2026)年12月24日（木）頃，本学Webサイト上でお知らせするとともに，同日頃までに受験者に通知します。 月日：令和9（2027）年1月30日（土） 時間：10：00～15：00														
(3) 合否判定の基準 ア．第1次選抜	調査書又は調査書に代わる書類を50点満点，志望理由書を50点満点で評価し，各評価を合わせて3段階（ABC）で総合評価します。														
イ．第2次選抜	課題探求試験を40点満点，面接を60点満点で評価し，令和9（2027）年度大学入学共通テスト成績（100点満点）と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。 「課題探求試験」，「面接」及び「大学入学共通テスト（各科目・教科）」の各得点のいずれかにおいて，本学科での修学に支障があると判断される場合，不合格となることがあります。 大学入学共通テストの配点 <table> <tr><td>国語</td><td>100点</td></tr> <tr><td>地歴及び公民</td><td>100点</td></tr> <tr><td>数学</td><td>100点</td></tr> <tr><td>理科</td><td>100点</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>100点</td></tr> <tr><td>情報</td><td>50点</td></tr> <tr><td>合計</td><td>550点</td></tr> </table> ・外国語は英語のリスニングの成績も利用します。利用に当たっては，リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点を100点満点に換算します。ただし，大学入学共通テストにおいて，リスニングを免除された重度難聴者については，リーディングの成績のみを利用します。 ・大学入学共通テストの成績は，合計点を100点満点に換算します。	国語	100点	地歴及び公民	100点	数学	100点	理科	100点	外国語	100点	情報	50点	合計	550点
国語	100点														
地歴及び公民	100点														
数学	100点														
理科	100点														
外国語	100点														
情報	50点														
合計	550点														

○地球資源システム工学科

1. アドミッション・ポリシー	国際的に展開される地下資源の開発と供給, 国内外における自然災害の防止技術の開発や地球環境への負荷を軽減する諸技術の開発を担い, グローバルな視点から社会に貢献する問題発見と問題解決に取り組むことに意欲を有する者を求めます。
2. 出願資格	次の各項のいずれかに該当する者で, 本学工学部地球資源システム工学科が指定する令和 9 (2027) 年度大学入学共通テストの教科・科目 (英語のリスニングを含む) を受験し, 資源供給と地球環境保全の両立を通して, 持続可能な地球システムを築くことに貢献したいという強い熱意と適性を持ち, 本学工学部地球資源システム工学科を第 1 志望とする者としてします。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和 8 (2026) 年 4 月以降に卒業した者及び令和 9 (2027) 年 3 月までに卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を令和 8 (2026) 年 4 月以降に修了した者及び令和 9 (2027) 年 3 月までに修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で, 令和 8 (2026) 年 4 月以降にこれに該当するもの及び令和 9 (2027) 年 3 月までにこれに該当する見込みのもの (注意) 本選抜の趣旨から本学の実施する総合型選抜 (次世代研究者発掘入試を含む), 学校推薦型選抜, 国際入試 (教育学部) との併願はできません。ただし, 本学科の総合型選抜Ⅱ一般枠出願者は, 次世代研究者発掘入試Ⅱへの出願が可能です。 なお, 出願資格について不明な点がある場合は, 事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。
3. 出願要件 (次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者のみ)	次世代研究者発掘入試Ⅱに出願の方は, 2. 出願資格に加えて, 以下に掲げる条件をいずれも満たす者としてします。 ア) 高等学校又は中等教育学校等の高等学校に相当する機関において, 以下①～⑤に記載している項目に当てはまる活動実績を修めている者 ①日本学生科学賞の中央予備審査への進出者 ②高校生・高専生科学技術チャレンジ (JSEC) 一次審査会進出者 ③JST 実施事業「グローバルサイエンスキャンパス (GSC)」, 「次世代科学技術チャレンジプログラム (STELLA プログラム)」 (GSC の後継事業) の第 1 段階選抜修了者 ④「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト (QFC-SP)」プライマリーコースの修了者 ⑤上記以外の自由研究や課題研究で①～④と同等の優れた発表を公的に証明できる者 など ※出願期間最終日 (令和 8 年 10 月 30 日) までに④以外の発表会等に出場しておらず, 出願要件証明書を提出できない場合は, 出願できません。 イ) 工学部地球資源システム工学科が掲げるアドミッション・ポリシーで求める学生像に一致し, 工学部地球資源システム工学科における修学に加え「次世代博士人材育成コース」で学び, 博士課程へ進学する強い志がある者
4. 募集人員	一般枠: 2 人 次世代研究者発掘入試Ⅱ: 若干名 (注) 入学手続者が募集人員に満たない場合は, その不足した人員を一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。
5. 入学者選抜方法	入学者の選抜は, 第 1 次選抜及び第 2 次選抜により行います。 (1) 第 1 次選抜 ○一般枠: 提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ: 提出された調査書又は調査書に代わる書類, 活動歴報告書・研究計画書及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。 ア. 第 1 次選抜の合格者は, 募集人員の 3 倍程度とします。 イ. 第 1 次選抜の結果は, 令和 8 (2026) 年 12 月 21 日 (月) 頃に郵便で発送します。

(2) 第 2 次選抜	○一般枠：第 1 次選抜の合格者に対し、課題探求試験、面接（試問を含む）及び令和 9（2027）年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：第 1 次選抜の合格者に対し、課題探求試験、面接（試問を含む）、プレゼンテーション・口頭試問、令和 9（2027）年度大学入学共通テストの成績及び活動歴報告書・研究計画書の総合評価により選抜を行います。 ア．大学入学共通テスト ①令和 9（2027）年度大学入学共通テストの詳細については、大学入学共通テスト受験案内を参照してください。 ②令和 9（2027）年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（6 教科 8 科目） ※84～87 ページを必ず確認してください。 国 語（国語） 地歴及び公民（「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」から 1） 地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第 1 解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。 数 学（数学Ⅰ、数学 A）と（数学Ⅱ、数学 B・数学 C） 理 科（物理、化学、生物、地学から 2、ただし物理、化学から 1 科目必ず選択） 外 国 語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から 1） 情 報（情報Ⅰ） イ．課題探求試験及び面接（試問を含む） ①課題探求試験の内容 地球資源および地球環境に関する問題を出題し、持続可能な地球システムについての柔軟かつ創造的発想、整理分析力、論理的思考力、表現力を評価します。 ②面接の内容 個人面接とし、1 人 30 分程度とします。 調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし、複数の審査員（3 人以上）で地球資源および地球環境に関する質問を行い、地球資源システム工学を学ぶ熱意及び適性・能力を評価します。 ③実施日時及び場所 受験者は、総合型選抜受験票（総合Ⅱ）、令和 9（2027）年度大学入学共通テスト受験票、筆記用具及び弁当等を持参の上、令和 9（2027）年 1 月 30 日（土）9 時 30 分までに集合してください。 ※集合場所等の詳細は、令和 8（2026）年 12 月 24 日（木）頃、本学 Web サイト上でお知らせします。 月 日：令和 9（2027）年 1 月 30 日（土） 時間：課題探求試験 10：00～12：00、13：00～15：30 面接 13：30～16：00 場所：工学部（伊都キャンパス） ウ．プレゼンテーション及び口頭試問（*） ①内容 プレゼンテーション・口頭試問は、個人ごとに審査員 3 人以上で実施し、1 人 30 分程度行います。（プレゼンテーション 10 分程度、口頭試問 20 分程度） 高大連携事業等の各種研究プログラムにおける研究実績を基にしたプレゼンテーションを行います。出願時に提出した活動歴報告書・研究計画書を用いて行うため、第 2 次選抜にあたり、プレゼンテーション資料を新たに作成する必要はありません（提出された活動歴報告書・研究計画書のコピー 1 部を試験会場でお渡しします）。プレゼンテーション終了後、引き続き口頭試問を行います。 ②実施日時及び場所 面接終了後、プレゼンテーション及び口頭試問（*）を実施（16:00 までに終了） *は次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者のみが対象です。
-------------	---

(3) 合否判定の基準 ア. 第1次選抜	○一般枠：調査書又は調査書に代わる書類を 50 点満点、志望理由書を 50 点満点で評価し、各評価を合わせて 3 段階（ABC）で総合評価します。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：一般枠の合格候補者のうち、活動歴報告書・研究計画書を 50 点満点で評価し、3 段階（ABC）で評価します。														
イ. 第2次選抜	○一般枠：課題探求試験を 100 点満点、面接を 100 点満点で評価し、令和 9（2027）年度大学入学共通テスト成績（100 点満点）と合わせて 3 段階（ABC）で総合評価します。 なお、「課題探求試験」、「面接」及び「大学入学共通テスト（各科目・教科）」の各得点のいずれかにおいて、本学科での修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。 ○次世代研究者発掘入試Ⅱ：一般枠の合格候補者のうち、プレゼンテーション・口頭試問を 100 点満点で評価し、活動歴報告書・研究計画書（50 点満点）の評価と合わせて 3 段階（ABC）で総合評価します。 なお、「課題探求試験」、「面接」、「プレゼンテーション・口頭試問」及び「大学入学共通テスト（教科・科目）」の各得点のいずれかにおいて本学科での修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。 大学入学共通テストの配点 <table border="0"> <tr><td>国語</td><td>100 点</td></tr> <tr><td>地歴及び公民</td><td>50 点</td></tr> <tr><td>数学</td><td>100 点</td></tr> <tr><td>理科</td><td>100 点</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>100 点</td></tr> <tr><td>情報</td><td>70 点</td></tr> <tr><td>合計</td><td>520 点</td></tr> </table> ・外国語は英語のリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計点を 100 点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。 ・大学入学共通テストの成績は、合計点を 100 点満点に換算します。	国語	100 点	地歴及び公民	50 点	数学	100 点	理科	100 点	外国語	100 点	情報	70 点	合計	520 点
国語	100 点														
地歴及び公民	50 点														
数学	100 点														
理科	100 点														
外国語	100 点														
情報	70 点														
合計	520 点														
(4) 次世代研究者 発掘入試Ⅱ出願者	ア. 出願の際は、希望する分野（応用地質学分野、物理探査学分野、地球熱システム学分野、資源開発工学分野、岩盤・開発機械システム工学分野、資源処理・環境修復工学分野、エネルギー資源工学分野）を選択してください。 ※指導可能な教員および研究内容について、次世代博士人材育成コース（https://nextphd.mirai.kyushu-u.ac.jp/）に掲載されています。出願に際して予め参照してください。 イ. 第1次選抜において、次世代研究者発掘入試Ⅱ（次世代博士人材育成コース希望者）に不合格の場合でも、総合型選抜Ⅱの第1次選抜に合格している者については、総合型選抜Ⅱの第2次選抜を受験できます。														

（試験場で受験する場合の注意事項）

1. 遠方からの受験者は、風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程に十分ゆとりをもって行動してください。
2. 遅刻による試験室への入室限度時刻は、予め定められた試験開始時刻から 30 分以内です。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻したものは、試験監督者等にその旨申し出てください。

○土木工学科

1. アドミッション・ポリシー	安全で信頼性のある社会基盤の設計や建設, 快適で持続可能な都市の創造, 環境問題の解決方法, 防災技術について幅広く探求する意欲があり, 積極的に学習を進めることができる自主性を有する者を求めます。
2. 出願資格	次の各項のいずれかに該当する者で, 本学工学部土木工学科が指定する令和 9 (2027) 年度大学入学共通テストの教科・科目 (英語のリスニングを含む) を受験し, 持続可能な社会や都市の発展に貢献したいという強い意志と適性を持ち, 本学工学部土木工学科を第 1 志望とする者としします。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和 3 (2021) 年 4 月以降に卒業した者及び令和 9 (2027) 年 3 月までに卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を令和 3 (2021) 年 4 月以降に修了した者及び令和 9 (2027) 年 3 月までに修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で, 令和 3 (2021) 年 4 月以降にこれに該当するもの及び令和 9 (2027) 年 3 月までにこれに該当する見込みのもの (注意) 本選抜の趣旨から本学の実施する総合型選抜 (次世代研究者発掘入試を含む), 学校推薦型選抜, 国際入試 (教育学部) との併願はできません。 なお, 出願資格について不明な点がある場合は, 事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。
3. 募集人員	8 人 (注) 入学手続者が募集人員に満たない場合は, その不足した人員を一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。
4. 入学者選抜方法	入学者の選抜は, 第 1 次選抜及び第 2 次選抜により行います。 (1) 第 1 次選抜 ア. 提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。 イ. 第 1 次選抜の合格者は, 募集人員の 2 倍程度とします。 ウ. 第 1 次選抜の結果は, 令和 8 (2026) 年 12 月 21 日 (月) 頃に郵便で発送します。
(2) 第 2 次選抜	第 1 次選抜の合格者に対し, 面接 (試問を含む) 及び令和 9 (2027) 年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。 ア. 大学入学共通テスト ① 令和 9 (2027) 年度大学入学共通テストの詳細については, 大学入学共通テスト受験案内を参照してください。 ② 令和 9 (2027) 年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目 (6 教科 8 科目) ※ 84~87 ページを必ず確認してください。 国 語 (国語) 地歴及び公民 (「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」, 「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」から 1) 地理歴史及び公民の科目において, 複数科目受験した場合の取扱いについては, 受験した科目のうち第 1 解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。 数 学 (数学 I, 数学 A) と (数学 II, 数学 B, 数学 C) 理 科 (物理, 化学) 外 国 語 (英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から 1) 情 報 (情報 I) イ. 面接 (試問を含む) ① 面接の内容 個人面接とし, 1 人 15 分程度行います。 調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし, 審査員 3 人程度で土木工学を学ぶ熱意及び適性・能力を評価します。 ② 実施日時及び場所 受験者は, 総合型選抜受験票 (総合 II), 令和 9 (2027) 年度大学入学共通テスト受験票,

	筆記用具及び弁当等を持参の上、令和9（2027）年1月30日（土）9時00分までに集合してください。 ※集合場所等の詳細は、令和8(2026)年12月24日（木）頃、本学Webサイト上でお知らせします。 月日：令和9（2027）年1月30日（土） 時間：面接 9：30～17：00 場所：工学部（伊都キャンパス）														
(3) 合否判定の基準 ア．第1次選抜	調査書又は調査書に代わる書類を50点満点、志望理由書を50点満点で評価し、各評価を合わせて3段階（ABC）で総合評価します。														
イ．第2次選抜	面接を100点満点、令和9（2027）年度大学入学共通テスト成績を100点満点とし、これらを3段階（ABC）で総合評価します。なお、「面接」及び「大学入学共通テスト（各科目・教科）」の各得点のいずれかにおいて、本学科での修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。 大学入学共通テストの配点 <table> <tr><td>国語</td><td>100点</td></tr> <tr><td>地歴及び公民</td><td>50点</td></tr> <tr><td>数学</td><td>100点</td></tr> <tr><td>理科</td><td>100点</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>100点</td></tr> <tr><td>情報</td><td>70点</td></tr> <tr><td>合計</td><td>520点</td></tr> </table> ・外国語は英語のリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点を100点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。 ・大学入学共通テストの成績は、合計点を100点満点に換算します。	国語	100点	地歴及び公民	50点	数学	100点	理科	100点	外国語	100点	情報	70点	合計	520点
国語	100点														
地歴及び公民	50点														
数学	100点														
理科	100点														
外国語	100点														
情報	70点														
合計	520点														

（試験場で受験する場合の注意事項）

1. 遠方からの受験者は、風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程に十分ゆとりをもって行動してください。
2. 遅刻による試験室への入室限度時刻は、予め定められた試験開始時刻から30分以内です。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻したものは、試験監督者等にその旨申し出てください。

○建築学科

1. アドミッション・ポリシー	技術から社会・文化まで文理を問わず幅広い分野への関心と基礎的学力があり、洞察力と批判的な視点をもって課題を発見する力、論理的に思考する力や自らの考えを的確に他者に伝える力などの資質に優れ、建築学分野の専門家を目指して発想力と探求心をもって主体的に学習する意欲がある者を求めます。
2. 出願資格	次の各項のいずれかに該当する者で、本学工学部建築学科が指定する令和9（2027）年度大学入学共通テストの教科・科目（英語のリスニングを含む）を受験し、工学部建築学科の勉学に意欲がある者で、本学工学部建築学科を第1志望とする者とします。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和3（2021）年4月以降に卒業した者及び令和9（2027）年3月までに卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和3（2021）年4月以降に修了した者及び令和9（2027）年3月までに修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、令和3（2021）年4月以降にこれに該当するもの及び令和9（2027）年3月までにこれに該当する見込みのもの （注意）本選抜の趣旨から本学の実施する総合型選抜（次世代研究者発掘入試を含む）、学校推薦型選抜、国際入試（教育学部）との併願はできません。 なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。
3. 募集人員	6人 （注）入学手続き者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。
4. 入学者選抜方法	入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。 (1) 第1次選抜 ア. 提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。 イ. 第1次選抜の合格者は、募集人員の3倍程度とします。 ウ. 第1次選抜の結果は、令和8(2026)年12月21日（月）頃に郵便で発送します。
(2) 第2次選抜	第1次選抜の合格者に対し、課題探求試験により選抜を行います。ただし、(3)イ. に示す通り、面接（試問を含む）及び令和9（2027）年度大学入学共通テストの成績についても考慮します。 ア. 大学入学共通テスト ①令和9（2027）年度大学入学共通テストの詳細については、大学入学共通テスト受験案内を参照してください。 ②令和9（2027）年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（6教科7科目） ※84～87ページを必ず確認してください。 国語（国語） 地歴及び公民（「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」から1） 地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。 数学（数学Ⅰ、数学A）と（数学Ⅱ、数学B、数学C） 理科（物理） 理科の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を理科の得点として採用します。複数科目受験する場合は「物理」を第1解答科目としてください。 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1） 情報（情報Ⅰ） イ. 課題探求試験及び面接（試問を含む） ①課題探求試験の内容 都市・建築・生活・環境・災害に関連する課題1問を出題します。 文章や図表などを併用しながら、自身の提案をまとめて解答する課題で、解答内容について受験者から説明してもらい、それに対する複数の審査員からの質疑に答えてもらいます。ただし、解答内容について、他の受験者との意見交換や質疑応答を行う場合もあります。 建築や都市を取り巻く現状に対する洞察力と建設的・批判的な視点を持って問題を発見す

	る力、論理的な思考力と自らの考えを的確に他者に伝える力、独創的な発想力と建築に対する意欲を評価します。 ②面接の内容 個人面接とし、1人5分程度行います。調査書又は調査書に代わる書類、志望理由書を資料とし、建築を学ぶ熱意及び適性を複数の審査員で評価します。 ③実施日時及び場所 受験者は、総合型選抜受験票（総合Ⅱ）、令和9（2027）年度大学入学共通テスト受験票、筆記用具及び弁当等を持参の上、令和9（2027）年1月30日（土）9時00分までに集合してください。 ※集合場所等の詳細は、令和8(2026)年12月24日（木）頃、本学 Web サイト上でお知らせします。 月日：令和9（2027）年1月30日（土） 時間：課題探求試験及び面接 9:30～18:00 場所：イーストゾーン講義室（伊都キャンパス）														
(3) 合否判定の基準 ア. 第1次選抜	調査書又は調査書に代わる書類を5段階、志望理由書を5段階で評価し、各評価を合わせて3段階（ABC）で総合評価します。														
イ. 第2次選抜	課題探求試験を300点満点で評価し、その成績順位に基づき、3段階（ABC）で総合評価します。ただし、「面接」及び「大学入学共通テストの各教科・科目の得点および合計得点」のいずれかにおいて、本学科での修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。 大学入学共通テストの配点 <table border="0"> <tr><td>国語</td><td>200点</td></tr> <tr><td>地歴及び公民</td><td>100点</td></tr> <tr><td>数学</td><td>200点</td></tr> <tr><td>理科</td><td>100点（物理）</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>200点</td></tr> <tr><td>情報</td><td>140点</td></tr> <tr><td>合計</td><td>940点</td></tr> </table> ・外国語は英語のリスニングの成績も利用します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。 ・大学入学共通テストの成績は、合計点を100点満点に換算し、上記の判断に用います。	国語	200点	地歴及び公民	100点	数学	200点	理科	100点（物理）	外国語	200点	情報	140点	合計	940点
国語	200点														
地歴及び公民	100点														
数学	200点														
理科	100点（物理）														
外国語	200点														
情報	140点														
合計	940点														
5. その他	入学前学習について 「数学Ⅲ」及び「化学」については、本学科の学習を進める上で必要な内容であるため、総合型選抜の合格者のうち「数学Ⅲ」及び「化学」を未履修の者には、入学前にそれらの学習を促す課題を課す場合があります。「数学Ⅲ」及び「化学」以外の名称の科目がそれらに相当する場合は、その旨を調査書に記載してください。														

（試験場で受験する場合の注意事項）

1. 遠方からの受験者は、風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程に十分ゆとりをもって行動してください。
2. 遅刻による試験室への入室限度時刻は、予め定められた試験開始時刻から30分以内です。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻したものは、試験監督者等にその旨申し出てください。

芸術工学部

1. アドミッション・ポリシー

芸術工学部では、本学部理念である「技術の人間化」に基づき、技術を人間生活に適切に利用するための道筋を設計する「高次のデザイナー」の養成を目的とし、以下のような学生を求めている。

- ・芸術工学に関連する様々な専門知識を修得し、社会の課題を発見・提起できる力を修得するために必要な基礎学力、論理的な思考能力とともに、美しさ、心地よさ、文化的な深みなどを感じ取れる感性を有すること。
- ・広い視野に立って他者と協力しながら課題解決へ向かう力を修得するために必要な、豊かな人間性、創造性、挑戦する精神を有すること。
- ・課題解決のためのプロセスを明確化し、実践する力を修得するために必要な、自ら問題を設定し、積極的に解決に向かう意欲を有すること。
- ・自らの感性や専門的知識を有効に活用し、考えを効果的に表現・伝達する力を修得するために必要な、国際的な志向性、多様性に対する好奇心と寛容性、柔軟な思考力を有すること。

これらに加えて、各コースにおいて次のような学生を求めている。

○ 環境設計コース

◆ 求める学生像

1. 多様化する環境に関する諸問題に対して、空間の広がりや、歴史性をふまえて、問題を解決するためにどのような提案をすべきか、自ら判断する強い意欲を有する。
2. 建築、都市、地域、ランドスケープ等に関する専門知識を修得するために必要な基礎学力を有する。
3. 環境を読み解く力、社会調査スキル、科学的思考力、表現能力、分析する力を修得するために必要な環境や事物を観察する能力、創造的な感性を有する。

◆ 求める学生像と学力3要素との関係

- ① 知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。継続的な学習を支える好奇心。特に上記の求める学生像の2に対応している。
- ② 思考力・判断力・表現力等の能力：多面的に考え、客観的に批判し、自分の言葉で人に伝える資質。鋭敏な観察能力と創造的な感性。特に上記の求める学生像の3に対応している。
- ③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：建築、ランドスケープ、歴史環境等の創造性に関わる環境設計関連分野への強い関心。多様性を尊重する態度、異なる考えに共感する寛容性。失敗を恐れない向上心。特に上記の求める学生像の1に対応している。

◆ 入学者選抜方法との関係

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	調査書 大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
総合型選抜	調査書 大学入学共通テスト	実技	調査書 志望理由書

○ インダストリアルデザインコース

◆ 求める学生像

1. 人間の特性と論理的にデザインを創造する幅広い専門知識を修得するために必要な基礎学力を有する。
2. 人間とは何かを考え、人間の生活や社会を支える「製品」「生活環境」「サービス」「社会システム」の創造に対して強い意欲を有する。
3. 社会的視点を持って物事を考え、実践する努力を惜しまない意欲を有する。

◆ 求める学生像と学力3要素との関係

- ① 知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。特に上記の求める学生像1に対応している。
- ② 思考力・判断力・表現力等の能力：多面的に考え、客観的に批判し、自分の言葉で人に伝える資質。特に上記の求める学生像2に対応している。
- ③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：人間とは何かを考え、人間の生活や社会を支える「製品」「生活環境」「サービス」「社会システム」を創造することへの関心。多様性を尊重する態度、異なる考えに共感する寛容性。特に上記の求める学生像3に対応している。

◆ 入学者選抜方法との関係

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	調査書 大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
総合型選抜	調査書 大学入学共通テスト	実技	調査書 志望理由書
学校推薦型選抜	推薦書 調査書 大学入学共通テスト 面接	推薦書 志望理由書 面接	推薦書 調査書 志望理由書 面接

○ 未来構想デザインコース

◆ 求める学生像

1. 近い将来の我々の社会のありように関心を持ち、既存概念にとらわれることなく、新たなデザインの分野の開拓や表現活動への挑戦と創造への強い意欲を有する。
2. よりよい社会を構想するために、芸術、技術、思想に関する知識と、自然や社会を数理科学的に捉える生命科学、情報科学に関する知識を修得するために必要な基礎学力を有している。
3. 社会的な課題に関心を持ち、論理的な思考力と実証的な志向性を有する。

◆ 求める学生像と学力３要素との関係

- ① 知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。特に上記の求める学生像の２に対応している。
- ② 思考力・判断力・表現力等の能力：多面的に考え、客観的に批判し、自分の言葉で人に伝える資質。上記の求める学生像の３に対応している。
- ③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：未来を構想し、デザインを通して実現することへの関心。多様性を尊重する態度、異なる考えに共感する寛容性。上記の求める学生像の１及び３に対応している。

◆ 入学者選抜方法との関係

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	調査書 大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
総合型選抜	調査書 大学入学共通テスト	実技	調査書 志望理由書
学校推薦型選抜	推薦書 調査書 大学入学共通テスト 自己活動評価書 小論文	推薦書 調査書 作文 自己活動評価書 小論文 面接	推薦書 調査書 作文 自己活動評価書 面接

○ **メディアデザインコース**

◆ 求める学生像

1. メディアとコミュニケーションに関わるデザインと芸術的表現に深い意欲を有する。
2. メディアとコミュニケーションに関わるデザインの知識、数理科学的知識、人間の心理や知的財産に関する知識、芸術と文化に関わる知識を修得するために必要な基礎学力を有する。
3. メディアとコミュニケーションに関わるデザイン、コンテンツ創成に関する基礎的な表現能力を有する。

◆ 求める学生像と学力3要素との関係

- ① 知識・技能：高等学校等における理系分野の基礎的教科・科目の履修を通してメディアデザインの教育を受けるうえで必要な基礎的学力を有している。特に上記の求める学生像の2に対応している。
- ② 思考力・判断力・表現力等の能力：メディアとコミュニケーションに関わるデザインを客観的に捉え、創造的に実践するうえで必要な論理的思考能力と、基礎的な表現能力を有している。特に上記の求める学生像の3に対応している。
- ③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：多様な価値を尊重し、様々な創造的表現に関心を有している。特に上記の求める学生像の1に対応している。

◆ 入学者選抜方法との関係

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	調査書 大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
総合型選抜	調査書 大学入学共通テスト	実技	調査書 志望理由書

○ **音響設計コース**

◆ 求める学生像

1. 音に関連する芸術、科学、技術の幅広い分野に関心をもち、専門的知識を自発的に修得する意欲を有する。
2. 音響設計の専門家として必要な音に対する感性と、音に関連する文化、環境、情報の各分野についての専門的な知識を修得するための基礎学力を有する。
3. 音響・音楽などに関する強い関心や有意義な経験を持ち、芸術的感性を有して個性豊かであるとともに、音響設計コースにおいて自主的に修学する意欲を有する。

◆ 求める学生像と学力3要素との関係

- ① 知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。高等学校で履修する科目、特に、数学、物理、外国語の基礎知識を確実に習得していること。上記の求める学生像の2に対応している。
- ② 思考力・判断力・表現力等の能力：多面的に考え、客観的に批判し、自分の言葉で人に伝える資質。入学後の修学に必要な基礎学力に加えて、論理的な思考能力、数理的思考能力、問題解決能力、独創性、表現力を有していること。上記の求める学生像の3に対応している。
- ③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：多様性を尊重する態度、異なる考えに共感する寛容性。音に関連する芸術、科学、技術の幅広い分野に関心。音響・音楽に関する様々な活動など、有意義で実践的な経験を有していること。音楽に関する芸術的感性を有していること。上記の求める学生像の1、3に対応している。

◆ 入学者選抜方法との関係

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	
総合型選抜	調査書 大学入学共通テスト	小論文	調査書 個人面接

	環境設計コース	インダストリアル デザインコース	未来構想 デザインコース	メディア デザインコース	音響設計コース
2. 出願資格	次の各項のいずれかに該当する者で、本学の芸術工学部芸術工学科当該志望コースが指定する令和9（2027）年度大学入学共通テストの教科・科目（英語のリスニングを含む。）を受験し、芸術工学部芸術工学科当該志望コースの勉学に意欲のある者で本学芸術工学部芸術工学科当該志望コースを第1志望とする者としてします。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和3（2021）年4月以降に卒業した者及び令和9（2027）年3月までに卒業見込み者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和3（2021）年4月以降に修了した者及び令和9（2027）年3月までに修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、令和3（2021）年4月以降にこれに該当するもの及び令和9（2027）年3月までにこれに該当する見込みのもの なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。 (注意) 本選抜の趣旨から本学の実施する総合型選抜（次世代研究者発掘入試を含む）、学校推薦型選抜、国際入試（教育学部）との併願はできません。				
3. 募集人員	7 人	16 人	5 人	22 人	5 人
	(注) 合格者又は入学手続者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。				
4. 入学者選抜方法 (1) 第1次選抜	入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。 ア. 提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。 イ. 第1次選抜の合格者は募集人員の4倍程度とします。 ウ. 第1次選抜の結果は、令和8（2026）年12月21日（月）頃に郵便で発送します。				
(2) 第2次選抜	第1次選抜の合格者に対し、実技及び令和9（2027）年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。	第1次選抜の合格者に対し、実技及び令和9（2027）年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。	第1次選抜の合格者に対し、実技及び令和9（2027）年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。	第1次選抜の合格者に対し、実技及び令和9（2027）年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。	第1次選抜の合格者に対し、小論文、実技を含む面接及び令和9（2027）年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。
	ア. 大学入学共通テスト ①令和9（2027）年度大学入学共通テストの詳細については、大学入学共通テスト受験案内を参照してください。 ②令和9（2027）年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（6教科・8科目） ※84～87ページを必ず確認してください。 国 語 （国語） 地歴及び公民 （「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」から1） 地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。 数 学 （数学Ⅰ、数学A）と（数学Ⅱ、数学B、数学C） 理 科 （物理、化学、生物、地学から2） 外 国 語 （英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1） 情 報 （情報Ⅰ）				
	イ. 実技 ①資料の理解 1. 受験生に対し30分程度の時間で、「ル・コルビュジェ」についての資料提示を行います。 2. 提示された資料について理解したことを記録します。資料提示の内容についての理解度を評価します。	イ. 実技 ①実技の内容 与えられたテーマにもとづいて、図やスケッチを使って多様な視点から複数のアイデアを示してもらいます。その中からテーマにふさわしい一つを選び、図やスケッチ、文章で説明してもらいます。図やスケッチ、文章から発想力、アイデアの表現力、	イ. 実技 ①実技の内容 描画・構成・表現・及びそれに伴う論述を課し、構想力、表現力、論理的思考能力等を総合的に評価します。	イ. 実技 ①実技の内容 造形・描画表現及びそれに伴う論述を課し、観察力、表現力及び論理的思考能力を評価します。	イ. 小論文及び実技を含む面接 ①小論文の内容 英文、数式を含む長文を提示して出題することがあります。英文読解力、数理的思考力、問題解決能力、独創性、表現力を総合的に評価します。 ②実技を含む面接の内容 音響設計コースのアドミッション・ポリシーを理解し、受験者自

	②制作 ①を踏まえ、与えられた材料を使って立体を制作します。 - その立体を描画します。 - 制作意図について論述します。	論理性等を総合的に評価します。			身が音響設計コースで学び得る能力の持ち主であることを「実技」によってアピールします。実技とは、楽器演奏等の創造的なパフォーマンス、制作した作品の提示、音響機器等の設計制作物の提示などを指します。口述による解説を含めることも可能です。生成 AI を用いた場合はどこにどのように使用したかを説明してください。 受験者は、はじめに 5 分程度の「実技」を行います。その後、審査員が実技などに関する専門的な質問を行います。実技を含む面接の時間は 1 人 13 分（準備・片づけを含む）です。 ＊次の事項をあらかじめ周知します。 ・面接会場は、広さ約 100 m² の録音スタジオです。 ・面接会場には、楽器としてグランドピアノ、機器としてギターアンプ (1 台)、ベースアンプ (1 台)、マイクロフォン (1 本)、ミキサー (2 チャンネルステレオ入出力)、CD プレーヤーと DVD プレーヤー、音響映像提示装置としてスピーカー (2 チャンネルステレオ) と大型モニタ (77 インチ) を用意します。 ・パソコンのヘッドホン端子 (3.5mm ステレオミニピンジャック) 等から面接会場の装置への接続ケーブル、HDMI 端子から大型モニタへの接続ケーブル、および電源タップは、会場に用意があります。また、適宜、会場にて接続のサポートは行います。 ・それ以外の楽器、機器、及びケーブルなどは受験者が各自持参してください。 ・用意された楽器、機器、または持参可能な楽器、機器などの範囲で「実技」を行うようにしてください。 ・インターネット接続など外部との通信を行うことはできません。 ・受験者以外が試験室へ入室することは認めません。
--	--	-----------------	--	--	---

	③実施日時及び場所 受験者は、総合型選抜受験票（総合Ⅱ）、令和9（2027）年度大学入学共通テスト受験票、筆記用具及び弁当等を持参の上、令和9（2027）年1月30日（土）10時30分までに芸術工学部試験場に集合してください。 月日：1月30日（土） 時間：実技① 11：00～12：00 実技② 13：30～16：30 場所：芸術工学部（詳細は、1月29日（金）に芸術工学部多次元デザイン実験棟に掲示します。）	②実施日時及び場所 受験者は、総合型選抜受験票（総合Ⅱ）、令和9（2027）年度大学入学共通テスト受験票、筆記用具等を持参の上、令和9（2027）年1月30日（土）13時までに芸術工学部試験場に集合してください。 月日：1月30日（土） 時間：実技 13：30～17：00 場所：芸術工学部（詳細は、1月29日（金）に芸術工学部多次元デザイン実験棟に掲示します。）	②実施日時及び場所 受験者は、総合型選抜受験票（総合Ⅱ）、令和9（2027）年度大学入学共通テスト受験票、筆記用具等を持参の上、令和9（2027）年1月30日（土）9時30分までに芸術工学部試験場に集合してください。 月日：1月30日（土） 時間：実技 10：00～16：30 （12：00～13：30は休憩時間） 場所：芸術工学部（詳細は、1月29日（金）に芸術工学部多次元デザイン実験棟に掲示します。）	②実施日時及び場所 受験者は、総合型選抜受験票（総合Ⅱ）、令和9（2027）年度大学入学共通テスト受験票、筆記用具等を持参の上、令和9（2027）年1月30日（土）13時までに芸術工学部試験場に集合してください。 月日：1月30日（土） 時間：実技 13：30～17：30 場所：芸術工学部（詳細は、1月29日（金）に芸術工学部多次元デザイン実験棟に掲示します。）	③実施日時及び場所 受験者は、総合型選抜受験票（総合Ⅱ）、令和9（2027）年度大学入学共通テスト受験票、筆記用具等を持参の上、令和9（2027）年1月30日（土）9時00分までに芸術工学部試験場に集合してください。 月日：1月30日（土） 時間：小論文9：30～12：00 実技を含む面接 13：00～19：00 場所：芸術工学部（詳細は、1月29日（金）に芸術工学部多次元デザイン実験棟に掲示します。）																																																																					
(3) 合否判定の基準 ア．第1次選抜 イ．第2次選抜	調査書又は調査書に代わる書類を100点満点で、志望理由書を200点満点で評価し、各評価を合わせて3段階（ABC）で総合評価します。																																																																									
	実技を250点満点で評価し、令和9（2027）年度大学入学共通テストの成績（550点満点）と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。 大学入学共通テストの配点 <table><tr><td>国語</td><td>100点</td></tr><tr><td>地歴及び公民</td><td>100点</td></tr><tr><td>数学</td><td>100点</td></tr><tr><td>理科</td><td>100点</td></tr><tr><td>外国語</td><td>100点</td></tr><tr><td>情報</td><td>50点</td></tr><tr><td>合計</td><td>550点</td></tr></table> ・英語はリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点を100点満点に換算します。 ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。	国語	100点	地歴及び公民	100点	数学	100点	理科	100点	外国語	100点	情報	50点	合計	550点	実技を350点満点で評価し、令和9（2027）年度大学入学共通テストの成績（550点満点）と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。 大学入学共通テストの配点 <table><tr><td>国語</td><td>100点</td></tr><tr><td>地歴及び公民</td><td>100点</td></tr><tr><td>数学</td><td>100点</td></tr><tr><td>理科</td><td>100点</td></tr><tr><td>外国語</td><td>100点</td></tr><tr><td>情報</td><td>50点</td></tr><tr><td>合計</td><td>550点</td></tr></table> ・英語はリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点を100点満点に換算します。 ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。	国語	100点	地歴及び公民	100点	数学	100点	理科	100点	外国語	100点	情報	50点	合計	550点	実技を350点満点で評価し、令和9（2027）年度大学入学共通テストの成績（550点満点）と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。 大学入学共通テストの配点 <table><tr><td>国語</td><td>100点</td></tr><tr><td>地歴及び公民</td><td>100点</td></tr><tr><td>数学</td><td>100点</td></tr><tr><td>理科</td><td>100点</td></tr><tr><td>外国語</td><td>100点</td></tr><tr><td>情報</td><td>50点</td></tr><tr><td>合計</td><td>550点</td></tr></table> ・英語はリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点を100点満点に換算します。 ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。	国語	100点	地歴及び公民	100点	数学	100点	理科	100点	外国語	100点	情報	50点	合計	550点	実技を300点満点で評価し、令和9（2027）年度大学入学共通テストの成績（550点満点）と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。 大学入学共通テストの配点 <table><tr><td>国語</td><td>100点</td></tr><tr><td>地歴及び公民</td><td>100点</td></tr><tr><td>数学</td><td>100点</td></tr><tr><td>理科</td><td>100点</td></tr><tr><td>外国語</td><td>100点</td></tr><tr><td>情報</td><td>50点</td></tr><tr><td>合計</td><td>550点</td></tr></table> ・英語はリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点を100点満点に換算します。 ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。	国語	100点	地歴及び公民	100点	数学	100点	理科	100点	外国語	100点	情報	50点	合計	550点	小論文を400点満点で、実技を含む面接を400点満点で評価し、令和9（2027）年度大学入学共通テストの成績（550点満点）と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。 大学入学共通テストの配点 <table><tr><td>国語</td><td>100点</td></tr><tr><td>地歴及び公民</td><td>100点</td></tr><tr><td>数学</td><td>100点</td></tr><tr><td>理科</td><td>100点</td></tr><tr><td>外国語</td><td>100点</td></tr><tr><td>情報</td><td>50点</td></tr><tr><td>合計</td><td>550点</td></tr></table> ・英語はリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点を100点満点に換算します。 ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。	国語	100点	地歴及び公民	100点	数学	100点	理科	100点	外国語	100点	情報	50点	合計
国語	100点																																																																									
地歴及び公民	100点																																																																									
数学	100点																																																																									
理科	100点																																																																									
外国語	100点																																																																									
情報	50点																																																																									
合計	550点																																																																									
国語	100点																																																																									
地歴及び公民	100点																																																																									
数学	100点																																																																									
理科	100点																																																																									
外国語	100点																																																																									
情報	50点																																																																									
合計	550点																																																																									
国語	100点																																																																									
地歴及び公民	100点																																																																									
数学	100点																																																																									
理科	100点																																																																									
外国語	100点																																																																									
情報	50点																																																																									
合計	550点																																																																									
国語	100点																																																																									
地歴及び公民	100点																																																																									
数学	100点																																																																									
理科	100点																																																																									
外国語	100点																																																																									
情報	50点																																																																									
合計	550点																																																																									
国語	100点																																																																									
地歴及び公民	100点																																																																									
数学	100点																																																																									
理科	100点																																																																									
外国語	100点																																																																									
情報	50点																																																																									
合計	550点																																																																									

（試験場で受験する場合の注意事項）

1. 遠方からの受験者は、風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程に十分ゆとりをもって行動してください。
2. 遅刻による試験室への入室限度時刻は、予め定められた試験開始時刻から30分以内です。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻したものは、試験監督者等にその旨申し出てください。
3. 試験では、黒鉛筆、シャープペンシル（黒）、消しゴム、手動式の鉛筆削り、時計（時計機能だけのもの）のみ使用できます。

農 学 部

1. アドミッション・ポリシー

◆求める学生像

農学部では、生物生産、生物機能、生物環境等の学問分野において専門性及び技術を習得し、課題解決能力と国際的視野を併せ持つ人材を育成することを主眼とした教育を行っています。そのために、農学部では以下のような学生を求めています。

- ①生物生産、生物機能、生物環境等の農学関連分野に強い関心を有し、将来これらの分野で活躍を目指す意欲的な学生。
- ②農学部の教育・研究は、自然科学から社会科学にまで及ぶ広範な基礎科学と応用科学に立脚しているので、幅広い教養と専門的知識とともに修学できるバランス感覚を備えた学生。
- ③国際的に活躍する土台となる高度な語学能力を持ち、自己の語学能力の向上に熱心な学生。

◆求める学生像と学力3要素との関連

- ①知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。特に、大学での生物、化学、物理等の学習に必要な理系科目の十分な素養と基本的な英語力。
- ②思考力・判断力・表現力等の能力：多面的に考え、客観的に批判し、自分の言葉で人に伝える資質。特に物事を理論的に把握する能力。
- ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：生物生産、生物機能、生物環境等の農学関連分野への強い関心。多様性を尊重する態度、異なる考えに共感する寛容性。他人の意見を尊重しつつも積極的に議論する姿勢。

◆入学者選抜方法

求める学生像と学力3要素と入学者選抜方法との関係については、「選抜方法に関する別表」のとおりである。

選抜方法に関する別表①

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
総合型選抜	大学入学共通テスト	小論文 個人面接	志望理由書 個人面接 調査書

選抜方法に関する別表②

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
次世代研究者発掘入試Ⅰ	調査書 活動歴報告書・研究計画書	志望理由書 活動歴報告書 口頭試問	志望理由書 プレゼンテーション 口頭試問 調査書
国際型入試	大学入学共通テスト 統一試験（EJU, SAT, GCE 等）	個人面接	志望理由書 個人面接

2. 出願資格

次の各項のいずれかに該当する者で、本学農学部が指定する令和 9（2027）年度大学入学共通テストの教科・科目（英語のリスニングを含む。）を受験し、本学農学部を第 1 志望とする者としします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和 7（2025）年 4 月以降に卒業した者及び令和 9（2027）年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を令和 7（2025）年 4 月以降に修了した者及び令和 9（2027）年 3 月までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、令和 7（2025）年 4 月以降にこれに該当するもの及び令和 9（2027）年 3 月までにこれに該当する見込みのもの

3. 出願要件(次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者のみ)

次世代研究者発掘入試Ⅱに出願の方は、2.出願資格に加えて、以下に掲げる条件をいずれも満たす者としします。

ア)高等学校又は中等教育学校等の高等学校に相当する機関において、以下①～⑤に記載している項目に当てはまる活動実績を修めている者

- ①日本学生科学賞の中央予備審査への進出者
- ②高校生・高専生科学技術チャレンジ（JSEC）一次審査会進出者
- ③JST 実施事業「グローバルサイエンスキャンパス（GSC）」、「次世代科学技術チャレンジプログラム（STELLA プログラム）」（GSC の後継事業）の第 1 段階選抜修了者
- ④「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト（QFC-SP）」プライマリーコースの修了者
- ⑤上記以外の自由研究や課題研究で①～④と同等の優れた発表を公的に証明できる者 など

※出願期間最終日（令和 8 年 10 月 30 日）までに④以外の発表会等に出場しておらず、出願要件証明書を提出できない場合は、出願できません。

イ)農学部が掲げるアドミッション・ポリシーで求める学生像に一致し、農学部における修学に加え「次世代博士人材育成コース」で学び、博士課程へ進学する強い志がある者

なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係に

お問い合わせください。

(注意) 本選抜の趣旨から本学の実施する総合型選抜(次世代研究者発掘入試を含む)、学校推薦型選抜、国際入試(教育学部)との併願はできません。ただし、本学部の総合型選抜Ⅱ一般枠出願者は、次世代研究者発掘入試Ⅱへの出願が可能です。

4. 募集人員

総合型選抜Ⅱ：24人

次世代研究者発掘入試Ⅱ：若干名

(注) 合格者又は入学手続き者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。

5. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。

(1) 第1次選抜

○総合型選抜Ⅱ(一般枠)：提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。

○次世代研究者発掘入試Ⅱ：提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。加えて、活動歴報告書・研究計画書で評価します。

ア. 第1次選抜の合格者は、募集人員の3倍程度とします。

イ. 第1次選抜の結果は、令和8(2026)年12月21日(月)頃に郵便で発送します。

(2) 第2次選抜

○総合型選抜Ⅱ(一般枠)：第1次選抜の合格者に対し、小論文、面接及び令和9(2027)年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。

○次世代研究者発掘入試Ⅱ：第1次選抜の合格者に対し、小論文、面接に加え、プレゼンテーション・口頭試問及び令和9(2027)年度大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。

ア. 大学入学共通テスト

① 令和9(2027)年度大学入学共通テストの詳細については、大学入学共通テスト受験案内を参照してください。

② 令和9(2027)年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目(6教科8科目)

※84～87ページを必ず確認してください。

国語(国語)

地理及び公民((地理総合、地理探究)、(歴史総合、日本史探究)、(歴史総合、世界史探究)、(公共、倫理)、(公共、政治・経済)から1)

地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第1解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

数 学 （数学Ⅰ，数学A）と（数学Ⅱ，数学B，数学C）
 理 科 （物理，化学，生物，地学から2）
 外 国 語 （英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から1）
 情 報 （情報Ⅰ）

イ．小論文及び面接

① 小論文の内容

設問に対する論述を行うものとします。論理的能力及び勉学・研究への潜在能力の観点から評価します。

② 面接の内容

面接は，個人面接とし，1人20分程度行います。

調査書又は調査書に代わる書類，志望理由書及び小論文のテーマを資料とし，審査員3名で農学部で学ぶ適性能力及び勉学・研究に対する熱意を評価します。

③ 実施日時及び場所

受験者は，総合型選抜受験票（総合Ⅱ）及び令和9（2027）年度大学入学共通テスト受験票，筆記用具及び弁当等を持参の上，令和9（2027）年1月30日（土）8時30分までに九州大学伊都キャンパス農学部試験場に集合してください。

※集合場所の詳細は，令和8（2026）年12月24日（木）頃，本学Webサイト上でお知らせします。

④ 受験上の注意

遅刻による試験室への入室限度時刻は，予め定められた試験開始時刻から30分以内です。なお，交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻したものは，試験監督者に申し出てください。

月 日	時 間		場 所
1月30日（土）	小論文	9：30～11：30	九州大学伊都キャンパス 農学部試験場
	面 接	13：30～17：00	当日，各人に通知します。
	プレゼンテーション・ 口頭試問*	面接終了後順次	当日，各人に通知します。

ウ．プレゼンテーション及び口頭試問*

プレゼンテーション・口頭試問は，個人ごとに複数の審査員（3名以上）で実施し，1人20分程度行います（プレゼンテーション5分程度，口頭試問15分程度）。

高大連携事業等の各種研究プログラムにおける研究実績を基にしたプレゼンテーションを口述で行います。出願時に提出した活動歴報告書・研究計画書を用いて行うため，第2次選抜にあたり，プレゼンテーション資料を新たに作成する必要はありません。プレゼンテーション終了後，引き続き口頭試問を行います。

*は次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者のみが対象です。

(3) 合否判定の基準

ア. 第1次選抜

○総合型選抜Ⅱ（一般枠）：調査書又は調査書に代わる書類，志望理由書をそれぞれ 150 点満点で評価し，各評価を合わせて 3 段階（A B C）で総合評価します。

○次世代研究者発掘入試Ⅱ：調査書又は調査書に代わる書類，志望理由書をそれぞれ 150 点満点で評価，加えて活動歴報告書・研究計画書を 50 点満点で評価し，各評価を合わせて 3 段階（A B C）で評価します。

イ. 第2次選抜

○総合型選抜Ⅱ（一般枠）：小論文（300 点満点），面接（300 点満点），及び令和 9（2027）年度大学入学共通テスト試験の成績（450 点満点）を合わせて 3 段階（A B C）で総合評価します。

○次世代研究者発掘入試Ⅱ：小論文（300 点満点），面接（300 点満点），プレゼンテーション及び口頭試問（100 点満点），活動歴報告書・研究計画書（50 点満点）及び令和 9（2027）年度大学入学共通テスト試験の成績（450 点満点）を合わせて 3 段階（A B C）で総合評価します。

・ 大学入学共通テストの配点

国 語	地歴及び 公民	数 学	理 科	外 国 語	情 報	合 計
50 点	50 点	100 点	100 点	100 点	50 点	450 点

- ・ 英語はリスニングの成績も利用します。利用に当たっては，リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計点を 100 点満点に換算します。ただし，大学入学共通テストにおいて，リスニングを免除された重度難聴者については，リーディングの成績のみを利用します。

(4) 次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者

ア. 出願の際は，以下の希望するコース分野を選択してください。

①生物資源生産科学コース（農学分野・生物生産環境工学分野・生物生産システム工学分野）

②地球森林科学コース（地球森林科学分野）

③動物生産科学コース（アニマルサイエンス分野・水産科学分野）

※指導可能な教員および研究内容について，次世代博士人材育成コース

(<https://nextphd.mirai.kyushu-u.ac.jp/>) に掲載されています。出願に際して予め参照してください。

イ. 次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者は，同学部の総合型選抜Ⅱ一般枠にも同時に出願している形となります。このため，次世代研究者発掘入試Ⅱで合格に満たなかった場合でも，一般枠での合格者となりえます。

令和9（2027）年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目一覧

大学入学共通テスト 出題 教科・科目 学部学科			国語		地理歴史及び公民							数 学		
			国 語	地 理 総 合 究	歴 日 本 史 総 合 究	歴 世 界 史 総 合 究	公 倫 共 理	公 政 治 ・ 経 済 共 済	地 歴 公 理 史 総 合 共	グループ①		グループ②		
										数 学 I	数 数 学 I A	数 数 学 II B C		
文 学 部			◎ 1	○	○	○	○	○	○	△	△ 1	◎ 1	◎ 1	
法 学 部			◎ 1	○	○	○	○	○	○	△	△ 1	◎ 1	◎ 1	
経 済 学 部 経 済 ・ 経 営 学 科			◎ 1	○	○	○	○	○	○	△	△ 1	◎ 1	◎ 1	
理 学 部	物 理 学 科		◎ 1	○	○	○	○	○	○	△	△ 1	◎ 1	◎ 1	
	化 学 科		◎ 1	○	○	○	○	○	○	△	△ 1	◎ 1	◎ 1	
	地 球 惑 星 科 学 科		◎ 1	○	○	○	○	○	○	△	△ 1	◎ 1	◎ 1	
	生 物 学 科		△ △	△	△	△	△	△	△	△	△ 1	◎ 1	◎ 1	
											1	1		
											1	1		
医 学 部	保 健 学 科	看 護 学 専 攻	◎ 1	○	○	○	○	○	○	△	△ 1	◎ 1	◎ 1	
		放 射 線 技 術 科 学 専 攻	◎ 1	○	○	○	○	○	○	△	△ 1	◎ 1	◎ 1	
			◎ 1	1							1	1		
			◎ 1	○	○	○	○	○	○	△	△ 1	◎ 1	◎ 1	
		検 査 技 術 科 学 専 攻			1							1	1	
歯 学 部			◎ 1	○	○	○	○	○	○	△	△ 1	◎ 1	◎ 1	
工 学 部	電 気 情 報 工 学 科		◎ 1	○	○	○	○	○	○	△	△ 1	◎ 1	◎ 1	
	材 料 工 学 科		◎ 1	○	○	○	○	○	○	△	△ 1	◎ 1	◎ 1	
	応 用 化 学 科		◎ 1	○	○	○	○	○	○	△	△ 1	◎ 1	◎ 1	
	化 学 工 学 科		◎ 1	○	○	○	○	○	○	△	△ 1	◎ 1	◎ 1	
	融 合 基 礎 工 学 科 物 質 材 料 コー ス		◎ 1	○	○	○	○	○	○	△	△ 1	◎ 1	◎ 1	
	融 合 基 礎 工 学 科 機 械 電 気 コー ス		◎ 1	○	○	○	○	○	○	△	△ 1	◎ 1	◎ 1	
				1							1	1		
				1							1	1		

大学入学共通テスト 出題 教科・科目 学部学科			国語		地理歴史及び公民							数 学		
			国 語	地 理 総 合 究	歴 日 本 史 総 合 究	歴 世 界 史 総 合 究	公 倫 理 共 理	公 政 治 ・ 経 済 共 済	地 歴 公 理 史 総 合 共	グループ①		グループ②		
										数 学 I	数 数 学 I A	数 数 学 II B C	数 数 学 学 学	数 数 学 学 学
工 学 部	量 子 物 理 工 学 科	◎	○	○	○	○	○	○	△	△	◎	◎		
		1	1							1		1		
	船 舶 海 洋 工 学 科	◎	○	○	○	○	○	○	△	△	◎	◎		
		1	1							1		1		
	地 球 資 源 シ ス テ ム 工 学 科	◎	○	○	○	○	○	○	△	△	◎	◎		
		1	1							1		1		
建 築 学 部	土 木 工 学 科	◎	○	○	○	○	○	○	△	△	◎	◎		
		1	1							1		1		
	建 築 学 科	◎	○	○	○	○	○	○	△	△	◎	◎		
		1	1							1		1		
	環 境 設 計 コー ス	◎	○	○	○	○	○	○	△	△	◎	◎		
		1	1							1		1		
芸 術 工 学 部	イ ン ダ ス ト リ ア ル デ ザ イ ン コー ス	◎	○	○	○	○	○	○	△	△	◎	◎		
		1	1							1		1		
	未 来 構 想 デ ザ イ ン コー ス	◎	○	○	○	○	○	○	△	△	◎	◎		
		1	1							1		1		
	メ デ ィ ア デ ザ イ ン コー ス	◎	○	○	○	○	○	○	△	△	◎	◎		
		1	1							1		1		
農 学 部	音 響 設 計 コー ス	◎	○	○	○	○	○	○	△	△	◎	◎		
		1	1							1		1		

◎印は必須科目，○印は選択科目を示します。

(注)

「地理歴史及び公民」において2科目を選択する場合，「公共，倫理」と「公共，政治・経済」を組み合わせることはできません。

複数科目受験した場合の取扱いについては，「地理歴史及び公民」の受験科目を1科目としている場合は，受験した科目のうち第1解答科目の得点を「地理歴史及び公民」の得点として採用します。

なお，第1解答科目で「地理総合／歴史総合／公共」を受験した場合，「地理歴史及び公民」の得点は0点として取り扱いますので，十分に注意してください。

令和9（2027）年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目一覧

大学入学共通テスト 出題 教科・科目			理 科				外 国 語					情 報
			物化生地 理学物学 基基基基 礎礎礎礎	物 理	化 学	生 物	地 学	英 語	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語
学部学科												
文 学 部			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			1	(2)				1				1
法 学 部			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			1	(2)				1				1
経 済 学 部 経 済 ・ 経 営 学 科			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			1	(2)				1				1
理 学 部	物 理 学 科			◎	○	○	○	◎				◎
				2				1				1
	化 学 科			○	◎	○		○	○	○	○	◎
				2				1				1
	地 球 惑 星 科 学 科			○	○	○	○	◎				◎
				2				1				1
生 物 学 科			○	○	○	○	○	○	○	○	◎	
			2				1				1	
医 学 部	保健 学科	看護学専攻		○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1				1				1
		放射線技術科学専攻		○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				2				1				1
				○	○	○	○	○	○	○	○	◎
歯 学 部				○	○	○		○	○	○	◎	
				2				1				1
工 学 部	電 気 情 報 工 学 科			◎	◎			○	○	○	○	◎
				2				1				1
	材料 工学科	一 般 枠		◎	◎			◎				◎
				2				1				1
		女 子 枠		◎	◎	○	○	◎				◎
				2(*)				1				1
	応 用 化 学 科			◎	◎			○	○	○	○	◎
				2				1				1
	化 学 工 学 科			◎	◎			○	○	○	○	◎
				2				1				1
融 合 基 礎 工 学 科 物 質 材 料 コー ス			◎	◎			○	○	○	○	◎	
			2				1				1	
融 合 基 礎 工 学 科 機 械 電 気 コー ス			◎	◎			○	○	○	○	◎	
			2				1				1	

大学入学共通テスト 出題 教科・科目 学部学科			理 科					外 国 語					情 報
			物化生地 理学物学 基基基基 礎礎礎礎	物 理	化 学	生 物	地 学	英 語	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語	情 報 Ⅰ
工 学 部	量 子 物 理 工 学 科			◎	◎			◎					◎
				2				1					1
	船 舶 海 洋 工 学 科			◎	◎			○	○	○	○	○	◎
				2				1					1
	地球資源システム工学科			◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎
				2(*)				1					1
土 木 工 学 科			◎	◎			○	○	○	○	○	◎	
			2				1					1	
建 築 学 科			◎				○	○	○	○	○	◎	
			1				1					1	
芸 術 工 学 部	芸 術 工 学 科	環 境 設 計 コー ス		○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				2				1					1
		インダストリアル デザインコース		○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				2				1					1
		未 来 構 想 デザインコース		○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				2				1					1
メ デ ィ ア デザインコース			○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	
			2				1					1	
音 響 設 計 コー ス			○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	
			2				1					1	
農 学 部				○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				2				1					1

◎印は必須科目，○印は選択科目を示します。

(注)

1. 文学部，法学部及び経済学部経済・経営学科における理科の選択については，第一解答科目で「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」（4つの出題範囲から2つを選択解答）を選択してください。

なお，「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」を選択しない場合は，「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から2科目選択してください。

2. 理科において，複数科目受験した場合の取扱いについては，理科の受験科目を1科目と指定している場合は，受験した第1解答科目の得点を理科の得点として採用します。

また，本学が指定している科目を第2解答科目で受験した場合，その得点は0点として取り扱いますので，十分に注意してください。

3. 「英語」はリスニングの成績も利用します。

ただし，大学入試センターにおいて，リスニングを免除された重度難聴者については，リーディングの成績のみを利用します。（本学における大学入学共通テスト「英語」の配点については，リーディング100点満点とリスニング100点満点の200点をそのままの比率で利用します。）

*工学部材料工学科（女子枠）及び地球資源システム工学科における理科の選択については，「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から2科目選択となりますが，そのうち「物理」，「化学」の1科目を必ず選択してください。

各学部（学科）共通事項等

1. 出願手続

(1) 出願方法

インターネット出願

- | | | |
|---|---|----------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ① インターネットにより、<u>志望情報等を入力</u>する。 ② <u>証明写真をアップロード</u>する。 ③ <u>入学検定料を支払う</u>。 ④ 調査書、志望理由書等の
<u>提出が必要な出願書類等を郵送</u>する。 | } | ①～④の
すべての手続を行います。 |
|---|---|----------------------|

〈 注 意 〉

インターネット出願は、インターネットでの入力及び入学検定料の支払を行っただけでは出願手続完了にはなりません。以下の期間内に必要な出願書類等が到着するように、書留・速達郵便（日本国外から出願する場合は、EMS 等の最速の国際郵便）で郵送する必要があります。

※ 障害がある等でインターネット出願の利用が難しい方は、九州大学学務部入試課入試企画・広報係（TEL：092-802-2006）へ相談してください。

(2) 出願期間等

事 項	期 間
Web 入力及び入学検定料の支払 （注 1）	令和 8（2026）年 10 月 13 日（火）10 時から 10 月 27 日（火）17 時まで
【出願受付期間】 「提出が必要な出願書類等」の郵送 （注 2）（注 3）（注 4）	令和 8（2026）年 10 月 19 日（月）から 10 月 30 日（金）17 時まで（必着）

注意事項

- （注 1） 「Web 入力及び入学検定料の支払」期間内に入力及び支払手続を行ってください。なお、出願登録完了後は、ご自身で入力事項の変更はできません。
- （注 2） 「提出が必要な出願書類等」の郵送は郵便事情を考慮し、期間内に必ず到着するように手続してください。
- （注 3） 「提出が必要な出願書類等」の提出方法は原則郵送となります。
ただし、出願期間最終日（郵送では必着ができない場合）のみ、9 時から 17 時まで、九州大学学務部入試課への持参が可能です。
- （注 4） 「提出が必要な出願書類等」の受領確認は日本郵便の郵便追跡サービスサイトでご確認ください。郵便追跡サービスサイトでは書類の郵送時に郵便局から交付された「受領証」にあるお問い合わせ番号（引受番号）を利用して確認することができます。
- （注 5） 出願登録完了時に表示される「セキュリティコード」は、入学手続時にも使用しますので、出願登録完了後もメモを保管してください。

(3) Web 入力の方法

必要な情報について、インターネットを利用して入力します。

インターネット出願のページへは、九州大学 Web サイトからアクセスできます。

アクセスページ

九州大学 Web サイト

トップページ > 入試・入学 > 学部入試 > インターネット出願

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admission/faculty/internet/>



出願登録方法は、以下のサイトにて説明していますので、出願前にご確認ください。

九州大学 インターネット出願ガイダンスサイト

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-kyushu-u/how/>



○インターネット出願の操作等に関する不明点等は、次の連絡先にお問い合わせください。

志願受付操作サポート窓口	受付期間 10月13日（火）～10月27日（火） 9時から20時まで	TEL 0120-752-257
--------------	--	------------------

(4) 入学検定料支払の方法

入学検定料：17,000 円

詳しい支払方法については、出願登録完了後の「入学検定料のお支払い」ページにより確認してください。

入学検定料の他に別途必要なサービス利用料は、志願者負担となります。

① クレジットカード 日本^{国内}／^{国外}で利用可能

出願登録完了後、入学検定料のお支払サイトにより、決済を完了させてください。右のクレジットカードで支払うことができます。

なお、クレジットカードの名義は、志願者と同一である必要はありません。

支払方法は一括払いのみです。

クレジットカードの利用限度額を確認した上で利用してください。

② コンビニエンスストア 日本^{国内}のみ利用可能

現金での支払となります。

ローソン、 ミニストップ	「Loppi」で手続後、レジにて現金で支払
ファミリーマート	「マルチコピー機（旧 Fami ポート端末）」で手続後、レジにて現金で支払
デイリーヤマザキ	店頭レジで「オンライン決済」と店員に伝えて手続後、レジにて現金で支払

名称
VISA
MasterCard
JCB
AMERICAN EXPRESS
Diners Club Card

セイコーマート	店頭レジにて現金で支払
セブン-イレブン	店頭レジで「払込票番号」を店員に伝えるか、印刷した「払込票」を渡して現金で支払（※） （※）マルチコピー機は使用しません

※ 最新情報は、インターネット出願 Web サイトで確認してください。

③ 金融機関 ATM【Pay-easy】 日本国内のみ利用可能

支払可能金融機関で Pay-easy マークの付いている ATM で支払うことができます。

ATM で「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続きしてください。



④ ネットバンキング 日本国内のみ利用可能

都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協などのネットバンキングを利用することができます。事前に金融機関にて申込みが必要です。

また、楽天銀行、PayPay 銀行、au じぶん銀行、住信 SBI ネット銀行でも支払うことができます。この場合、事前に金融機関にて口座の開設が必要です。

ネットバンキングの契約をしている金融機関を選択し、ログイン後手続きしてください。

2. 提出が必要な出願書類等

※新型コロナウイルス感染症の影響により、学校での活動、大会や資格・検定試験等の結果を記載できない場合、その活動に関する努力のプロセスを記載してください。

ア. 調査書

在学又は出身学校長が文部科学省で定めた様式により当該年度に作成し、厳封したものを提出してください。経済学部経済・経営学科の志願者で特進クラス等に所属する者については、備考欄にその名称と概要を記載してください。

なお、調査書を提出できない者については、次の書類を提出してください。

① 高等学校卒業程度認定試験合格者

合格成績証明書及び免除科目がある場合は学校長が発行した当該科目の成績証明書

② 出願資格に該当する者のうち上記①以外の者

修了（見込）証明書又は資格（取得見込）証明書及び成績証明書

また、本学において個別の入学資格審査を受けた者は、本学が交付した「九州大学受験資格認定書（写）」を添付してください。

上記書類を提出できない者は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。

イ. 志望理由書等（歯学部を除く）

所定の用紙を A4 で出力のうえ使用し、志願者本人がその学部等を志望する理由、抱負などを自筆で書いてください。（※文学部、法学部、理学部、工学部及び芸術工学部芸術工学科音響設計コースは、添付書類の「令和 9（2027）年度九州大学 総合型選抜 志望理由書等記述要領」を参照の

上，記述してください。)

＊志望理由書等は，必ず志願者本人が自筆にて作成してください。(学部により文書作成ソフト使用可) 志願者以外の者(生成系 AI ツールを含む)により作成したことが認められる場合や剽窃等があった場合は，不正行為とみなし，入学許可を取り消すことがあります。

文学部(志望理由書)	様式 1	2 枚
法学部(志望理由書)	様式 2	2 枚
経済学部経済・経営学科(志望理由書)	様式 3	2 枚
理学部(志望理由書)	様式 4	2 枚
医学部保健学科(志望理由書)	様式 5	3 枚
工学部電気情報工学科(志望理由書)	様式 6	2 枚
工学部材料工学科(志望理由書)	様式 7	2 枚
工学部応用化学科(志望理由書)	様式 8	3 枚
工学部化学工学科(志望理由書)	様式 9	3 枚
工学部融合基礎工学科物質材料コース(志望理由書)	様式 10	2 枚
工学部融合基礎工学科機械電気コース(志望理由書)	様式 11	2 枚
工学部量子物理工学科(志望理由書)	様式 12	2 枚
工学部量子物理工学科(活動実績)	様式 13	1 枚
工学部船舶海洋工学科(志望理由書)	様式 14	3 枚
工学部地球資源システム工学科(志望理由書)	様式 15	4 枚
工学部土木工学科(志望理由書)	様式 16	3 枚
工学部建築学科(志望理由書)	様式 17	2 枚
芸術工学部芸術工学科環境設計コース，インダストリアルデザインコース， 未来構想デザインコース，メディアデザインコース(志望理由書)		
様式 18		3 枚
芸術工学部芸術工学科音響設計コース(志望理由書)	様式 19	4 枚
農学部(志望理由書)	様式 20	3 枚
【次世代研究者発掘入試Ⅱ希望者は上記に加えて，以下記載の各様式を提出してください。】		
工学部(活動歴報告書・研究計画書)	様式 21	6 枚
農学部(活動歴報告書・研究計画書)	様式 22	6 枚
工学部・農学部(出願要件証明書)	様式 23	1 枚

ウ．英語能力試験の成績証明書の原本(法学部の志願者のみ)

法学部の志願者については，願書受付期間の最終日より過去 2 年以内(令和 6(2024) 年 11 月以降)に受験した「英語能力試験」の成績証明書(原本)を出願時に提出してください。

実用英語検定試験(英検)の成績は，第 1 次・第 2 次試験両方の個人成績表を提出してください。

なお，英語能力試験の成績証明書(原本)は，九州大学学務部入試課で確認後返却しますので，返送先の住所・氏名を記入し，簡易書留郵便の郵送にかかる金額分の切手を貼った返信用封筒を同封の上，提出してください。

エ. 出願要件証明書（次世代研究者発掘入試Ⅱ出願者のみ、既卒生も含む）

出身学校長または記載責任者が、本学 Web サイト募集要項画面に掲載の様式に、自筆または PC 等で作成し、提出してください。

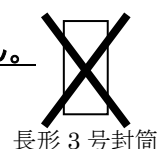
※各ページ記載の 3. 出願要件のとおり、出願期間最終日（令和 8 年 10 月 30 日）までに④以外の発表会等に出場しておらず、出願要件証明書を提出できない者は、出願資格はございません。

3. 提出が必要な出願書類等の提出先と提出方法について

①提出封筒の準備

(ア) 必ず、角形 2 号封筒（横 24cm×縦 33.2cm で A 4 サイズの書類を折らずに入れることができる封筒）を使用してください。

長形 3 号定型封筒（横 12cm×縦 23.5cm）は使用できません。



長形 3 号封筒



角形 2 号封筒

(イ) 出願内容完了画面から（図 1）の「封筒貼付用宛名ラベル」を印刷し、(ア)の封筒の表（宛名）面に貼付してください。

封筒貼付用宛名ラベルを印刷することを強く推奨しますが、「宛名ラベル」を印刷することができない場合は、（図 2）の【封筒貼付用宛名ラベルが印刷できない場合】の記載見本を直接、封筒の表（宛名）面に記載してください。

書留・速達の表示も縦書き・赤字で記入（又は郵便局窓口で押印を依頼）してください。

（図 1）【封筒貼付用宛名ラベル】の印刷見本

速 達	
切手	
〒819-0395 福岡市西区元岡 744	
書留・速達	九州大学学務部入試課 入試企画・広報係 御中
出願番号 : * * * * *	
入試制度 : 総合型選抜Ⅱ	
出願学部・学科等 : ▽▽学部▽▽学科 ▽▽専攻	
〒〇〇〇-〇〇 △△県□□市◇◇町 1-2-3	
☆☆ ☆☆	
	

（図 2）【封筒貼付用宛名ラベルが印刷できない場合】の記載見本

速 達	
切手	〒819-0395 福岡市西区元岡 744
書留・速達	九州大学学務部入試課 入試企画・広報係 御中
出願番号 : * * * * *	
入試制度 : 総合型選抜Ⅱ	
出願学部・学科等 : ▽▽学部▽▽学科 ▽▽専攻	
志願者情報 : 〒〇〇〇-〇〇〇〇 △△県□□市◇◇町 1-2-3	
☆☆ ☆☆	

② 提出が必要な出願書類等の封入

90 ページ記載の 2. 提出が必要な出願書類等を確認し、必要な書類等を封入してください。

③ 書留・速達郵便で送付

88 ページ記載の 1. (2) 出願期間等の出願受付期間内に必ず到着するよう、**書留・速達**郵便で郵送してください。

※出願に関する注意事項

ア. 提出が必要な出願書類等に不備があるものは受理しません。

志願情報、出願書類等に虚偽があった場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

イ. 出願書類受理後は、いかなる事情があっても書類の返却及び変更並びに住所・連絡先以外の情報の変更は認めません。

ウ. 不明な点は、出願前に九州大学学務部入試課へ相談してください。

照会先：九州大学学務部入試課入試企画・広報係

T E L : 092-802-2006

4. 受験票の印刷について

- ① 総合型選抜受験票は、令和 8 (2026) 年 12 月 24 日 (木) 頃 (歯学部は、令和 8 (2026) 年 11 月 18 日 (水) 頃) インターネット出願の出願内容確認画面より印刷可能となります。また、受験票の印刷はパソコンから行うことを推奨します。

九州大学 出願内容確認画面

<https://exam-entry.52school.com/kyushu-u/mypage>



- ② 試験当日 (令和 9 (2027) 年 1 月 30 日 (土)) は、**本学の総合型選抜受験票と大学入学共通テスト受験票の両方を必ず持参してください。**歯学部については第 1 次選抜当日 (令和 8 (2026) 年 11 月 28 日 (土)) にも本学の総合型選抜受験票を必ず持参してください。
- ③ 本学の総合型選抜受験票と大学入学共通テスト受験票は、入学手続や試験成績の開示等の際に必要となるので必ず保管しておいてください。
- ④ その他の注意点や試験会場の詳細については、本学 Web サイトに掲載しますので、事前に各自で必ず確認してください。なお、試験当日に監督者から注意事項の変更や追加の指示があった場合は、その指示に従ってください。

九州大学 Web サイト

トップページ > NEWS > 入試情報 > お知らせ

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admissions/search?category=1>



5. 入学検定料の返還について

次の場合を除き、いかなる理由があっても既納の入学検定料は返還しません。

- ① 第 1 次選抜 (書類審査) の不合格者に対して、13,000 円を返還します。
- ② 入学検定料納付後、出願書類等を送付しなかった場合及び出願書類等を受理できなかった場合は、全額返還します。

上記①に該当する場合は、第1次選抜結果通知の際に「返還請求書」等を送付しますので、書類作成の上、令和9（2027）年1月29日（金）までに手続きを行ってください。

上記②に該当する場合は、九州大学学務部入試課入試企画・広報係（TEL 092-802-2006）へお問い合わせください。

6. 入学検定料の免除について

① 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、次に該当する者です。

- ア 東日本大震災、熊本地震、平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震、令和元年台風第19号、令和2年7月豪雨及び令和6年能登半島地震に被災した志願者で、次のいずれかに該当する者
 - ㊦ 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、準半壊または準半壊に至らない損壊（一部損壊）と判断された場合、流失等した場合
 - ㊧ 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合
- イ 東日本大震災において、居住地が福島第一原子力発電所事故により、避難指示区域（計画的避難区域を含む）に指定された者

② 免除申請の手続

入学検定料の免除を受けようとする場合は、あらかじめ九州大学学務部入試課入試企画・広報係へE-Mailまたは電話で連絡し、該当すると判断された者は、「入学検定料免除申請書」を九州大学Webサイト（<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admission/exemption>）からダウンロードのうえ、次のうちいずれかの証明書等を添えて「提出が必要な出願書類等」とともに提出してください。

なお、申請にあたっては、以下の証明書が必要になります。

- ・ ①ア㊦に該当する場合 災害証明書
- ・ ①ア㊧に該当する場合 死亡又は行方不明を証明する書類
- ・ ①イに該当する場合 被災証明書

7. 障害等のある入学志願者の合理的配慮について

本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があります、そのための相談を受け付けています。

日常生活において使用している補聴器、松葉杖、車椅子等の利用を希望する場合も、この相談の手続を行ってください。

なお、96ページ(3)に示すものは、この相談の手続は不要です。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、相談の内容に応じて、次の期日までに相談してください。なお、期日を過ぎてから相談が必要となった場合は、九州大学学務部入試課（092-802-2006）へ連絡してください。

① 「点字解答」又は「代筆解答」を希望する場合

令和8（2026）年10月9日（金）まで

② 上記①以外の配慮を希望する場合

令和8（2026）年10月23日（金）まで

※ 上記期日までに相談の無い場合や相談の内容によっては配慮が講じられない場合がありますので
十分注意してください。

区 分	対象となる者	筆記試験における受験上の配慮の一例
①視覚に関する配慮	- 点字による教育を受けている者 - 両眼の矯正視力がおおむね0.3未満、もしくは視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 - 上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者	- 点字解答 - 拡大文字問題冊子の配付 - 試験時間の延長（1.3倍） - 拡大鏡等の持参使用 - 窓側の明るい座席を指定 - 照明器具の持参使用又は試験室側での準備
②聴覚に関する配慮	- 両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 - 上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者	- 手話通訳士等の配置 - 注意事項等の文書による伝達 - 座席を前列に指定 - 補聴器又は人工内耳の装用
③肢体不自由に関する配慮	- 体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 - 両上肢の機能障害が著しい者 - 上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者	- 代筆解答 - 試験時間の延長（1.3倍） - 試験室入口までの付添者の同伴 - 介助者の配置 1階又はエレベーターが利用可能な試験室に設定 - トイレに近い試験室で受験 - 車椅子、杖、特製机、椅子の持参使用又は試験場側での準備 - 試験場への乗用車での入構
④病弱に関する配慮	慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者	1階又はエレベーターが利用可能な試験室に設定 - 座席を試験室の出入口に近いところに指定 - 別室の設定
⑤発達障害に関する配慮	学習障害、注意欠陥・多動症（注意欠陥多動性障害）、自閉スペクトラム症（自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害等）等のため配慮を必要とする者	- 試験時間の延長（1.3倍） - 拡大文字問題冊子の配付 - 注意事項等の文書による伝達 - 別室の設定
⑥その他	①～⑤の区分以外の者で特別な配慮（面接時等の配慮を含む）を必要とする者	- トイレに近い試験室で受験 - 座席を試験室の出入口に近いところに指定 等

(1) 相談の方法

「九州大学入学試験における合理的配慮に関する事前相談申請書」及び「診断書」を九州大学 Web サイト (<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admission/faculty/disabilities/>) からダウンロードのうえ、障害者手帳取得者は、その写しも添えて相談の申請をしてください。

診断書には、診断名、初診日付と最終診察日、具体的な症状とその経過、日常生活上特に修学上の支障の程度、試験の際に想定される問題と必要と考える支援について記載してください。

また、大学入学共通テストの受験上の配慮決定を受けた者は、独立行政法人大学入試センターからの「受験上の配慮事項決定通知書」の写しも提出してください。

(2) 連絡先

九州大学学務部入試課入試企画・広報係

TEL 092-802-2006

〒819-0395 福岡市西区元岡 744

(3) 受験上の配慮を相談（申請）せずに使用できるもの

次のものは受験上の配慮の相談をせずに使用できます。

- ① サポーター，テーピング，包帯，湿布，ギプス，眼帯，コルセット

※試験時間中に着脱する場合は，監督者に申し出て許可を得てください。

- ② 白杖

※白杖以外の杖の持参使用を希望する場合は相談の手続が必要です。

以下の③については，試験開始前に監督者に申し出て許可を得てから使用してください。

- ③ 座椅子，クッション，タオル，ひざ掛け，手袋（多汗症用を含む）

※病気・負傷や障害等の為に試験開始前に監督者に申し出ることが困難な場合は，受験上の配慮の相談を申請することもできます。

※英文字や地図等がプリントされているものは使用しないでください。

8. 大学入学共通テスト成績請求情報の提供手続

第1次選抜の合格者には，第1次選抜結果発表時に，本学 Web サイトで，大学入学共通テストの成績請求情報の提供手続についてお知らせします。

大学入学共通テストの成績請求情報提供を本学が指定する上記手続の入力を**令和9年1月4日(月)から令和9年1月20日(水)まで**に行ってください。期日までに行えない場合は，第1次選抜の合格者としての権利を失いますので，お知らせをよく確認の上，確実に手続を行ってください。

なお，大学入学共通テストの成績情報の提供方式は「WEB 方式」となりますので，大学入学共通テストの出願サイト（マイページ）で，申込番号を確認できるようにしておいてください。

（大学入学共通テストの出願サイトの利用方法は，大学入学共通テストの案内等を参照してください。）

9. 合格者発表

合格者については，**令和9（2027）年2月10日（水）11時頃**，受験番号を伊都キャンパスセンターゾーンビッグさんど前広場の掲示板にて掲示するとともに，同日に合格通知書をインターネット出願時に入力された住所あてに郵便で発送します。

また，合格者の受験番号を同日 12 時頃，九州大学合格者発表専用 Web サイト（<https://goukaku.jimu.kyushu-u.ac.jp/>）に掲載します。これは，本学が情報提供の一環として行うものであり，公式の合格者の発表は，前述のとおりです。



電話による可否の問い合わせには応じません。

この総合型選抜では，当該学部（学科）のアドミッション・ポリシーに基づいて受験者の資質を評価・審査します。そのため，合格者数が募集人員に満たない場合があります。

【注意】合格発表後、SNS 等で自身の合格を公開する行為にはリスクが伴う場合があります。勧誘などで悪用される可能性があるため、充分にご注意ください。

10. 入学手続

入学手続は、次のとおり行ってください。なお、合格通知書等の到着前でも入学手続は行えます。

(1) 入学手続方法

所定の期間内（令和 9（2027）年 2 月 11 日（木）13 時から 2 月 17 日（水）17 時までに）に「① 入学料の納付」、「② Web 入学手続」及び「③ 入学手続書類の郵送」を全て完了させてください。なお、「③ 入学手続書類の郵送」については、遅延等の郵便事情を考慮の上、令和 9（2027）年 2 月 11 日（木）13 時から 2 月 17 日（水）17 時までに必着するように「書留速達郵便」により郵送してください。

※入学手続は、令和 9（2027）年 2 月 17 日（水）17 時をもって締切ります。

(2) 留意事項

- ① 総合型選抜の合格者が本学に入学手続を完了したときは、本学及び他の国公立大学・学部（※ 独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。）の一般選抜（前期・後期日程）を受験しても合格者とはなり得ません。
- ② 総合型選抜の合格者が、特別の事情により入学を辞退しようとするときは、令和 9（2027）年 2 月 17 日（水）17 時までに、「入学辞退届（様式任意）」を提出してください。指定の日時までに入学辞退の手続を行わない場合または入学辞退届が受理されなかった場合は、本学及び他の国公立大学・学部（※ 独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。）の一般選抜（前期・後期日程）を受験しても合格者とはなり得ません。
（手続及び連絡先：九州大学学務部入試課入試企画・広報係 TEL：092-802-2006）
※公立大学協会 Web サイト（https://www.kodaikyo.org/?page_id=17050）参照
- ③ 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 授業料は、入学後に納付することになります。
- ⑤ Web 入学手続ログイン時に、出願登録完了時に表示される「セキュリティコード」の入力が必要です。

[参考]

① 入学料及び授業料について

入学料 282,000 円（予定）[入学手続時に納付]

授業料（前期分）267,900 円 [年額 535,800 円]（予定）[入学後に納付]

（注）上記の納入金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな入学料及び授業料が適用されます。

② 入学料免除・入学料徴収猶予（多子世帯無償化含む）について

本学では、国の「高等教育の修学支援制度（多子世帯無償化含む）」による入学料・授業料免除制度（以下、「新制度」という。）を実施しています。なお、新制度の応募資格外の方は「特別な事情」がある場合に限り、大学独自制度による免除・徴収猶予を実施します。

新制度は、学部生（留学生を除く）を対象に、学生本人からの申請に基づき選考の上、日本学生支援機構の給付奨学金の支給と入学料・授業料の減免が行われます。多子世帯向けの授業料等減免のみの希望者も、給付奨学金の申請が必要です。申請者は、減免結果が出るまで入学料等が徴収猶予されます。

1. 応募資格：日本学生支援機構の給付奨学金の申請者（予約採用候補者、在学採用申請者）
（新制度の申請要件等の詳細は、日本学生支援機構の HP をご確認ください。）

2. 免除額：入学料(282,000 円)・授業料(535,800 円)の全額、2/3 額免除、1/3 額免除
（給付奨学金の支援区分に応じて免除額が決定、多子世帯区分は全額免除）

3. 申請時期・方法 以下①②の両方の申請を完了すること。

①【入学前・入学手続き時】本学への免除申請（事前申請）

※免除申請希望者は入学手続き時に入学料の納付はしないでください。

②【入学後・4月上旬】日本学生支援機構の給付奨学金（学費免除含む。）の申請（本申請）

②-1 高校時「予約採用」候補者：入学後速やかに「進学届」の提出を完了。又は

②-2 予約採用候補者以外：入学後4月上旬に「在学採用（春）」の申請を完了。

4. 本学からの選考結果通知：7月下旬頃

※2026 年度から免除制度が改正されています。詳しくは、九州大学 Web サイト及び入学ガイドブック（2 月頃 Web サイト掲載）を参照してください。

1 1. 不正行為等の取扱い

① 次のことをすると不正行為となります。ただし、試験時の説明で認められている行為については、不正行為に該当しません。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以降の受験はできなくなります。また、受験した総合型選抜の成績を無効にします。この場合、既納の入学検定料は返還しません。

ア. インターネット出願において故意に虚偽の情報を登録したことにより、登録した情報をもとに作成される志願票、照合票に虚偽の内容があった場合や解答紙へ故意に虚偽の記入（解答紙に本人以外の受験番号を記入することなど。）をすること。

イ. 志願者本人が作成する書類について、志願者以外の者（生成系 AI ツールを含む）が作成したもの、または剽窃等を行ったものを提出すること。

ウ. カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。

エ. 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。

オ. 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。

カ. 解答紙を試験室から持ち出すこと。

キ. 「解答始め。」の指示前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。

ク. 試験時間中に、電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽

プレーヤー等)を使用すること。

※ 通信機能のある電子機器類(携帯電話, スマートフォン, ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等。), タブレット端末等)は, かばんの中にしまっていなければ, 電源が切られていても, 使用しているものとし, 不正行為となります(衣類のポケット等に入っていた場合も, 使用しているものとし, 不正行為となります)。

※ イヤホンについては, 耳に装着していれば使用しているものとし, 不正行為となります。(試験時間中, 病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は, 受験上の配慮申請(94ページ)が必要です。)

ケ. 試験時間中に, 定規(定規の機能を備えた鉛筆を含む。), コンパス, 電卓, そろばん, グラフ用紙等の補助具を使用すること。

コ. 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず, 鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

② 不正行為が合格後に判明した場合, 合格を取り消します。この場合, 入学検定料, 入学科及び納入済みの授業料等は返還しません。

なお, 当該不正行為が本学の入学者選抜の実施運営を著しく妨げたと判断した場合, 警察に被害届を提出する場合があります。

③ 上記①以外にも, 次のことをすると不正行為になることがあります。ただし, 試験時の説明で認められている行為については, 不正行為に該当しません。指示等に従わず, 不正行為と認められた場合の取扱い, は, 上記①及び②と同様です。

ア. 試験時間中に, 定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む。), コンパス, 電卓, そろばん, グラフ用紙等の補助具や電子機器類(電子辞書, I Cレコーダー, イヤホン, 音楽プレーヤー等), 教科書, 参考書, 辞書類をかばん等にしまわず, 身に付けていたり, 手に持っていること。

※ 通信機能のある電子機器類(携帯電話, スマートフォン, ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等。), タブレット端末等)は, かばんの中にしまっていなければ, 電源が切られていても, 使用しているものとし, 不正行為となります。(衣類のポケット等に入れていた場合も, 使用しているものとし, 不正行為となります。)

イ. 試験時間中に携帯電話や時計等の音(着信・アラーム・振動音など。)を長時間鳴らすなど, 試験の進行に影響を与えること。

ウ. 試験に関することについて, 自身や他の受験生を利するような虚偽の申し出をすること。

エ. 試験場において他の受験生の迷惑となる行為をすること。

オ. 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。

カ. その他, 試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

12. 試験成績の開示

令和9(2027)年度総合型選抜の試験成績について, 受験者本人からの請求に限り, 「第1次選抜」及び「第2次選抜」の成績(ABC評価)を郵送により開示します。

① 申請に必要なもの

(1) 令和9(2027)年度九州大学総合型選抜成績開示申請書

※申請書は、令和 9（2027）年 4 月下旬頃より、本学 Web サイト
(<https://www.kyushu-u.ac.jp/>) からダウンロードできます。

(2) 令和 9（2027）年度九州大学総合型選抜の受験票

※総合型選抜の受験票がない場合は、お問い合わせください。

(3) 書留料金所定の切手を貼った返信用封筒（長形 3 号）

※個人成績を記した書類を郵送するためのものです。必ず受験した本人宛にしてください。

② 申請に際しての注意事項

(1) 申請は本学学務部入試課へ郵送又は本学学務部入試課窓口での申請も可能です。

申請窓口：九州大学学務部入試課

〒819-0395 福岡市西区元岡 744

(2) 申請受付期間は、土・日・祝日を除く令和 9（2027）年 5 月 10 日（月）～ 6 月 4 日（金）です。本学窓口での申請の受付は、9 時から 17 時までです。

(3) 申請は、必ず本人が行ってください。代理人への開示は行いません。

(4) 郵送による申請の場合、封筒の表には「総合型選抜成績開示申請」と朱書きしてください。

(5) 総合型選抜試験成績の開示は、申請受付後、3 週間以内に送付します。

窓口での申請の場合は、後日開示となります。

13. 個人用 PC（ノート型）の必携について

大学では、授業中に PC を使用するのはもちろん、自宅やその他の場所で PC を利用することになります。例えば、学習を進める上で必要な授業内容を記したシラバスや授業の教材、レポート課題・提出期限などの情報、また履修登録や成績の確認など、様々な情報がネットワークを経由して提供されるばかりでなく、レポート提出を PC から行う授業も多くあります。

そのため、本学では、個人用 PC（ノート型）が必携となっています。本学に入学の際は、PC を準備・購入していただくことになりますので、あらかじめお知らせします。

詳細については、今後、本学 Web サイトにてお知らせするとともに、合格者向け入学手続き書類「入学ガイドブック」に記載します。学部・学科によって PC の推奨スペック（必要な性能）が異なりますので、各学部・学科の該当する項を必ずご確認ください。

本学の学生には「Microsoft 365」（Word, Excel, PowerPoint 等）を在学中に限り大学が無償で提供しますので、これらを個別に購入、あるいは、PC とセットで購入する必要はありません。

なお、これらのソフトウェアがあらかじめ入っていても支障はありません。おって、授業で円滑に学べるように、PC の環境を整えるための PC 設定作業についての案内をします。

問い合わせ先

【個人用 PC のスペックに関すること】

学務部教務課教務・学務情報係

E-mail : gapjoho@jimu.kyushu-u.ac.jp

【Microsoft 365 に関すること】

情報統括本部 情報共有基盤事業室

E-mail : ms365@iii.kyushu-u.ac.jp

1 4. 個人情報の取扱い

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）」等の法令を遵守するとともに、「九州大学個人情報管理規程」等学内の関係規定に基づいて取り扱います。

1. 出願時に取得した氏名、住所その他の個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務を行うために利用します。
2. 出願時に取得した個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討や大学教育の改善及び大学の管理運営（各種調査・分析、事業企画等）のために利用します。
3. 上記 1 及び 2 の各種業務での利用に当たっては、全部又は一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。この場合、受託業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだうえで、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報及び試験成績の全部又は一部を提供します。
4. 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入学共通テストの受験番号、可否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。
5. 出願時に取得した個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収関係の業務を行うために利用します。

※本学のプライバシーポリシーについては以下の URL を参照ください。

【日本語】

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/website/privacypolicy>

【英語】

<https://www.kyushu-u.ac.jp/en/website/privacypolicy>

15. 修学場所について

1 年次は主に伊都キャンパスで基幹教育の授業を受けます。2 年次以降の各学部の授業の主たる修学場所は、各学部所在地となります。

学部授業の主たる修学場所

令和 8（2026）年 7 月現在

学部（学科）	実施時期	1 年次 (令和 9（2027）年度)	2 年次 (令和 10（2028）年度)	3 年次以降 (令和 11（2029）年度～)
共創・文・教・法・経・理・ 工（融合基礎工学科を除く）・農		伊都キャンパス		
工（融合基礎工学科）		伊都キャンパス		筑紫キャンパス
医・歯・薬		伊都キャンパス※	病院キャンパス	
芸工		伊都キャンパス	大橋キャンパス	

※歯学部は、前期及び後期の学期において、週に 1 回、病院キャンパスで授業が実施されます。

※薬学部は、後期の学期において、週に 1 回、病院キャンパスで授業が実施されます。

【入試実施場所の案内】



実施学部・学科	博多駅から地下鉄利用の場合	博多駅からバス利用の場合
- 文学部 - 法学部 - 経済学部 - 理学部 - 工学部 - 農学部 ① 伊都キャンパス	JR 筑肥線乗り入れ「筑前前原」方面行きに乗車し、「九大学研都市」駅下車、昭和バス「九大伊都キャンパス」行きに乗車。(※)	西鉄バス「九大伊都キャンパス」行きに乗車。(※)
実施学部・学科	博多駅から地下鉄利用の場合	博多駅から J R 利用の場合
医学部保健学科 歯学部 ② 病院キャンパス	「姪浜」方面乗車、「中洲川端」乗り換え「馬出九大病院前」下車 徒歩 10 分	「吉塚」駅（鹿児島本線）下車 徒歩 15 分
実施学部・学科	博多駅からバス利用の場合	天神から西鉄天神大牟田線利用の場合
芸術工学部 ③ 大橋キャンパス	博多駅前 A から 47 または 60 番系統乗車、「西鉄大橋駅前」下車 徒歩 5 分又は、48 番系統乗車、「塩原 4 丁目」下車 徒歩 5 分	「大橋」駅下車 徒歩 5 分 博多駅から J R 利用の場合 「竹下」駅（鹿児島本線）下車徒歩 15 分

※伊都キャンパス内の下車バス停等詳細については受験票印刷時に通知する予定。

※オンラインで試験を実施する学部学科等があります。各学部学科の選抜方法より実施場所をご確認ください。

入学案内・入学相談・九州大学 Web サイト

九州大学では、受験生に本学の学部・学科の内容や入学者選抜方法をよく知っていただくために、アドミッションセンターを中心にして、次のような入学案内や入学相談を行います。

○ 電話による入学案内・入学相談

随時行います。九州大学学務部入試課入試企画・広報係へお問い合わせください。

問い合わせ先

九州大学学務部入試課入試企画・広報係

住 所：〒819-0395 福岡市西区元岡 744

T E L：092-802-2006, 2007

F A X：092-802-2008

E-mail：nyukikaku@jimu.kyushu-u.ac.jp

○ Web サイト

- | | |
|------------------|---|
| ・九州大学 Web サイト | https://www.kyushu-u.ac.jp/ |
| ・文学部 Web サイト | https://www3.lit.kyushu-u.ac.jp/ |
| ・法学部 Web サイト | https://www.law.kyushu-u.ac.jp/ |
| ・経済学部 Web サイト | https://www.econ.kyushu-u.ac.jp/ |
| ・理学部 Web サイト | https://www.sci.kyushu-u.ac.jp/ |
| ・医学部保健学科 Web サイト | https://www.shs.med.kyushu-u.ac.jp/ |
| ・歯学部 Web サイト | https://www.dent.kyushu-u.ac.jp/ |
| ・工学部 Web サイト | https://www.eng.kyushu-u.ac.jp/ |
| ・芸術工学部 Web サイト | https://www.design.kyushu-u.ac.jp/ |
| ・農学部 Web サイト | https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/ |

令和8年度 九州大学総合型選抜、学校推薦型選抜及び国際入試実施状況

	学部・学科等	募集 人員	志願者	受験者 ※1	合 格 者					志願者 女子数	合格者 女子数	合格者 男子比 ※3	合格者 女子比 ※3	入学者
					人数	倍率 ※2	県内	県外	その他					
総合 型選 抜	共創学部	15	77	30	14	5.50	6	8	0	50	10	28.6	71.4	14
	文学部	10	15	15	10	1.50	5	5	0	10	8	20.0	80.0	10
	教育学部	7	26	16	7	3.71	4	3	0	19	6	14.3	85.7	7
	法学部	10	28	16	10	2.80	4	6	0	21	8	20.0	80.0	10
	経済学部	22	46	28	13	3.54	7	6	0	25	8	38.5	61.5	13
	理学部	34	123	112	34	3.62	9	25	0	47	12	64.7	35.3	34
	物理学科	7	21	20	7	3.00	1	6	0	5	2	71.4	28.6	7
	化学科	8	29	24	8	3.63	3	5	0	16	5	37.5	62.5	8
	地球惑星科学科	7	27	26	7	3.86	2	5	0	13	2	71.4	28.6	7
	数学科	7	23	22	7	3.29	2	5	0	1	0	100.0	0.0	7
	生物学科	5	23	20	5	4.60	1	4	0	12	3	40.0	60.0	5
	医学部・保健学科	22	78	54	18	4.33	11	7	0	68	16	11.1	88.9	18
	看護学専攻	10	50	29	10	5.00	6	4	0	47	9	10.0	90.0	10
	放射線技術科学専攻	6	21	19	6	3.50	4	2	0	14	5	16.7	83.3	6
	検査技術科学専攻	6	7	6	2	3.50	1	1	0	7	2	0.0	100.0	2
	歯学部	8	23	23	9	2.56	2	7	0	15	6	33.3	66.7	9
	工学部	47	113	87	39	2.90	17	22	0	35	11	71.8	28.2	39
	電気情報工学科	8	16	13	8	2.00	5	3	0	1	0	100.0	0.0	8
	材料工学科	3	8	7	3	2.67	1	2	0	4	2	33.3	66.7	3
	応用化学科	4	6	5	2	3.00	0	2	0	4	2	0.0	100.0	2
	化学工学科	2	7	7	2	3.50	2	0	0	4	2	0.0	100.0	2
	融合基礎工学科 物質材料コース	2	1	1	1	1.00	0	1	0	0	0	100.0	0.0	1
	融合基礎工学科 機械電気コース	2	4	4	2	2.00	1	1	0	1	0	100.0	0.0	2
	機械工学科	7	25	12	4	6.25	2	2	0	2	1	75.0	25.0	4
	量子物理工学科	2	3	3	2	1.50	2	0	0	0	0	100.0	0.0	2
	船舶海洋工学科	5	8	7	5	1.60	1	4	0	0	0	100.0	0.0	5
	地球資源システム工学科	2	1	1	0	－	0	0	0	1	0	－	－	0
	土木工学科	4	12	12	4	3.00	0	4	0	4	1	75.0	25.0	4
	建築学科	6	22	15	6	3.67	3	3	0	14	3	50.0	50.0	6
	芸術工学部・芸術工学科	55	166	141	54	3.07	29	25	0	93	31	42.6	57.4	53
	環境設計コース	7	22	21	7	3.14	5	2	0	14	4	42.9	57.1	7
	インダストリアルデザインコース	16	33	33	16	2.06	7	9	0	23	11	31.3	68.8	16
	未来構想デザインコース	5	4	4	4	1.00	3	1	0	3	3	25.0	75.0	4
	メディアデザインコース	22	72	63	22	3.27	13	9	0	43	12	45.5	54.5	21
	音響設計コース	5	35	20	5	7.00	1	4	0	10	1	80.0	20.0	5
	農学部	24	107	60	24	4.46	5	19	0	60	13	45.8	54.2	23
	小計	254	802	582	232	3.46	99	133	0	443	129	44.4	55.6	230
推薦	共創学部	15	30	30	15	2.00	5	10	0	22	12	20.0	80.0	15
	文学部	10	21	21	10	2.10	4	6	0	15	8	20.0	80.0	10
	歯学部	8	30	27	6	5.00	4	2	0	15	4	33.3	66.7	6
	芸術工学部・芸術工学科	13	43	35	13	3.31	3	10	0	29	8	38.5	61.5	13
	インダストリアルデザインコース	8	32	24	8	4.00	2	6	0	20	4	50.0	50.0	8
	未来構想デザインコース	5	11	11	5	2.20	1	4	0	9	4	20.0	80.0	5
	小計	46	124	92	44	2.82	16	28	0	81	32	27.3	72.7	44
国際	教育学部	3	5	4	0	－	－	－	－	2	－	－	－	－
	合計(総合＋推薦＋国際)	303	931	699	276	3.37	115	161	0	526	161	41.7	58.3	274

※1 受験者数は、第2次選抜の受験者である

※2 倍率については、小数点以下第3位を四捨五入

※3 合格者の男女比については、小数点以下第2位を四捨五入

添 付 書 類

次のページから以下の書類が添付してあります。

○ 志望理由書等記述要領

令和 9 (2027) 年度 九州大学総合型選抜 志望理由書等記述要領
(文学部, 法学部, 理学部, 工学部, 芸術工学部芸術工学科音響設計コース)

○ 志望理由書等

文学部 (志望理由書)	様式 1	2 枚
法学部 (志望理由書)	様式 2	2 枚
経済学部経済・経営学科 (志望理由書)	様式 3	2 枚
理学部 (志望理由書)	様式 4	2 枚
医学部保健学科 (志望理由書)	様式 5	3 枚
工学部電気情報工学科 (志望理由書)	様式 6	2 枚
工学部材料工学科 (志望理由書)	様式 7	2 枚
工学部応用化学科 (志望理由書)	様式 8	3 枚
工学部化学工学科 (志望理由書)	様式 9	3 枚
工学部融合基礎工学科物質材料コース (志望理由書)	様式 10	2 枚
工学部融合基礎工学科機械電気コース (志望理由書)	様式 11	2 枚
工学部量子物理工学科 (志望理由書)	様式 12	2 枚
工学部量子物理工学科 (活動実績)	様式 13	1 枚
工学部船舶海洋工学科 (志望理由書)	様式 14	3 枚
工学部地球資源システム工学科 (志望理由書)	様式 15	4 枚
工学部土木工学科 (志望理由書)	様式 16	3 枚
工学部建築学科 (志望理由書)	様式 17	2 枚
芸術工学部芸術工学科環境設計コース, インダストリアルデザインコース, 未来構想デザインコース, メディアデザインコース (志望理由書)	様式 18	3 枚
芸術工学部芸術工学科音響設計コース (志望理由書)	様式 19	4 枚
農学部 (志望理由書)	様式 20	3 枚

次世代研究者発掘入試Ⅱ

工学部 (活動歴報告書・研究計画書)	様式 21	6 枚
農学部 (活動歴報告書・研究計画書)	様式 22	6 枚
工学部・農学部 (出願要件証明書)	様式 23	1 枚

※ 本様式をダウンロードのうえ, 手書きで記入し, 出願期間内に必着するよう郵送してください。なお, 本様式は本学 Web サイトの「入試・入学」→「学部入試」→「大学案内・入学者選抜概要・募集要項」にも記載しています。

※ 必ず**令和 9 (2027) 年度**の様式を使用してください。

※ 摩擦等で消えるボールペンは使用できません。

※ 志願者以外の者 (生成系 AI ツールを含む) により作成したことが認められる場合や剽窃等があった場合は, 不正行為とみなし, 入学許可を取り消すことがあります。

令和 9（2027）年度 九州大学

総合型選抜

志 望 理 由 書 等 記 述 要 領

I．文学部

本要項の用紙（様式 1）を出力のうえ、志願者本人が以下の内容をそれぞれ日本語により自筆で記入してください。鉛筆を使用しても構いません。

- 1) 文学部国際コースを志望する理由
- 2) 自己紹介（これまでの勉強・活動に関する自己評価と将来の国際的活動への希望）

II．法学部

本要項の用紙（様式 2）を出力のうえ、志願者本人が以下の内容をそれぞれ日本語により自筆で記入してください。鉛筆を使用しても構いません。

- 1) G V プログラムを志望する理由
- 2) 将来の夢，希望する進路
- 3) 自己紹介（長所，短所，特技，関心を持っていること，社会活動など）

III．理学部

各学科の内容について、必ず自筆で様式 4 に記入ください。鉛筆を使用してもかまいません。

学 科 名	志 望 理 由 書 記 述 内 容
物 理 学 科	1. 物理学科を志望する理由 2. 自分自身の簡単な紹介 (長所，特技，関心を持っていること，将来の進路などから 1 件ないし 2 件) 以上の項目を指定用紙 1 枚程度に書いてください。ただし，2 枚目は空欄の場合でも，2 枚目には氏名のみを記入して，2 枚とも提出してください。形式は自由で，項目分けの必要はありません。
化 学 科	1. 化学科に入学を希望する理由（400 字以内） 2. これまでの勉強等に対する自己評価（400 字以内） 3. 最近，化学に限らず関心を持っていること（400 字以内） 以上を項目ごとに指定用紙 2 枚に書いてください。
地球惑星科学科	1. 地球惑星科学科を志望する理由（指定用紙 1 枚目） 2. 自分自身について自由に記入してください。（指定用紙 2 枚目） (課外活動，社会活動，取得資格，特技，長所など)
生 物 学 科	自分がどのような生物や生物学の研究に興味や熱意を持っているか及びその理由，また，具体的な研究，観察，進んだ内容の勉強等の経験がある者は，それらのことについて指定用紙 2 枚以内に書いてください。 研究や観察等の経験がある者は，その記録，レポート，在学高等学校若しくは中等教育学校又はそれ以外の指導者による所見等を添付することができます。

IV. 工学部

次の各学科の志望理由書等記述内容等については、必ず自筆で様式 6～18 に記入してください。記載にあたっては、鉛筆を使用してもかまいません。

学 科 名	志 望 理 由 書 等 の 記 述 内 容 等
電 気 情 報 工 学 科	1. 電気情報工学科に入学を希望する理由について、指定用紙 1 枚に記載してください。（400字以内） 2. 志願者が過去に作製した、エレクトロニクスもしくはソフトウェアの要素を持つ作品について、指定用紙 1 枚に記載してください。（400字以内） 3. 作品の作製工程の写真・回路図・設計図・フローチャートなどアルゴリズムの記述図・プログラムコード（主要部分のみでよい）など、A4 用紙に記載してください。また、電気情報工学に関連する活動実績（大会等の受賞・表彰、取得資格等）があれば、大会等の名称及びホームページの URL や実績を証明する資料のコピー等を添えてください。（ワープロソフトなどで作成可。自由形式、ページ数は制限無し。ただし、全ての用紙において、用紙上部に志願者氏名を、下部にページ番号 / 総ページ数 を記入のこと。）
材 料 工 学 科	1. 材料工学科に入学を希望する理由 2. 将来の夢・進路について 3. これまでに参加したことがある科学プログラム・コンテスト（所属学校での取り組みも含む）等での成果や貢献、資格・受賞歴、その他自己アピール以上を項目ごとに指定用紙 2 枚に記載してください。
応 用 化 学 科	1. 応用化学科に入学を希望する理由（400字以内） 2. 学内外での特筆すべき活動等（400字以内） 3. 最近、化学の分野で関心を持っていること（400字以内） 以上を項目ごとに指定用紙 3 枚に記載してください。
化 学 工 学 科	1. 化学工学科に入学を希望する理由（400字以内） 2. 学内外での特筆すべき活動等（400字以内） 3. 最近、関心を持っていること（400字以内） 以上を項目ごとに指定用紙 3 枚に記載してください。
融 合 基 礎 工 学 科 物 質 材 料 コー ス	1. 融合基礎工学科に入学を希望する理由（350字以内） 2. これまでの勉学に関する自己評価について（250字以内） 3. 将来の目標および将来になりたい人物像（350字以内） 4. 自身のアピール点（350字以内） 以上を項目ごとに指定用紙 2 枚に記載してください。
融 合 基 礎 工 学 科 機 械 電 気 コー ス	1. 自然科学（数学、物理、または化学等）や機械工学・電気電子工学分野に対する自身の知的興味や探究心（400字以内） 2. 融合基礎工学科に入学を希望する理由（400字以内） 3. 自分自身についてアピールしたい点（課外活動、社会活動、受賞、取得資格、特技など）（400字以内） 以上を項目ごとに指定用紙 2 枚に記載してください。
量 子 物 理 工 学 科	1. 物理・化学・数学等に対する興味と量子物理工学科を志望する理由、将来の夢や進路に対する考えについて、指定用紙 2 枚に記載してください。 2. 物理、化学、数学等の科学技術に関連する活動実績（研究発表や受賞・表彰等）があれば、指定用紙 1 枚に記載してください。 また、その実績を証明する資料のコピー等を添えてください。
船 舶 海 洋 工 学 科	1. 船舶海洋工学科に入学を希望する理由（400字以内） 2. これまで本人が努力してきたこと、社会ボランティアなど（400字以内） 3. 今後の変化する社会の展望と本人の志・役割（400字以内） 以上を項目ごとに指定用紙 3 枚に記載してください。

地球資源システム 工 学 科	1. 地球資源システム工学科にある7つの研究室の研究分野や研究テーマを参考にして、あなたが地球資源システム工学科において取り組んでみたい卒業研究のテーマ、また、その研究テーマに関する背景や取り組みたい理由、どのような研究成果を上げたいかなど、研究テーマの概要（400字以内） 2. 自分自身についてアピールしたい点、また、そのアピールしたい点を、資源や環境、防災に関する様々な問題の解決に対してどのように生かせるか（400字以内） 3. 10年後のあなたは、どのような場所で、どのような立場で、どのような仕事をしているか、具体的なキャリアイメージ、そして、そのキャリアイメージを実現するために、地球資源システム工学科に対してあなたが期待すること（例えば、教科、インターンシップ、留学など）（600字以内） 以上を項目ごとに指定用紙4枚に記載してください。
土 木 工 学 科	1. 土木工学科に入学を希望する理由（400字以内） 2. 自分自身についてアピールしたいこと（課外活動、社会活動、取得資格、特技、長所など）（600字以内） 3. 持続可能な国土のあり方について、あなたの考え（600字以内） 以上を項目ごとに指定用紙3枚に記載してください。
建 築 学 科	1. 都市・建築・生活・環境に関する社会問題などの関心がある内容、及び建築学科に入学を希望する理由（400字以内） 2. 建築を学ぶ上で、あなたのこれまでのどのような経験や身につけたことが役に立つと考えるか（600字以内） 以上を項目ごとに指定用紙2枚に記載してください。

V. 芸術工学部芸術工学科音響設計コース

志望理由書（様式19）の4枚目に、あなたが行う実技の内容を、なるべく具体的に記述してください。以下に、例を示します。

（イ）実技として何を行いますか。

- a. 楽器等の演奏
- b. 制作楽器の提示
- c. 音響機器等の設計製作物の提示
- d. その他

（ロ）あなたが行う実技の内容について詳しく記述してください。

（ハ）その実技の内容が、音響設計コースで学び得る能力を示すことにどのようにつながるのか、記述してください。

令和9（2027）年度 九州大学文学部

総合型選抜

志望理由書

2026 年 月 日記入

フリガナ
志願者氏名

(西 曆) 年 月 日生

①文学部国際コースを志望する理由、②自己紹介（これまでの勉強・活動に関する自己評価と将来の国際的活動への希望）をそれぞれ日本語により、志願者自身が必ず自筆で記入してください（鉛筆使用可、摩擦等で消えるボールペン使用不可）。

[illegible]

(2枚中2枚目)

〔文学部〕

令和9（2027）年度 九州大学法学部

総合型選抜

志望理由書

2026 年 月 日記入

フリガナ
志願者氏名

(西 曆) 年 月 日生

①GVプログラムを志望する理由、②将来の夢、希望する進路、③自己紹介（長所、短所、特技、関心を持っていること、社会活動など）をそれぞれ日本語により、志願者自身が必ず自筆で記入してください（鉛筆使用可、摩擦等で消えるボールペン使用不可）。

[illegible]

〔法学部〕

令和 9（2027）年度 九州大学経済学部 経済・経営学科

総合型選抜
志 望 理 由 書

フリガナ
志願者氏名
(西 暦) 2026 年 月 日記入
年 月 日生

「自分の将来像」と「高等学校等における学びの経験」を踏まえ、経済学部経済・経営学科を志望する理由について、日本語により志願者自身が自筆で記入してください（鉛筆使用可，摩擦等で消えるボールペン使用不可）。

.....

.....

.....

.....

.....

..... 5

.....

.....

.....

.....

..... 10

.....

.....

.....

.....

..... 15

.....

.....

.....

..... 20

.....

.....

志願者氏名

25

30

35

40

45

50

令和9（2027）年度 九州大学理学部

総合型選抜

志望理由書

2026 年 月 日記入

フリガナ

志願者氏名

(西 曆)

年

月

日生

志望 学科		学科
----------	--	----

各学科で指定された内容について、必ず自筆で記入してください。

(鉛筆使用可、摩擦等で消えるボールペン使用不可)

This image shows a full page of a worksheet designed for handwriting practice. It features 20 evenly spaced, horizontal dashed lines across the entire width of the page. The background is plain white, providing a clear guide for letter height and placement. There are no margins, text, or other markings present.

志願者氏名

(2枚中2枚目)

〔理学部〕

令和 9（2027）年度 九州大学医学部保健学科
総合型選抜

志 望 理 由 書

志望専攻

専攻

2026 年 月 日記入

フリガナ
志願者氏名

(西 暦) 年 月 日生

1. あなたが九州大学医学部保健学科を志望する理由（400 字以内）

※

志願者自身が自筆で記入してください。（鉛筆使用可，摩擦等で消えるボールペン使用不可）

※は記入しないでください。

（3 枚中 1 枚目）

[医学部]

志願者氏名

2. 自分自身について誇りに思うこと。

(課外活動，社会活動，取得資格など) (600 字以内)

[illegible]

志願者自身が自筆で記入してください。（鉛筆使用可，摩擦等で消えるボールペン使用不可）

※は記入しないでください。

(3枚中2枚目)

[医学部]

3. これからの保健・医療・福祉のあり方に対するあなたの考え (600 字以内)

※

志願者自身が自筆で記入してください。（鉛筆使用可，摩擦等で消えるボールペン使用不可）
※は記入しないでください。（3 枚中 3 枚目）

[医学部]

2026 年 月 日記入

ふりがな

志願者氏名

(西 曆) 年 月 日生

1. 電気情報工学科に入学を希望する理由について記載してください。(400 字以内)

志願者自身が自筆で記入してください。(鉛筆使用可、摩擦等で消えるボールペン使用不可)
(2枚中1枚目) [工学部電気情報工学科]

2. 志願者が過去に作製したエレクトロニクスもしくはソフトウェアの要素を持つ作品について記載してください。(開発動機、作製過程、動作結果、総合的評価、チームでの作品であれば作製過程における志願者の役割等)。なお、過去作品については、志願者を含むチームでの作品でも可です。(400 字以内)

志望学科：材料工学科

2026 年 月 日記入

ふりがな

志願者氏名

(西 曆) 年 月 日生

1. 材料工学科に入学を希望する理由, 2. 将来の夢・進路について, 3. これまでに参加したことがある科学プログラム・コンテスト(所属学校での取り組みも含む)等での成果や貢献, 資格・受賞歴, その他自己アピール, についてそれぞれ項目を分け, 2枚程度で記載してください。

[illegible]

材料工学科 志願者氏名

志願者自身が自筆で記入してください。（鉛筆使用可，摩擦等で消えるボールペン使用不可）

(2枚中2枚目)

[工学部材料工学科]

志望学科：応用化学科

2026 年 月 日記入

ふりがな

志願者氏名

(西 曆) 年 月 日生

1. 応用化学科に入学を希望する理由について記載してください。(400 字以内)

志願者自身が自筆で記入してください。（鉛筆使用可，摩擦等で消えるボールペン使用不可）

(3 枚中1枚目)

[工学部応用化学科]

[illegible]

[illegible]

令和9（2027）年度 九州大学工学部

総合型選抜

志望理由書

志望学科：化学工学科

2026 年 月 日記入

ふりがな

志願者氏名

(西 曆) 年 月 日生

1. 化学工学科に入学を希望する理由について記載してください。(400 字以内)

志願者自身が自筆で記入してください。（鉛筆使用可，摩擦等で消えるボールペン使用不可）

(3 枚中1枚目)

[工学部化学工学科]

[illegible]

[illegible]

志望学科：融合基礎工学科
物質材料コース

志願者氏名

(西 曆) 年 月 日生

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

[illegible]

[工学部融合基礎工学科物質材料コース]

(2 枚中1枚目)

融合基礎工学科 物質材料コース 志願者氏名

3. 将来の目標および将来になりたい人物像を記載してください。(350 字以内)

[illegible]

4. 自身のアピール点を記載してください。(課外活動, 社会活動, 受賞, 資格など) (350 字以内)

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

志願者自身が自筆で記入してください。（鉛筆使用可，摩擦等で消えるボールペン使用不可）

[工学部融合基礎工学科物質材料コース]

(2 枚中2枚目)

(2 枚中1枚目) [工学部融合基礎工学科機械電気コース]

融合基礎工学科 機械電気コース 志願者氏名

3. 自分自身についてアピールしたい点を記載して下さい。(課外活動, 社会活動, 受賞, 取得資格, 特技など) (400 字以内)

志望学科：量子物理工学科

ふりがな

志願者氏名

(西 曆) 年 月 日生

○物理・化学・数学等に対する興味と量子物理工学科を志望する理由、将来の夢や進路に対する考えについて記載してください。

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

量子物理工学科 志願者氏名[illegible]

志願者自身が自筆で記入してください。（鉛筆使用可，摩擦等で消えるボールペン使用不可）

(2枚中2枚目)

[工学部量子物理工学科]

令和9（2027）年度 九州大学工学部
総合型選抜

活動実績

志望学科：量子物理工学科

2026 年 月 日記入

ふりがな

志願者氏名

(西 曆) 年 月 日生

○物理、化学、数学等の科学技術に関連する活動実績（研究発表や受賞・表彰等）があれば記載してください。また、その実績を証明する資料のコピー等を添えてください。

[illegible]

志願者自身が自筆で記入してください。（鉛筆使用可，摩擦等で消えるボールペン使用不可）

「工学部量子物理工学科」

志望学科：船舶海洋工学科

ふりがな

志願者氏名

(西 曆) 年 月 日生

- [illegible]

(3 枚中1枚目)

船舶海洋工学科 志願者氏名

2. これまで自身が努力してきたこと、社会ボランティアなどについて記載してください。
(400 字以内。鉛筆使用可、摩擦等で消えるボールペン使用不可。)

[illegible]

(句読点も1字として数える。英数字は2文字で1マスを用いること。)

これまでに取得した資格名（英検（実用英語技能検定）1級など）を列記してください。

--

船舶海洋工学科 志願者氏名 _____

3. 今後変化する社会の展望とそれに対する自身の志や果たすべき役割について記載してください。
(400 字以内。鉛筆使用可、摩擦等で消えるボールペン使用不可。)

[illegible]

(句読点も1字として数える。英数字は2文字で1マスを用いること。)

令和9（2027）年度 九州大学工学部

総合型選抜

志望理由書

志望学科：地球資源システム
工学科

2026 年 月 日記入

ふりがな

志願者氏名

(西 曆) 年 月 日生

1. 地球資源システム工学科にある7つの研究室の研究分野や研究テーマを参考にして、あなたが地球資源システム工学科において取り組んでみたい卒業研究のテーマを記載してください。また、その研究テーマに関する背景や取り組みたい理由、どのような研究成果を上げたいかなど、研究テーマの概要を記載してください。(400字以内)

志願者自身が自筆で記入してください。（鉛筆使用可，摩擦等で消えるボールペン使用不可）

(4枚中1枚目)

[工学部地球資源システム工学科]

[illegible]

[illegible]

地球資源システム工学科 志願者氏名

志願者自身が自筆で記入してください。(鉛筆使用可、摩擦等で消えるボールペン使用不可)
(3枚中1枚目) [工学部土木工学科]

土木工学科 志願者氏名

2. 自分自身についてアピールしたいことについて記載してください。(課外活動，社会活動，取得資格，特技，長所など) (600 字以内)

[illegible]

(句読点も1字として数える。英数字は2文字で1マスを用いること。)

志願者自身が自筆で記入してください。（鉛筆使用可、摩擦等で消えるボールペン使用不可）

(3 枚中2枚目)

[工学部土木工学科]

[illegible]

志願者自身が自筆で記入してください。（鉛筆使用可，摩擦等で消えるボールペン使用不可）

[工学部土木工学科]

志望学科：建築学科

2026 年 月 日記入

ふりがな

志願者氏名

(西 曆) 年 月 日生

1. 都市・建築・生活・環境・災害などに関する社会問題について関心がある内容、及び建築学科に入学を希望する理由について記載してください。(400 字以内)

[illegible]

(句読点も1字として数える。英数字は2文字で1マスを用いること。)

志願者自身が自筆で記入してください。（鉛筆使用可，摩擦等で消えるボールペン使用不可）

(2枚中1枚目)

[工学部建築学科]

建築学科 志願者氏名

2. 建築を学ぶ上で、あなたのこれまでのどのような経験や身につけたことが役に立つと考えるか記載してください。(600 字以内)

[illegible]

(句読点も1字として数える。英数字は2文字で1マスを用いること。)

志願者自身が自筆で記入してください。（鉛筆使用可、摩擦等で消えるボールペン使用不可）

(2 枚中2枚目)

[工学部建築学科]

2026 年 月 日記入

フリガナ
志願者氏名

(西 曆) 年 月 日生

1. あなたが九州大学芸術工学部芸術工学科の上記コースを志望する理由について述べてください。

[illegible]

[芸術工学部]

志願者氏名

2. あなた自身についてアピールしたい点を述べてください。

(勉学に関する自己評価や、課外活動、社会活動、資格など)

鉛筆使用可、摩擦等で消えるボールペン使用不可。本様式にならってワード等の文書作成ソフトにより作成したものでも可。

志願者氏名

3. 受けた表彰などがある場合は列挙してください。

(表彰状等の A4 サイズの写しを添付してください。なお、写しがない場合は、「(写し無)」と記入してください。)

時 期	表 彰 な ど

4. 取得した資格や各種の検定の成績がある場合はその最高の等級や得点を列挙してください。

(免状等の A4 サイズの写しを添付してください。なお、写しがない場合は、「(写し無)」と記入してください。)

時 期	資 格 ・ 検 定 な ど

鉛筆使用可、摩擦等で消えるボールペン使用不可。本様式にならってワード等の文書作成ソフトにより作成したものでも可。

令和 9（2027）年度 九州大学芸術工学部
総合型選抜

志 望 理 由 書

志望コース	音響設計コース
-------	---------

2026 年 月 日記入
フリガナ
志願者氏名
(西 暦) 年 月 日生

1. あなたが九州大学芸術工学部の上記コースを志望する理由について述べてください。

志願者氏名

2. あなた自身についてアピールしたい点を述べてください。

(勉学に関する自己評価や課外活動，社会活動，資格など)

鉛筆使用可，摩擦等で消えるボールペン使用不可。本様式にならってワード等の文書作成ソフトにより作成したものでも可。

志願者氏名 _____

3. 受けた表彰などがある場合は列挙してください。

(表彰状等の A4 サイズの写しを添付してください。なお、写しがない場合は、「(写し無)」と記入してください。)

時 期	表 彰 な ど

4. 取得した資格や各種の検定の成績がある場合はその最高の等級や得点を列挙してください。

(免状等の A4 サイズの写しを添付してください。なお、写しがない場合は、「(写し無)」と記入してください。)

時 期	資 格 ・ 検 定 な ど

志願者氏名

5. あなたが行う実技の内容について、具体的に記入してください。

[illegible]

鉛筆使用可、摩擦等で消えるボールペン使用不可。本様式にならってワード等の文書作成ソフトにより作成したものでも可。

令和9（2027）年度

九州大学農学部

総合型選抜

志望理由書

2026 年

月

日記入

フリガナ

志願者氏名

(西 曆)

年

月

日生

1. 九州大学農学部に入学を志望する理由 (400 字以内)

必ず自筆で記入してください（鉛筆使用可，摩擦等で消えるボールペン使用不可）。

※は記入しないでください。

(3枚中1枚目)

[農学部]

志願者氏名

2. あなた自身についてアピールしたい点
（課外活動，ボランティア活動，取得資格など）（600 字以内）

必ず自筆で記入してください（鉛筆使用可、摩擦等で消えるボールペン使用不可）。
※は記入しないでください。（3枚中2枚目）

[農学部]

志願者氏名 _____

3. 取得した資格や各種の検定の成績がある場合はその最高の等級や得点を列挙してください。

(免状等の写し (A 4 版) を添付してください。なお, 写しがない場合は, 「(写し無)」と記入してください。)

時 期	資 格 ・ 検 定 な ど

4. その他に受けた表彰などがある場合は列挙してください。

(表彰状等の写し (A 4 版) を添付してください。なお, 写しがない場合は, 「(写し無)」と記入してください。)

時 期	表 彰 な ど

令和 9（2027）年度 九州大学工学部
次世代研究者発掘入試Ⅱ

活動歴報告書・研究計画書

2026 年 月 日記入

志望学科	志望コース・分野

ふりがな

志願者氏名

（西 暦） 年 月 日生

次の項目について、手書きまたはパソコン等を用いて記入してください。

1. これまでの研究活動

高等学校在学中に取り組んだ研究活動について、以下の内容を含めて記述してください（図表等を含めて A4 で 3 枚以内）。

- (a) 活動を行おうとした動機
- (b) 活動の具体的内容と自分の役割（複数人の場合）
- (c) 得られた成果とその意義

2. 本コース入学後、どのような課題に取り組みたいのか、以下の内容を含めて、具体的に記述してください。（図表等を含めて A4 で 2 枚以内）

- (a) 課題の概要と背景
- (b) その課題を重要と考える理由（社会的・学問的意義や高校までの活動との関連）
- (c) その課題に取り組むための、学部ならびに大学院での学習・研究計画

※作成にあたっての注意事項

- ・所定のページ内であれば、文章だけでなく図面や数式等の記載可（図面はカラーも可）。
- ・パソコンにて作成する場合、フォントサイズは 11pt 以上、見やすさを考慮すること。

志願者氏名 _____

1. これまでの研究活動

高等学校在学中に取り組んだ研究活動について，以下の内容を含めて記述してください
（図表等を含めて A4 で 3 枚以内）。

- (a) 活動を行おうとした動機
- (b) 活動の具体的内容と自分の役割（複数人の場合）
- (c) 得られた成果とその意義

志願者氏名

志願者氏名

志願者氏名 _____

2. 本コース入学後、どのような課題に取り組みたいのか、以下の内容を含めて、具体的に記述してください。（図表等を含めて A4 で 2 枚以内）

- (a) 課題の概要と背景
- (b) その課題を重要と考える理由（社会的・学問的意義や高校までの活動との関連）
- (c) その課題に取り組むための、学部ならびに大学院での学習・研究計画

志願者氏名

令和 9（2027）年度 九州大学農学部
次世代研究者発掘入試Ⅱ

活動歴報告書・研究計画書

2026 年 月 日記入

志望コース	志望分野

ふりがな

志願者氏名

（西 暦） 年 月 日生

次の項目について、手書きまたはパソコン等を用いて記入してください。

1. これまでの研究活動

高等学校在学中に取り組んだ研究活動について、以下の内容を含めて記述してください
（図表等を含めて A4 で 3 枚以内）。

- (a) 活動を行おうとした動機
- (b) 活動の具体的内容と自分の役割（複数人の場合）
- (c) 得られた成果とその意義

2. 本コース入学後、どのような課題に取り組みたいのか、以下の内容を含めて、具体的に記述してください。（図表等を含めて A4 で 2 枚以内）

- (a) 課題の概要と背景
- (b) その課題を重要と考える理由（社会的・学問的意義や高校までの活動との関連）
- (c) その課題に取り組むための、学部ならびに大学院での学習・研究計画

志願者氏名 _____

1. これまでの研究活動

高等学校在学中に取り組んだ研究活動について、以下の内容を含めて記述してください
(図表等を含めて A4 で 3 枚以内)。

- (a) 活動を行おうとした動機
- (b) 活動の具体的内容と自分の役割 (複数人の場合)
- (c) 得られた成果とその意義

志願者氏名

志願者氏名

志願者氏名 _____

2. 本コース入学後、どのような課題に取り組みたいのか、以下の内容を含めて、具体的に記述してください。（図表等を含めて A4 で 2 枚以内）

- (a) 課題の概要と背景
- (b) その課題を重要と考える理由（社会的・学問的意義や高校までの活動との関連）
- (c) その課題に取り組むための、学部ならびに大学院での学習・研究計画

志願者氏名

令和 9 年度 九州大学 次世代研究者発掘入試Ⅱ（総合型選抜Ⅱ）

出願要件証明書

フリガナ 志願者氏名			
学生募集要項記載の「3. 出願要件のア①～⑤」について該当する項目をチェックしてください。 複数ある場合には必ず複数チェックすること。 また、研究タイトル及び受賞した入賞実績等を記載してください。 なお、出願要件①～⑤に該当する場合は参加や進出を証明する資料（主催者等の公的立場の人物 が示した書類かつ志願者本人の名前が含まれている）を添付すること。 出願要件⑤に該当する場合には公的に証明する資料を提出すること。			
☐	①日本学生科学賞の中央予備審査への進出者	年度	出場
☐	②高校生・高専生科学技術チャレンジ（JSEC） 一次審査会進出者	年度	出場
☐	③JST 実施事業「グローバルサイエンスキャンパス （GSC）」、「次世代科学技術チャレンジプログラム（STELLA プログラム）」（GSC の後継事業）の第Ⅰ段階選抜修了者	年度	参加
☐	④「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト（QFC-SP）」 プライマリーコースの修了者（修了見込みの者を含む）	年度	修了（見込み）
☐	⑤上記以外の自由研究や課題研究で①～④と同等以上の優れた発表を公的に証明できる者		
研究タイトル： 入賞実績等： （発表会・コンテスト・学会等に出場した場合、若しくは自由研究又は課題研究を行った場合は、その研究タイトル を記載してください。また入賞実績等を記載してください。）			
上記①～④及び⑤の発表会やコンテスト等において、複数人で発表・研究した場合は、実際の発表・研究 の人数を記載してください。 人			

上記の者は、令和 9 年度九州大学次世代研究者発掘入試Ⅱ（総合型選抜Ⅱ）の出願要件を
満たす者であることを証明する

令和 年 月 日

学校名

所在地

校長名

印